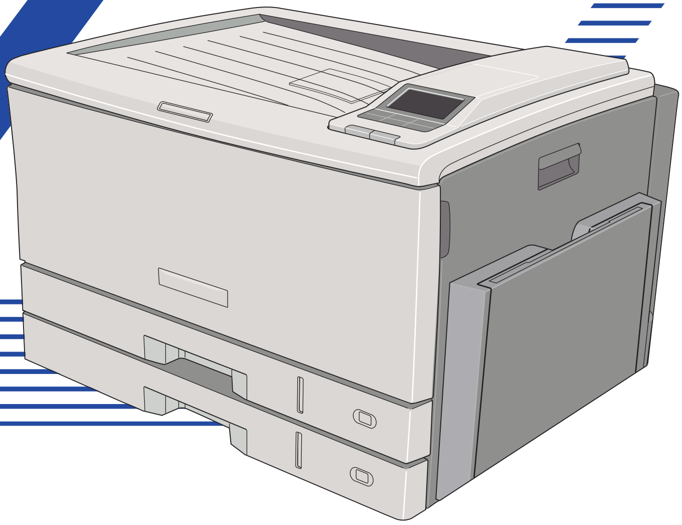
SPEEDIA

GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル 本体編

プリンターの基本的な取扱操作方法やトラブルの解決方法が記載されています。本書に記載されていない詳しい説明がCD-ROM内に収録されていますので、併せてご覧ください。



プリンターをご使用になる前に必ずお読みください。
また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

CASIO

クイックメニュー

用紙をセットしたい

用紙補給の方法 P27

Ａ４の用紙がありません
カセット２
お助け

本体カセット P28

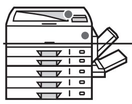
拡張ペーパーフィーダー P31

マルチペーパーフィーダー P34

Ａ４の用紙がありません
ＭＰＦ　１
カセット
お助け

困ったとき

紙詰まりの処置方法 P66



紙づまり
００２枚
ヘルプ

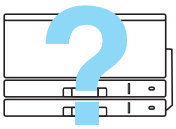
エラーメッセージの処置方法 P77

カバーが開いています
フロント又はサイドカバーを
確認してください

お問い合わせ先 裏表紙

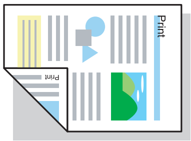
ｻｰﾋﾞｽ ﾆ ﾚﾝﾗｸ!!
178

トラブルの処置方法 P77

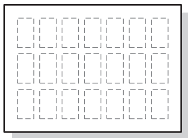


こんな印刷がしたい

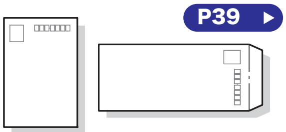
両面印刷の方法 P36



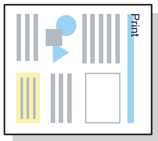
ラベル紙・厚紙の印刷方法 P37



はがき・封筒の印刷方法 P39



不定形サイズ用紙の印刷方法 P47



長尺紙の印刷方法 P44



消耗品／定期交換部品を交換したい

消耗品の交換方法

トナー P53

トナーが交換時期に
なりました
K C M Y
お助け

ドラム P57

ドラムが交換時期に
なりました
K C M Y
お助け

廃トナーボックス P62

廃トナーボックスが
交換時期になりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

定期交換部品の交換方法

定着ユニット P114

定着ユニットが交換時期に
なりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

転写ベルトユニット P119

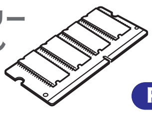
転写ベルトユニットが
交換時期になりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

給紙コロ・排紙ローラー・待機ローラー P113

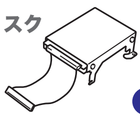
定期点検時期です
点検を依頼してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

オプション品を取り付けたい

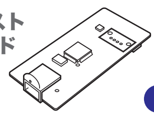
増設メモリーモジュール P131



ハードディスクユニット P133



USBホスト拡張ボード P135



目次

基本操作

保守管理

索引

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA GE5000シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「取扱説明書」は、SPEEDIA GE5000シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンターの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンターをご使用になる前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

本書の適用機種：　SPEEDIA GE5000

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

⚠ **警告**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあります。

⚠ **注意**　この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与えることがあります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。



⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。
左の例は、分解禁止を意味します。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。
左の例は、電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

⚠警 告

＜電源に関する警告＞

AC100V、50/60Hz、15A以上の専用コンセント以外には接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。

電源プラグやコンセントおよびプリンター側の差し込み口（インレット）に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、発熱や火災の原因になることがあります。清掃は乾いた布で行ない、洗剤は使用しないでください。

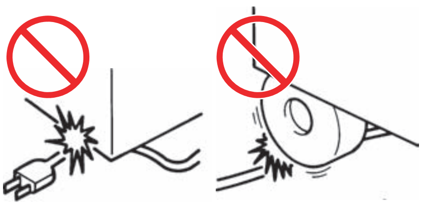
アース線を第３種接地工事をしたアース端子に接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災・感電の恐れがあります。アース接続ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の恐れがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れて危険です。）
- 水道管（配管の途中がプラスチックなどになっていることが多いため、アースの役割を果たしません。）

タコ足配線や電源コードの継ぎ足し（容量不足の延長コード）は使用しないでください。
また、コンピューターなどの補助コンセントには接続しないでください。火災・感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重たいものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の恐れがあります。
電源コードに傷や亀裂が付いたときは、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に連絡し、新しい電源コードに交換してください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

プリンターの電源スイッチをONにしたままプラグを抜き差ししないでください。プラグが変質し、火災の原因になることがあります。

警 告

＜製品の取り扱いに関する警告＞

製品の上に水の入った容器（コップ・花瓶・植木鉢など）や金属物（クリップ・ホチキスの針など）を置かないでください。
こぼれたり、製品の中に入った場合、火災・感電の恐れがあります。万一製品の中に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。



万一製品から煙が出ている、変な臭いや異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。このようなときは、すぐに電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。お客様による修理や注油は危険ですので絶対にしないでください。

製品を分解・改造しないでください。火災・感電の恐れがあります。製品の調整・点検の際は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）の装着者は、装着部位をICカードリーダー（オプション）の12cm以内に近づけないでください。本製品は電波を伴う非接触ICカードリーダーを使用していますので、医療機器の動作に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注 意

＜電源に関する注意＞

アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に取り付けてください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取り外してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

本製品を移動するときや、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や、電源コードが傷ついて火災の原因になることがあります。

連休などで、本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンピューターと同じコンセントを使用すると、コンピューターの画面がちらついたり、誤動作によりコンピューターのデータが消えることがあります。プリンターの電源コードをコンピューターと別の専用コンセントに差し替えてください。

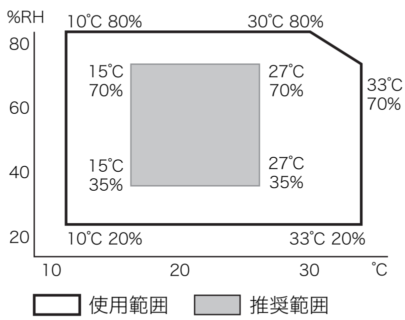
データ受信中（データ・ランプ点滅中）に電源スイッチを OFF にしないでください。ハードディスク（オプション）にデータ書き込み中の場合、ハードディスクに異常が発生し、記録されているデータがすべて消える場合があります。

＜設置場所に関する注意＞

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因になることがあります。
プリンター本体は床から35cm以上離して設置してください。

プリンターは電源コンセントにできるだけ近い場所に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

安全のため温度や湿度が図で示す「使用範囲」の場所でご使用ください。
また、プリンターの最高の性能を発揮するためには「推奨範囲」でのご使用をおすすめします。



⚠ 注 意

ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風・輻射熱が直接当たる場所、揮発性可燃物（強燃性スプレーなど）やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になることがあります。

狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うときは、換気や通風を十分に行ってください。人体に影響はありませんが、微量のオゾンや粉塵や化学物質などにより不快に感じる場合があります。

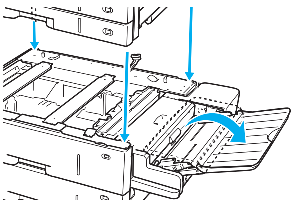
製品の通風口をふさがないでください。通風口をふさいだまま使用すると、製品内部の温度が上昇して、火災の原因になる恐れがあります。

プリンターをキャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。作業中に台が動くとプリンターの落下などによる、けがの恐れがあります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚すことがあります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になることがあります。

MPF付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をプリンターに設置するときは、必ずMPF付き拡張ペーパフィーダ側のMPFトレイを開けてください。MPFトレイを閉めたまま本体を乗せると手をはさむ恐れがあります。



＜製品の取り扱いに関する注意＞

定着ユニットは高温になりますので手を触れないでください。やけどの原因になります。

つまった用紙を取り除いたり、消耗品を交換するときなどはプリンターの突起部に触れてけがをしないようにご注意ください。

つまった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になることがあります。
なお、用紙が定着ユニットの内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源スイッチをOFFにして、お買い求めの販売店にご連絡ください。

製品内部の電極や金属部品に手を触れないでください。感電の恐れがあります。製品のお手入れは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

⚠ 注 意

インターフェース基板上に取り付けてあるボタン電池は交換しないでください。まちがったタイプの電池を使用したり電池の向き（＋－）をまちがえると、電池の破裂や液漏れによる火災、けが、周囲の汚損の原因になることがあります。また、電池を廃棄するときは各自治体の廃棄方法に従ってください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源スイッチをOFFにした後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になることがあります。

トナーは人体に無害ですが､トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。

口に入ったり吸引してしまったときは､すぐに吐き出してよくうがいをしてください。異常がある場合は医師の診察を受けてください。

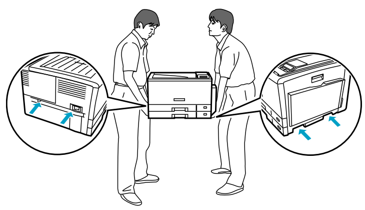
幼児の手の届かないところに保管してください。万一トナーを飲み込んだ場合は、すぐにうがいをさせコップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて医師の診察を受けてください。

消耗品の交換の際は､トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください｡トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに掃除機で吸い取ってください。

ドラムセット、転写ベルトユニット、定着ユニットなどを着脱する際は、落としてけがをしないようご注意ください。

＜持ち運び・廃棄に関する注意＞

プリンターを持ち上げる際は、必ず２人以上で作業してください。プリンターの重量は消耗品やオプションなしでも約47kgあります。拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の際は、プリンターから取り外して別々に運んでください。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。図のようにプリンターの取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり傾けて持ち上げると、落下によるけが、およびプリンターの破損の恐れがあります。



使用済みの消耗品は焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生などで思わぬ事故の原因になることがあります。カシオ計算機では､お客様でご使用済みとなりましたドラムセット･トナーセット･定着ユニット・転写ベルトユニット・廃トナーボックスを、地球環境保全と資源の有効活用の為に無料で回収しております。詳しくは同梱の案内書をご覧ください。ご自身で廃棄する場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

取扱説明書の種類と内容

GE5000シリーズ取扱説明書の概要

本プリンターには以下のマニュアルが同梱されています。

設置手順書

＜本体編＞プリンターを設置する前にお読みください。プリンターの設置方法が記載されています。

＜ソフト編＞プリンターのドライバーのインストール方法などコンピューター側のセットアップ方法が記載されています。

ユーザーズマニュアル　本体編

プリンターのかんたんな取扱方法やトラブル解決方法などを調べるときにお読みください。
プリンターの基本的な取扱操作方法やトラブルの解決方法が記載されています。

PDFマニュアル

プリンターの詳しい説明を調べるときにお読みください。
プリンターに同梱されている印刷マニュアルに記載されていない、プリンタードライバーの機能、プリンター設定メニューの詳細、ネットワーク設定、SPEEDIAマネージャー、Report Holderなどの各種ソフトウェアの説明がPDF形式でCD-ROM内に収録されています。また、プリンターに同梱されている印刷マニュアルもPDF形式で収録されています。
PDFマニュアルは参照先をクリックするだけで該当ページが開いたり、調べたい項目を検索機能で探したりできますのでご活用ください。

＜PDFマニュアルの内容＞　アイコンをクリックすると各マニュアルが表示されます。

設置手順書　本体編
設置手順書　ソフト編
プリンターに同梱されている設置手順書のPDFデータです。

ユーザーズマニュアル　本体編
プリンターに同梱されているユーザーズマニュアル　本体編のPDFデータです。

ユーザーズマニュアル　設定メニュー編
プリンターの操作パネルで設定できる各種機能について記載されています。

ユーザーズマニュアル　Web設定編
プリンターの操作パネルでできる設定のほとんどと、アクセス権設定やスケジュール設定などをコンピューター側からWebブラウザーを利用して設定する方法について記載されています。

ユーザーズマニュアル　ネットワーク編
プリンターに内蔵しているネットワークボードのサポートプロトコルや詳細設定について記載されています。

ユーザーズマニュアル　セットアップ編
コンピューターにプリンタードライバーや、各種ソフトウェアをセットアップする方法が記載されています。

ユーザーズマニュアル
プリンタードライバー編
プリンタードライバーの各種機能の説明と設定方法について記載されています。

SPEEDIAマネージャー マニュアル
SPEEDIAマネージャーのセットアップ方法と操作方法について記載されています。

REPORT HOLDER for SPEEDIA
ソフトウェアマニュアル
REPORT HOLDERのセットアップ方法と操作方法について記載されています。

エコログ集計ツール ソフトウェアマニュアル
エコログ（プリンターに蓄積されたエコ関連のログ情報）を集計するための「エコログ集計ツール」のセットアップ方法と操作方法について記載されています。

プリンター活用ガイド
プリンターの様々な機能を活用していただくための手順をまとめました。

簡単エコ印刷ナビ
ソフトウェアマニュアル
簡単エコ印刷ナビの操作方法について記載されています。

ユーザーズマニュアル
エコログWebアナライザー編
印刷枚数や、両面利用率、マルチページ利用率、トナーセーブ利用率などのエコ情報を年度別や月度別のグラフや表でわかりやすく表示する機能の使用方法が記載されています。

諸注意事項

保証について

プリンター本体に同梱の「保証書を発行する為に」に従ってインターネットまたはFAXでお申し込みください。お客様の登録手続きを行い、保証書をお送りいたします。

☞ 付録5. 保証について(148ページ)

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよびTVOCの放散については、エコマークNo.122「プリンターVersion2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。
（試験方法はRAL-UZ122:2006の付録２に基づき、トナーは本製品用の純正トナーセットを使用しました。）

印刷に関するご注意

- 次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により禁じられています。
  - 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
  - 国債証券、地方債証券 、郵便為替証書、郵便切手、印紙
  - 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- 次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により禁じられています。
  - 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
  - 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
  - 役所または公務員の印影、署名または記号
  - 私人の印影または署名
- 他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。

（関係法律について）

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

ご 注 意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。

(2) 製品の改良や仕様変更、および本書自身の改善のために本書の内容は予告なく変更する場合があります。
最新版の説明書が弊社ホームページからダウンロードできる場合がありますのでご活用ください。説明書の改訂に伴い、参照先のページがズレる場合があります。あらかじめご了承ください。

(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタードライバーのヘルプもしくはテキストファイル（README.TXT など）に記載されることがあります。その他最新の製品情報やプリンタードライバーのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。

http://casio.jp/ppr/

(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

(5) 運用した結果の影響につきましては、(4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用したことなどに起因して生じた障害、およびトラブルなどにつきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。

(8) 「ESC/P」「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

(9) 「Microsoft」「Windows」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。

(10)「Adobe」はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

(11) 本プリンターは、GPL/LGPL の適用ソフトウェアを使用しています。本製品に同梱されているCD-ROMのメニュー画面より「ライセンス」をクリックしてご確認ください。

(12)「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。

(13)「MIFARE」「I-CODE」は、NXP Semiconductorsの登録商標です。

(14) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによってご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。マークの付いている記述は、必ずお読みください。

注意　この記載に従わずに誤った取り扱いをすると、プリンターが故障することが想定される内容を記載しています。

ポイント　取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたいことを記載しています。

関連した内容の参照先を示しています。

PDFマニュアルの場合は、この項目をクリックすると該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat ReaderまたはAdobe Readerの「前の画面」ボタンをクリックします。）

表記について

本書では、コンピューターのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する場合があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版

＜省略記載＞

Windows 2000
Windows XP
Windows Server 2003
Windows Server 2008
Windows Vista
Windows 7

総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 2000/XP/Server2003/Server2008/Vista/7」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載のWindows画面表示は、特に指定がない限りWindows XPの画面を例に説明しています。OS環境やプリンターの機種により画面デザインは異なります。あらかじめご了承ください。

特長

カラープリンターなのに
モノクロプリンター並みの

コンパクト設計

カラー印刷もモノクロ印刷も
１分間に32枚印刷できて

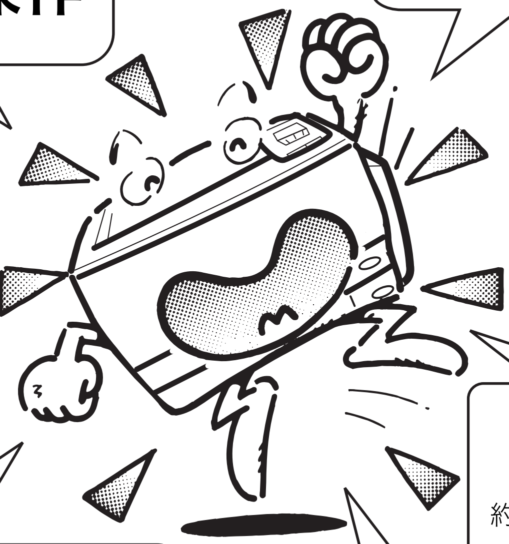
速い

用紙補給や消耗品交換が正面から
できて、万一の紙づまりも
サイドカバーを開けるだけで
取り除ける

かんたん操作

グラフィック表示パネルで

わかりやすい



自動レジストレーション
調整と自動濃度調節で
いつでも

写真高画質

両面印刷機能や
トナーセーブ機能と
スリープモード時
約0.7Wの低消費電力で

経済的

標準でネットワークに接続でき
Web設定でプリンターの設定を変更できる

ネットワーク対応プリンター

・印刷データ暗号化
・文書管理バーコード印刷
・ICカード認証印刷対応

セキュリティー機能充実

両面印刷、マルチページ印刷、トナーセーブなどを
簡単に設定できる簡単エコ印刷ナビ

エコロジー機能充実

プリンター各部の名称と働き

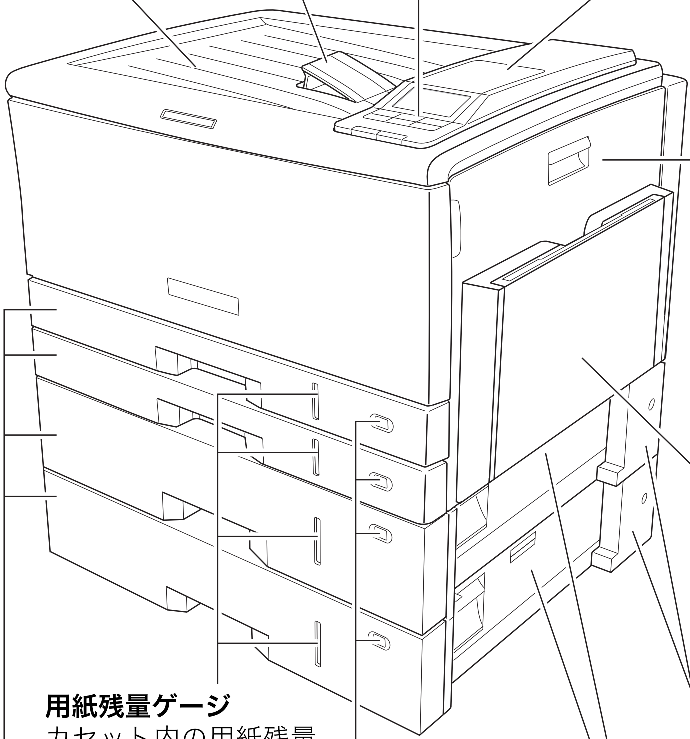
＜正面＞

排紙補助トレイ
印刷された用紙が不揃いになって落下するときに起こします。印刷された用紙が取りやすくなりますので、通常も起こした状態でご使用ください。
☞ 4.5 印刷画像のトラブル（96ページ）

メイン排紙部
印刷された用紙が印刷面を下にして（フェイスダウン）出てきます。

操作パネル
プリンターの状態を表示したり、機能を設定するときに使用します。
☞ ユーザーズマニュアル 設定メニュー編

ICカードリーダー（オプション）
「ICカード認証印刷」でプリンターに印刷データを登録しておくと、見られたくない印刷物などを後でまとめて印刷できます。
☞ ICカードリーダー（130 ページ）



サイドカバー
紙づまりのときや定着ユニット、転写ロールを交換するときに開けます。
☞ 3. 紙づまりの処置方法（66 ページ）
☞ 5.1　定着ユニットの交換方法（114ページ）
☞ ●転写ロールの交換（124 ページ）

マルチペーパーフィーダー
特殊紙や厚紙などを少量印刷するときに使用します。
☞ 1.3 マルチペーパーフィーダー給紙の方法（34 ページ）

拡張ペーパフィーダ（オプション）
ペーパーカセットを追加装着するための給紙ユニットです。
☞ 6.1 オプションの紹介（128 ページ）

用紙残量ゲージ
カセット内の用紙残量が表示されます。

用紙サイズダイヤル
カセットにセットした用紙のサイズに合わせます。
☞ ペーパーカセットのサイズ変更方法（本体カセット）（29ページ）

給紙ガイド
拡張ペーパフィーダから印刷中に紙づまりしたときに開けます。
☞ 3.4 拡張ペーパフィーダ内の紙づまり（75ページ）

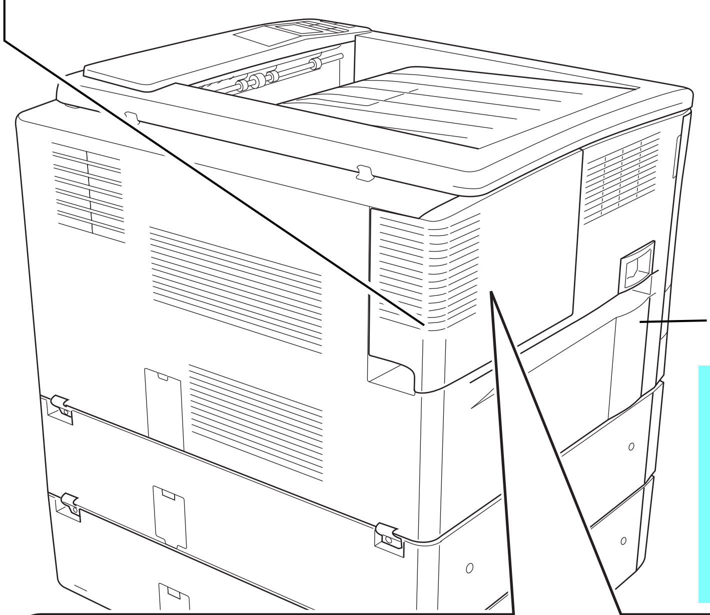
ペーパーカセット
A3、B4、A4、B5、A5、不定形サイズの用紙がセットできます。
☞ 1.2 ペーパーカセットからの給紙（28ページ）

＜背面＞

インターフェースカバー

内部に電源コード、USB ケーブル、LAN ケーブルの差し込み口と増設メモリ、ハードディスク、USBホスト拡張ボード取り付け部があります。

☞ **設置手順書　本体編**
☞ **6.2 増設メモリモジュールの取り付け（131ページ）**
☞ **6.3 ハードディスクユニットの取り付け（133ページ）**
☞ **6.4 USBホスト拡張ボードの取り付け（135ページ）**



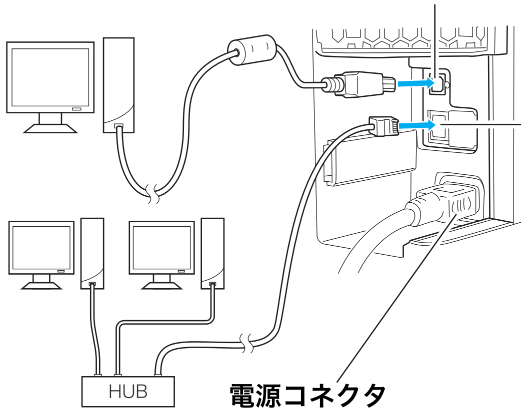
電源スイッチ
「｜」側を押すと電源ON
「０」側を押すと電源OFF

注意

電源スイッチＯＮ⇔ＯＦＦの間隔は５秒以上おいてください。短時間に電源スイッチをＯＮ⇔ＯＦＦすると誤動作や故障の原因になることがあります。

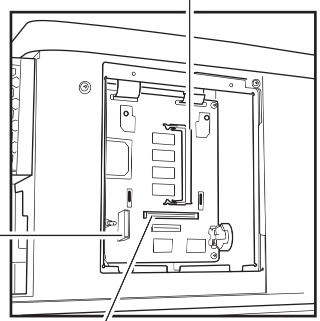
USBコネクター（USB2.0）
USBケーブルを接続します。

増設メモリソケット
増設メモリ（オプション）を接続します。



LANコネクタ（100/10Base）
LAN ケーブルを接続します。

USB ホスト拡張ボードコネクタ
USB ホスト拡張ボード（オプション）を接続します。



電源コネクタ
電源コードを接続します。

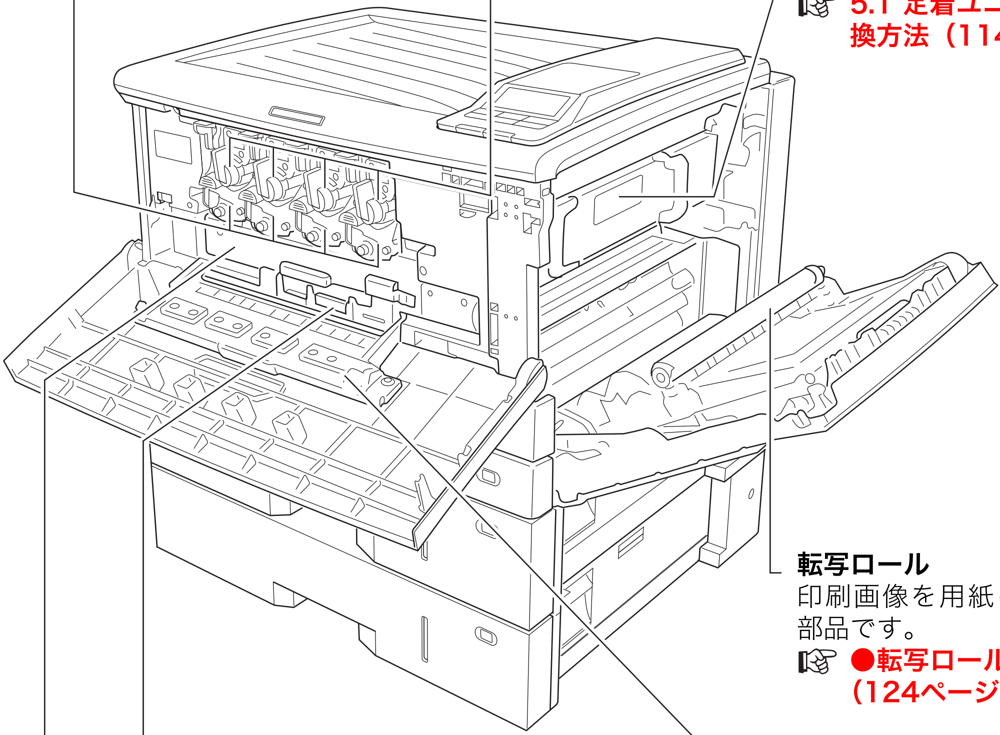
ハードディスクコネクタ
ハードディスク（オプション）を接続します。

＜内部＞

ドラムセット
左から順にブラック、シアン、マゼンタ、イエローの４色を差し込みます。
☞ 2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）

トナーセット
左から順にブラック、シアン、マゼンタ、イエローの４色を差し込みます。
☞ 2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）

定着ユニット
トナーを高温で用紙に定着する装置です。
☞ 5.1 定着ユニットの交換方法（114ページ）



転写ロール
印刷画像を用紙に転写する部品です。
☞ ●転写ロールの交換（124ページ）

廃トナーボックス
不要となったトナーや紙粉汚れを回収して貯めておく箱です。
☞ 2.4 廃トナーボックスの交換方法（62ページ）

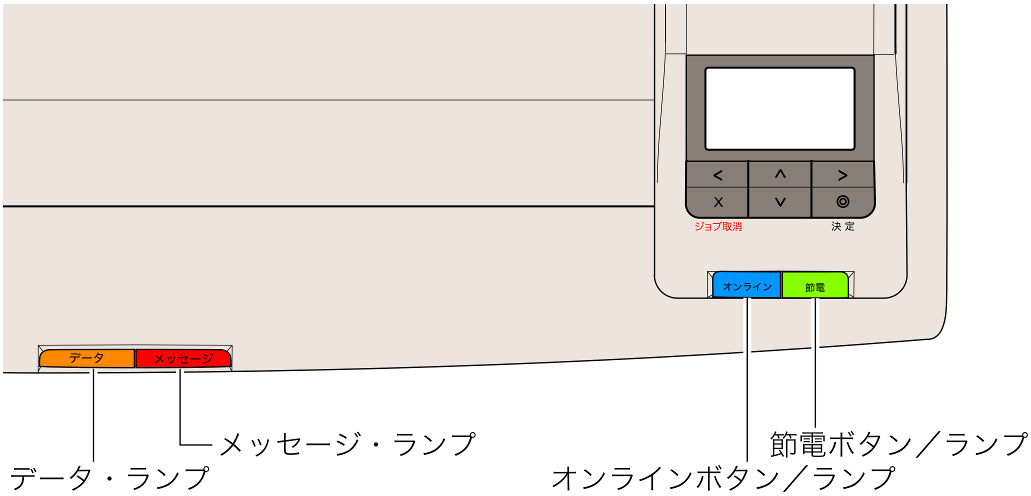
内部カバー
ドラムセット、転写ベルト、廃トナーボックスを固定しているカバーです。

転写ベルトユニット
感光ドラムで生成したトナー画像を用紙に一括転写して印刷画像を形成する装置です。
☞ 5.2 転写ベルトユニットの交換方法（119ページ）

＜操作パネル＞

ランプ

プリンターの状態をランプの点灯／点滅／消灯で表示します。



データ・ランプ（橙）	
消灯	未印字データ なし
点滅	データ受信中 データ処理中 コマンド途中
点滅	HDDアクセス中 （消灯が長めの点滅）
点灯	未印字データ あり

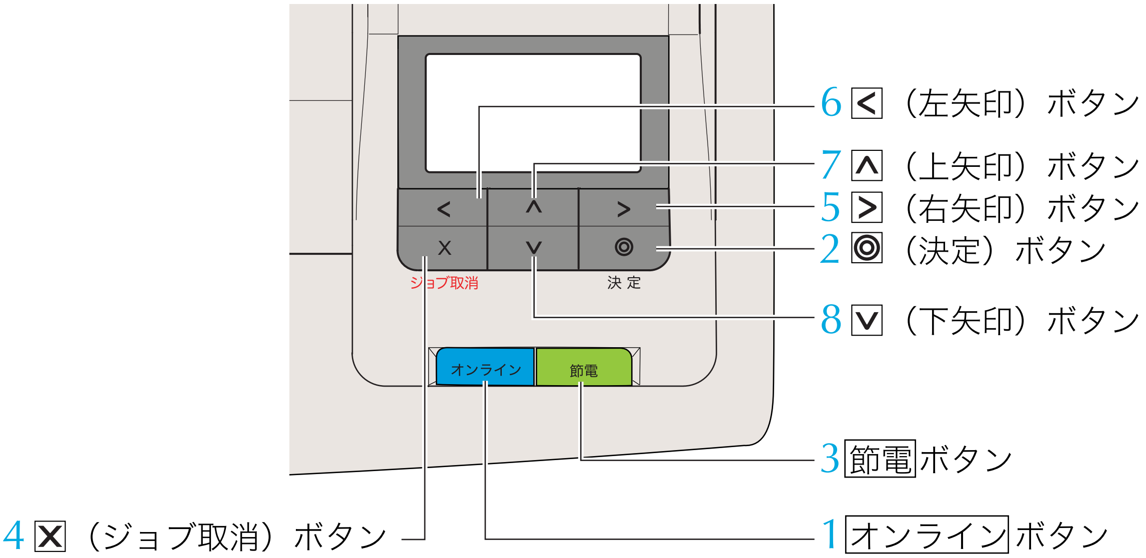
メッセージ・ランプ（赤）	
消灯	通常状態
点滅	エラー発生 （警告エラー・オペレーターコール・サービスコール）

オンライン ボタン／ランプ（青）	
消灯	オフライン状態 節電中
点滅	オンライン⇔オフライン 切り替え中
点灯	オンライン状態

節電ボタン／ランプ（緑）	
消灯	通常状態
点滅	ウォームアップ中 クールダウン中
点滅	節電中 （消灯が長めの点滅）

操作ボタン

各ボタンの主な機能



1 オンライン ボタン

オンライン／オフラインを切り替えます。
オンライン中：
未印字データがない場合にオンラインボタンを押すと、設定メニュー☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**に移行します。
未印字データがある場合にオンラインボタンを押すと、ジョブ取消／リセットを選択することができます。

2 ◎（決定）ボタン

①設定メニュー時
　選択した設定を確定または実行します。
②エラー発生時
　エラーをスキップします。
　エラーをスキップしても原因が処置されていなければ、再びエラーが発生する場合があります。

3 節電ボタン

プリンターを節電モードにします。（印刷中はモード変更できません。）
節電モード中に節電ボタンを押すと、節電モードを解除します。
節電ボタンを長押し（約４秒）すると一発エコモードのON/OFFが切り替わります。

☞ **「一発エコモード」（24 ページ）**

4 ☒（ジョブ取消）ボタン

印刷中のジョブ（印刷1回分のデータ）をキャンセルします。ジョブ取消モードに入ったとき約４秒以上長押しすると、プリンターをリセット（すべてのジョブを削除）します。

☞ **「オフライン中のパネル表示」（26 ページ）**

5 >（右矢印）ボタン

・設定メニュー時
　次の階層のメニューに入ります。
・エラー発生時
　お助け画面を表示します。

☞ **「エラー状態の表示」（23 ページ）**

6 <（左矢印）ボタン

・設定メニュー時
　前の階層のメニューに入ります。

7 ∧（上矢印）ボタン

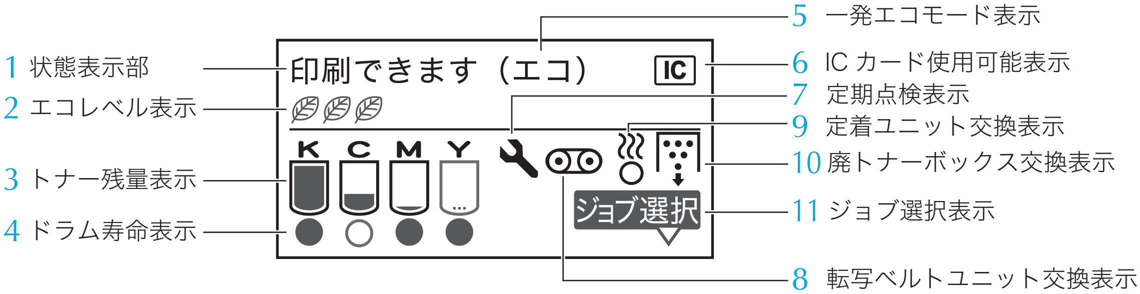
・設定メニュー時
　項目内の前のメニューに戻ります。
・数値入力時
　数字を１ずつカウントアップします。

8 ∨（下矢印）ボタン

・設定メニュー時
　項目内の次のメニューに戻ります。
・数値入力時
　数字を１ずつカウントダウンします。

表示パネル

アイコン表示の説明



1 **状態表示部**
プリンターの状態を表示します。

2 **エコレベル表示**
一発エコモード動作中で、両面印刷、マルチページ印刷、トナーセーブが設定されるごとに、マークを１つずつ表示します。

3 **トナー残量表示**
ＫＣＭＹ それぞれのトナー残量を表示します。図の例はイエローのトナーが残りわずかな状態です。トナーがなくなると（トナー交換）アイコンに変わります。

4 **ドラム寿命表示**
ＫＣＭＹ それぞれのドラム寿命を表示します。図の例はシアンのドラムが寿命ですが、シアンのトナーがなくなるまでドラム交換表示を保留している状態です。トナーがなくなると（ドラム／トナー交換）アイコンに変わります。

5 **一発エコモード表示**
一発エコモードで動作中に表示します。

6 **ICカード使用可能表示（オプションのICカードリーダー装着時のみ表示）**
ICカードを使用可能なときに表示します。

7 **定期点検表示**
定期交換部品の交換時期になると表示します。

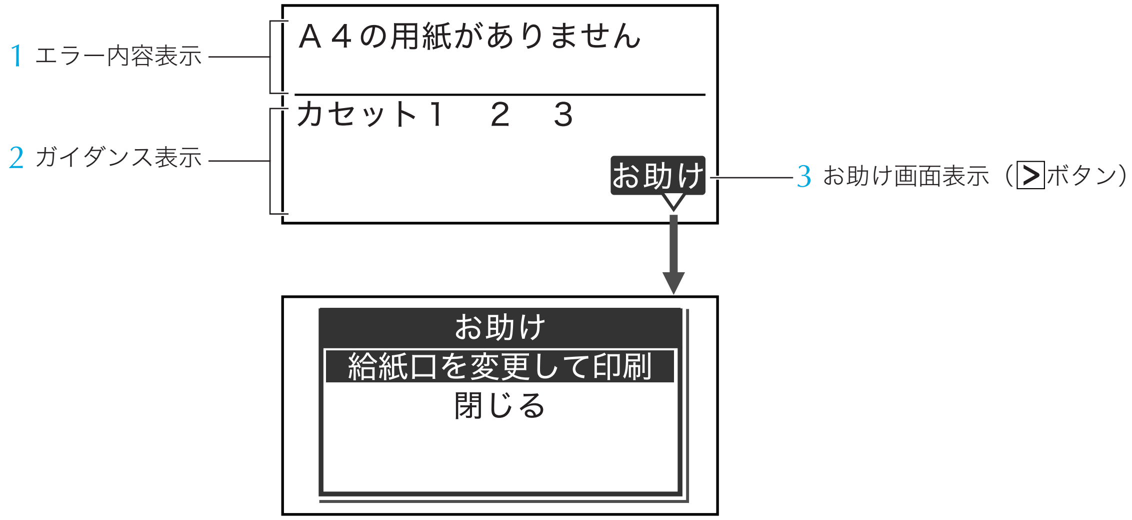
8 **転写ベルトユニット交換表示**
転写ベルトユニットの交換時期になると表示します。

9 **定着ユニット交換表示**
定着ユニットの交換時期になると表示します。

10 **廃トナーボックス交換表示**
廃トナーボックスの交換時期になると表示します。

11 **ジョブ選択表示（オプションのハードディスク装着時のみ表示）**
ジョブ選択表示中に > ボタンを押すと、認証印刷の印刷ジョブが表示されます。

エラー状態の表示



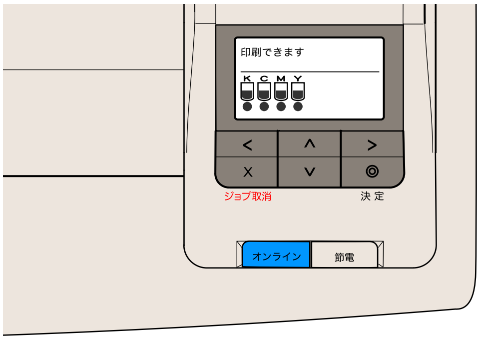
1　**エラー内容表示**
　エラーの内容を表示します。

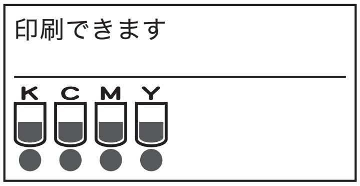
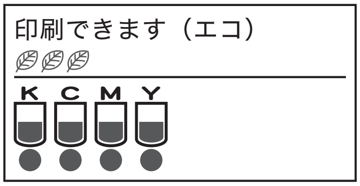
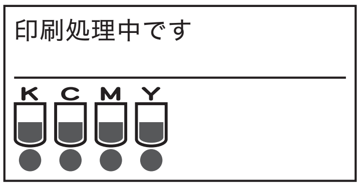
2　**ガイダンス表示**
　エラー発生場所や処置方法を表示します。

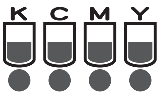
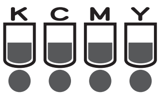
3　**お助け画面表示（>ボタン）**
　お助け 表示中に > ボタンを押すと、おすすめの処置方法や、処置方法の手順を表示します。

オンライン中のパネル表示

オンラインランプ（青色）が点灯している状態です。

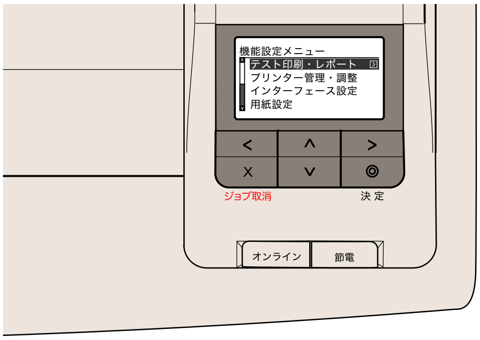


表示メッセージ	操作
	データ待機中（通常表示） 注）省電力待機中はバックライトが消え、スリープ中は表示が消えます。
	一発エコモード状態※でデータ待機中 注）省電力待機中はバックライトが消え、スリープ中は表示が消えます。 ※ 一発エコモード状態とは、[節電]ボタンを４秒以上押してすべてのユーザーのプリンタードライバー設定をエコモード（両面印刷・マルチページ印刷・トナーセーブ）に一括変更した状態です。もう一度[節電]ボタンを４秒以上押すと解除されます。エコモードの既定値は Web 設定で変更できます。詳細は☞**ユーザーズマニュアル　Web設定編**をご覧ください。
	データ受信・処理中

表示メッセージ	操作
印刷処理中です カセット１ Ａ４ 普通紙	データ印刷中 注）印刷中の給紙口、用紙サイズ、紙種が表示されます。
自動調整中 しばらくお待ちください  	印刷濃度やレジスト（色ズレ）を自動調整中です。調整が終わると印刷を再開します。
クールダウン中 しばらくお待ちください  	連続印刷中などにプリンターの機内温度が上昇すると表示されます。機内温度が下がると印刷を再開します。
ハードディスク処理中 しばらくお待ちください  	ハードディスク（オプション）アクセス中 ※ ハードディスクアクセス中はプリンターの電源をOFFにしないでください。ハードディスクが破損する恐れがあります。

オフライン中のパネル表示

「オンライン」ボタンを押して、ランプ（青色）が消灯した状態です。
※ 約１分間ボタン操作をしないと自動的にオンライン状態☞(24 ページ) に戻ります。



表示メッセージ	操作
機能設定メニュー テスト印刷・レポート プリンター管理・調整 インターフェース設定 用紙設定	未印字データがない場合は、設定メニュー画面を表示します。 詳細は☞**ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**をご覧ください。
印刷データあり ×取消（リセット）	未印字データがある場合は、データの処理方法選択画面を表示します。 ・取消（ジョブ取消） [X]（ジョブ取消）ボタンを押すと、表示パネルに表示されているジョブを削除します。 ・リセット [X]（ジョブ取消）ボタンを約４秒以上長押しするとすべてのジョブを削除します。 ・排紙（強制印刷） 表示パネルに「排紙」が表示されているとき[◎]（決定）ボタンを押すと、プリンター内に残っている未印字データを強制的に印刷します。強制印刷完了後、未印字データがなくなると設定メニューになります。 ・印刷継続 [オンライン] ボタンを押すとオンラインに切り替わり印刷を再開します。
印刷データあり ×取消（リセット）／◎排紙	

1. 用紙の補給

1.1 用紙と給紙方法について

本プリンターは一般にページプリンター用、乾式コピー機用として販売されている普通紙（上質紙と再生紙）および特殊紙（郵便はがき、封筒、ラベル紙、厚紙、不定型紙、長尺紙）を下記の給紙方法で使用できます。

給紙装置	用紙の種類 （紙種）	用紙サイズ	紙の厚さ （坪量）	容　量 （重ねてセットできる用紙の高さ）
本体上段(カセット1)カセットおよび本体マルチペーパーフィーダー(MPF1)	普通紙	A3縦、B4縦、A4縦／横、B5横、A5横 不定形 ｛幅　90～297mm 長さ148～432mm	64～94g/m^2	カセット1:150枚(64g/㎡) 高さ15mm以下 MPF1:50枚(64g/㎡) 高さ5mm以下
	厚紙*1		95～216g/m^2*3	
	長尺紙	297×900mm、297×1200mm	64～157g/m^2	1枚(MPF1のみ可能)
	郵便はがき	100×148mm、200×148mm*2		カセット1:30枚 MPF1:20枚
	封筒	長形３号(120×235mm) 長形４号(90×205mm) 洋形１号(120×176mm)		カセット1:10枚 MPF1:5枚
	ラベル紙	A4		カセット1:30枚(指定紙) MPF1:20枚(指定紙)
本体下段(カセット2)カセットおよび拡張ペーパフィーダ(カセット3～5)	普通紙	A3縦、B4縦、A4縦／横、B5横、A5横 不定形 ｛幅　210～297mm 長さ148～432mm	64～100g/m^2	本体上段カセット: 250枚(64g/m^2) (高さ25mm以下) 拡張ペーパフィーダ: 550枚(75g/m2) 高さ55mm以下(普通紙) (45mm以下(厚紙))
	厚紙*1		101～157g/m^2	

＊1　129g/m^2 以上の厚紙は給紙方向に対して横目の用紙をご使用ください。☞ **4.4　紙づまりのトラブル（94ページ）**

＊2　往復はがきは折れ目のない物をご使用ください。

＊3　本体上段カセット（カセット１）は216g/m^{2}までです。

ポイント プリンターで快適な印刷をするには用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙を使用する前に必ず☞ **付録2. 用紙について（140ページ）**をご覧ください。

ポイント 上記のサイズや厚さの用紙でも、紙質などにより紙づまりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

1.2 ペーパーカセットからの給紙

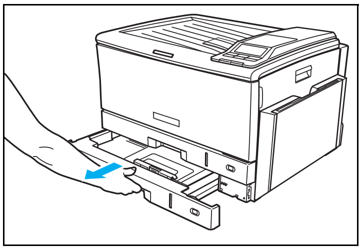
（表示例）

A４の用紙がありません
カセット２
お助け

本体下段カセット（カセット２）にA4サイズの用紙がなくなったことを表示しています。

お助け > ボタンを押すと給紙口を変更して印刷できます。

ポイント 以下の手順は本体下段カセット（カセット 2）に用紙を補給する手順ですが、本体上段カセット（カセット1）やオプションの拡張ペーパフィーダも同様の手順です。

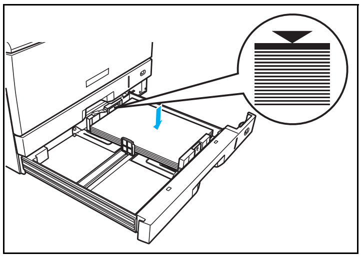


1. ペーパーカセットをプリンターから引き出します。

ポイント 印刷中はペーパーカセットを引き抜かないでください。

ポイント 通常はペーパーカセットをプリンターから取り外さないでください。

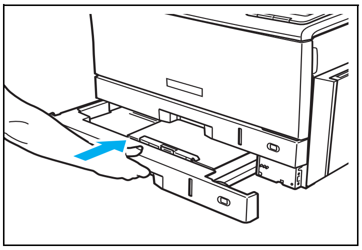
ポイント 用紙サイズを変更するときは、ペーパーカセットのサイズ変更方法（本体カセット）（29 ページ）を参照してください。



2. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。

ポイント 用紙が横ガイドの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。セットできる用紙の量はカセットの種類や用紙の厚さによって違いますのでご注意ください。

ポイント 用紙の継ぎ足しによる段差ができないように用紙をそろえてください。



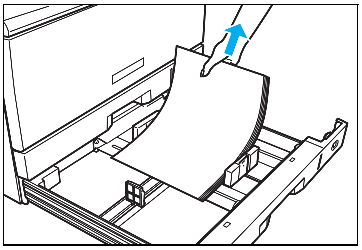
3. ペーパーカセットを奥までゆっくり差し込むと、残りの印刷を再開します。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙づまりの原因になります。

注意 他のプリンターや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。

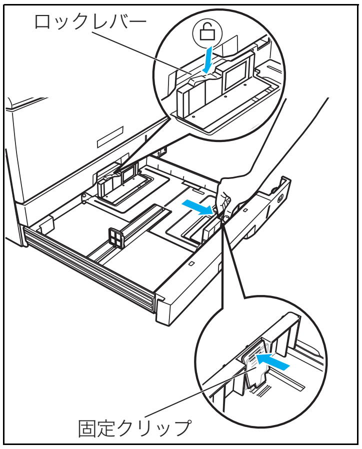
ペーパーカセットのサイズ変更方法（本体カセット）

ペーパーカセットのガイド板を、用紙サイズに合わせて移動させることにより、７種類（A3縦、B4縦、A4縦／横、B5横、A5横、不定形）のサイズに変更できます。

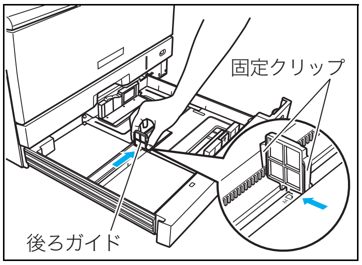


1. ペーパーカセットを引き出し、用紙を取り出します。

> ポイント 印刷中はペーパーカセットを引き抜かないでください。

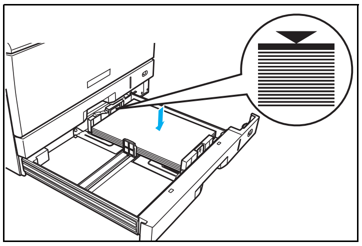


2. 奥側のロックレバーの解除（🔓）側を押し、手前側の固定クリップをつまみながら、用紙が入る幅に移動します。



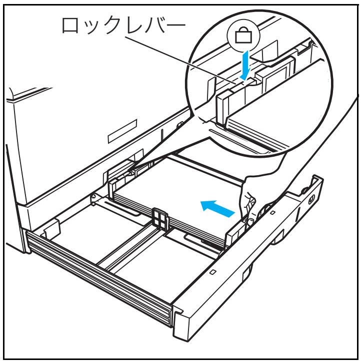
3. 後ろガイド横の固定クリップをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に固定します。

> ポイント クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

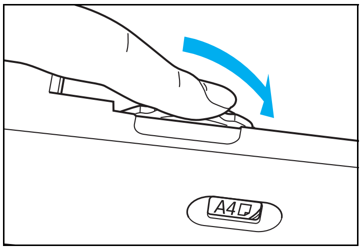


4. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。

> ポイント 用紙が横ガイドの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。



5. 手前側の固定クリップをつまみながら、用紙に軽く当たる位置に調節し、ロックレバーのロック（🔒）側を押して固定します。

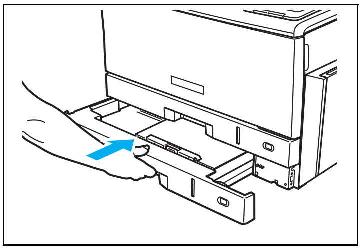


6. 用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。

ポイント A4 サイズの用紙を手順５の図の向きにセットしたときは「A4」に合わせます。
縦送り方向にセットしたときは「A4R」に合わせます。

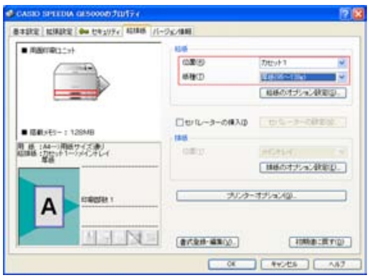
ポイント セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていないと、用紙から印刷がはみ出したり、紙づまりの原因になります。

ポイント 不定形サイズの用紙をセットしたときはダイヤルを「Free」に合わせます。
詳しくは☞ 不定形サイズの用紙（47ページ）をご覧ください。



7. ペーパーカセットをプリンターの奥までゆっくり差し込みます。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙づまりの原因になります。



8. セットした用紙の給紙口と紙種を、プリンタードライバーで設定してプリンターにデータを送ります。

カセット１（本体上段カセット）に厚紙をセットした場合の例です。「紙種」の初期設定は「パネル設定通り」になっています。

☞ ユーザーズマニュアル　プリンタードライバー編
4.4 給排紙（15ページ）

ポイント プリンタードライバーの設定は、操作パネルの設定よりも優先します。一時的に特定の用紙をセットして使用する場合は、操作パネルで「紙種」を設定しなくても、プリンタードライバーの「紙種」を「厚紙」に設定して印刷することができます。

ポイント 常に決まった給紙口に特定の用紙をセットして使用する場合は、プリンターの操作パネルで「紙種」を設定しておくと、プリンタードライバーの設定は「パネル設定通り」のまま変更する必要はありません。

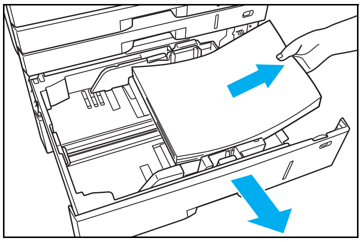
（表示例）カセット1に厚紙をセットした場合

《カセット 1 紙種》
普通紙
カラー上質紙
両面用上質紙
*厚紙

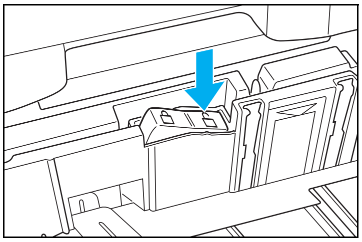
「機能設定メニュー」→「用紙設定」→「紙種」→「カセット1」

ユーザーズマニュアル　設定メニュー編

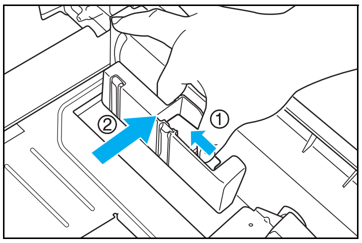
ペーパーカセットのサイズ変更方法（拡張ペーパフィーダ）



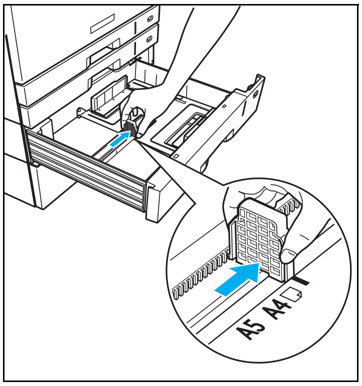
1. ペーパーカセットを引き出し、用紙を取り出します。



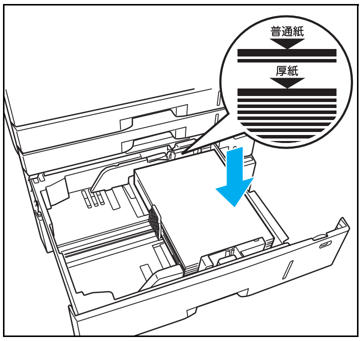
2. 奥側のロックレバーの解除（🔓）側を押します。



3. 横ガイドのレバーをつまみながら（←①）一番外側に移動します。（←②）

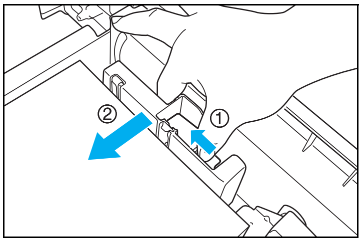


4. 後ろガイド横の固定クリップをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に固定します。

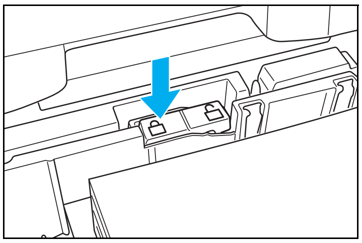


5. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。

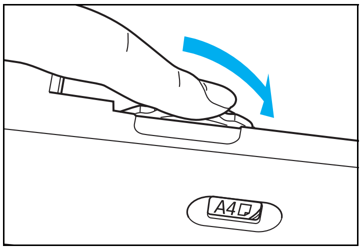
> ポイント 用紙が横ガイドの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。
>
> ポイント 厚紙はセットできる用紙の量が少ないのでご注意ください。



6. 横ガイドのレバーをつまみながら（←①）用紙にぴったり押し当てます。（←②）



7. ロックレバーの（🔒）側を押して固定します。

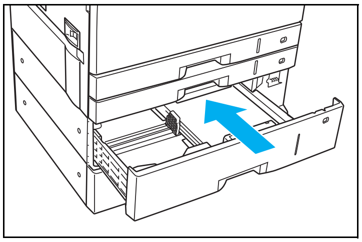


8. 用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせます。

ポイント A4 サイズの用紙を手順５の図の向きにセットしたときは「A4」に合わせます。縦送り方向にセットしたときは「A4R」に合わせます。

ポイント セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていないと、用紙から印刷がはみ出したり、紙づまりの原因になります。

ポイント 不定形サイズの用紙をセットしたときはダイヤルを「Free」に合わせます。詳しくは不定形サイズの用紙（47ページ）をご覧ください。



9. ペーパーカセットを奥までゆっくり差し込みます。

ポイント 勢いよく押し込むと中の用紙がずれて、斜め送りや紙づまりの原因になります。

ポイント ペーパーカセットにセットした用紙の厚さによって、プリンタードライバーの「紙種」を設定してください。付録3. 紙種別給紙口一覧表（146ページ）

1.3 マルチペーパーフィーダー給紙の方法

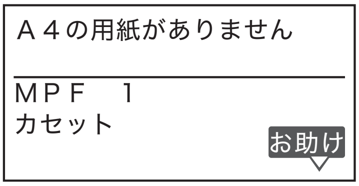


1. マルチペーパーフィーダーから印刷するときは、プリンタードライバーの「給排紙」タブ画面で「給紙」の「位置」を「MPF１」に設定してプリンターにデータを送ります。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

ポイント マルチペーパーフィーダーにセットする用紙の厚さによって、プリンタードライバーの「紙種」を設定してください。付録3. 紙種別給紙口一覧表（146ページ）

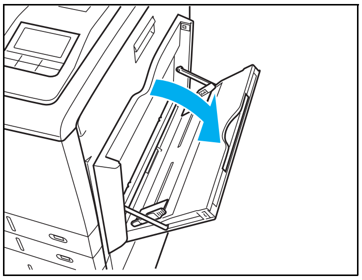
（表示例）



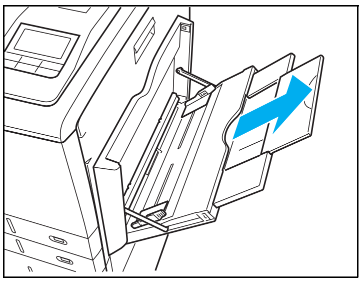
2. 図のメッセージが表示されたら、以下の手順でマルチペーパーフィーダーに用紙を１枚ずつ差し込みます。

お助け［>］ボタンを押すと給紙口を変更して印刷できます。

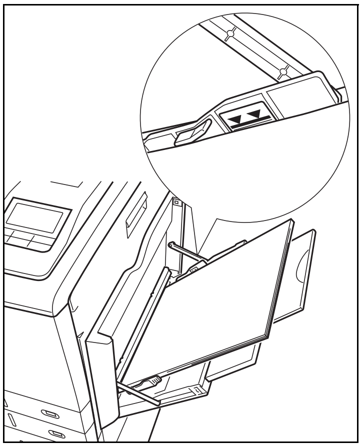
ポイント 図の表示になる前に用紙を差し込むと紙づまりの原因になります。必ず表示が出てから用紙を差し込んでください。



3. マルチペーパーフィーダーを開けます。



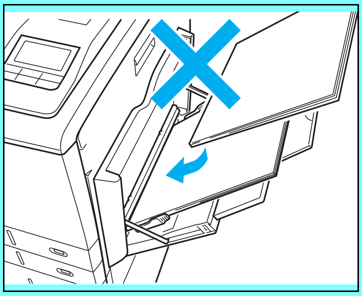
4. Ａ４横送り（210mm）より長い用紙をセットする時は補助トレイを伸ばします。



5. 印刷する面を下向きに用紙をセットし、横ガイドを用紙に軽く当たる位置に調整します。用紙の高さが横ガイドの▼▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。

ポイント 横ガイドと用紙の間にすきまがあると、斜め送りや紙づまりの原因となります。

ポイント マルチペーパーフィーダーに用紙の継ぎ足しはしないでください。複数の紙が一度に給紙され紙づまりの原因となります。

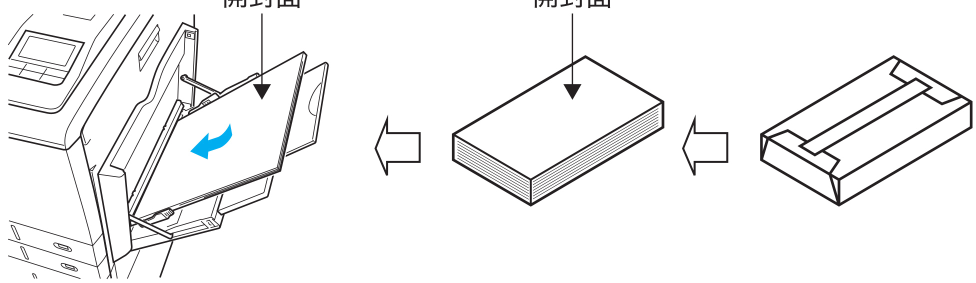


用紙を補充するときは、残っている用紙をいったん取り出して補充する用紙と一緒にきれいに揃えてから、マルチペーパーフィーダーにセットしてください。

ポイント マルチペーパーフィーダーでＡ３サイズの厚紙に印刷すると、用紙の表裏によっては複数の紙が一度に給紙されて、紙づまりになる場合があります。

このようなときは、以下のいずれかの処置を行ってください。

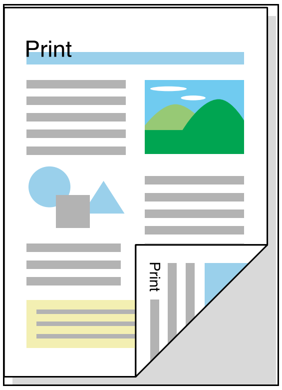
- 用紙の開封面を上向きにセットして印刷してください。
- 用紙の表裏を逆にセットしなおして印刷してください。
- マルチペーパーフィーダーから１枚ずつ印刷してください。
- カセット１（本体上段カセット）にセットして印刷してください。



つまっている用紙が引き抜けないときは、

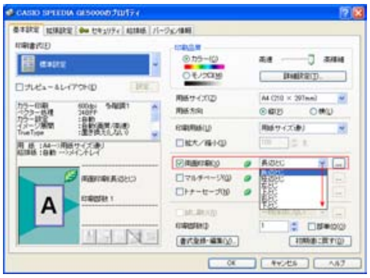
☞ **<マルチペーパーフィーダーに途中まで入っている用紙を取り除く方法>（74ページ）**を参照してください。

1.4 両面印刷の方法



用紙の両面に印刷できます。

> ポイント　写真など濃度が高い画像をうすい用紙の両面に印刷すると、裏写りしやすくなります。厚手の用紙を使って印刷することをおすすめします。

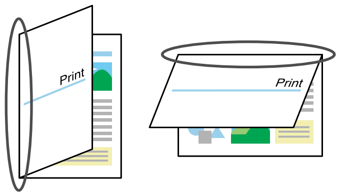


1. プリンタードライバーの「基本設定」タブ画面で「両面印刷」を選択します。

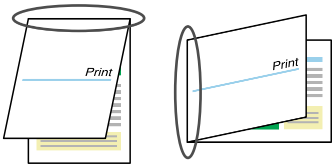
アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

2. とじる方向（表と裏の印刷方向）を選択してプリンターにデータを送ります。

長辺とじ



短辺とじ



とじる方向には、上記のほかに左とじ、上とじ、右とじ、下とじがあります。詳しくはプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

1.5 特殊紙の印刷方法

ラベル紙、厚紙、郵便はがき、封筒などの特殊紙はマルチペーパーフィーダー、または本体上段カセット（カセット1）にセットして印刷します。

ポイント 特殊紙の印刷品質は普通紙より悪くなることがあり、紙づまりや白抜けも発生しやすくなります。本プリンターに適さない特殊紙も多くありますので、弊社推奨紙のご使用をおすすめします。☞ 付録2. 用紙について（140ページ）

ポイント 用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

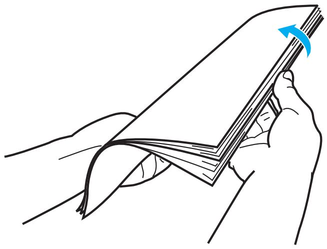
ポイント 特殊紙に両面印刷はできませんのでご注意ください。

ポイント 郵便はがき、封筒は、印刷できる用紙の面や向きが決まっています。☞ 付録4. 用紙のセット方向と設定一覧表（147ページ）それ以外の向きにセットすると画像トラブルやシワが発生しやすくなります。

ポイント ご使用のアプリケーションによって、印刷の位置や向きが合わない場合があります。必ず同じサイズの普通紙で試し印刷を行ってください。合わない場合は、プリンタードライバーのリバース印字機能（印刷の向きを180゜回転する）を使って修正してください。（給排紙タブ画面の「排紙のオプション」で設定）

ラベル紙

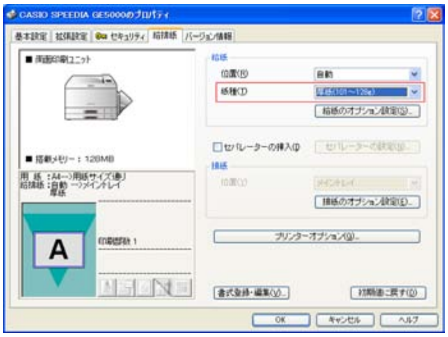
- ラベル紙はカールしていないものをご使用ください。紙づまりの原因になります。
- ラベル紙は図のように数回さばき、貼り付きを完全になくしてからセットしてください。



- 指でこすると印刷が落ちるような厚手のラベル紙に印刷するときは「ラベル紙（厚手）」で印刷してください。

厚紙

● 101～128g/m²の厚紙に印刷するときは「紙種」を「厚紙」モードに、129～216g/m²の厚紙に印刷するときは「ごく厚紙」モードに設定します。「普通紙」モードのまま印刷すると、白地の部分が汚れたり、指でこすると印刷がかすれることがあります。(「厚紙」「ごく厚紙」モードの印刷速度は「普通紙」より遅くなります。)



アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「給排紙」タブ画面を表示します。

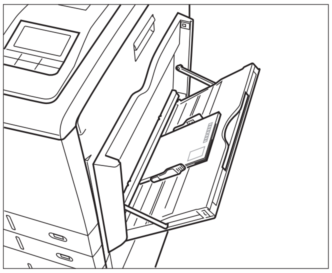
(アプリケーションにより一部異なる場合があります。)

ポイント　カラー印刷時に、使用する用紙の紙質や印字率などによっては、101～128g/m²の厚紙を「厚紙」モードで印刷しても、印刷画像を指でこすると印刷が落ちることがあります。このようなときは、「ごく厚紙」モードに設定してください。

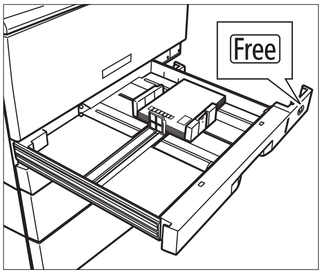
郵便はがき

1. 郵便はがきに印刷するときは図の向きにセットします。

<通常郵便はがき>

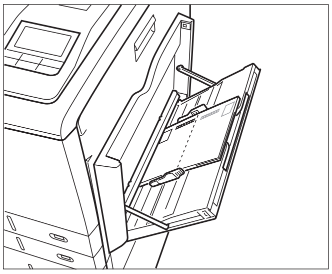


印刷する面を下向きにセット（20枚以下）

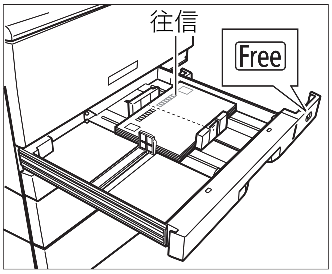


印刷する面を上向きにセット（30枚以下）
用紙サイズダイヤルをFreeにセット

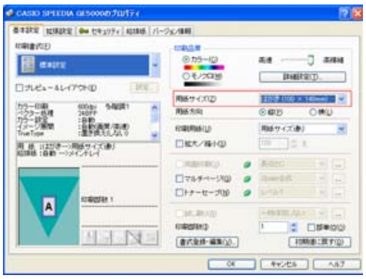
<往復郵便はがき>



印刷する面を下向きにセット（20枚以下）

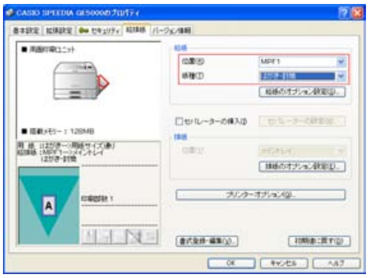


印刷する面を上向きにセット（30枚以下）
用紙サイズダイヤルをFreeにセット



2. 「用紙サイズ」を「はがき（100×148mm）」に設定します。

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）



3. 「給排紙」タブ画面で「位置」をはがきをセットした給紙口に、「紙種」を「はがき・封筒・ラベル紙」モードに設定して印刷します。

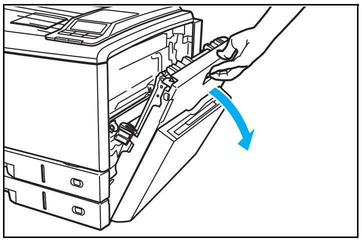
> ポイント
> プリンターの表示パネルに「はがきサイズの用紙がありません」メッセージが表示されたときは◎（決定）ボタンを押してください。このメッセージを表示させたくないときは オンライン ボタンを押して、「機能設定」メニューの「用紙設定」→「Ｆｒｅｅ 用紙設定」→「カセット 1」または「MPF1」を「はがき」に設定してください。
> ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**

- 往復はがきは中央に折り目が入っていないものをご使用ください。
- 郵便はがきに印刷する前に同じサイズの用紙で試し印刷して、印刷位置などを確認してください。

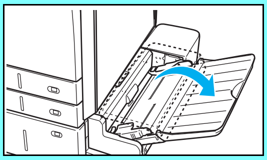
> 注意
> 印刷できるのは普通紙の郵便はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。
> - 私製はがき
> - 絵はがきなどの厚いはがき
> - 絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき
> - インクジェットプリンター専用のはがき
> - 一度印刷したはがき
> - 表面加工されたはがき
> - 表面に凹凸があるはがき
>
> <再生紙で作られたはがきについて（年賀状やかもめーるなど）>
>
> 再生紙で作られたはがきは、紙粉（用紙の白い粉）などの影響により正しく印刷できない場合があります。そのような場合は、紙粉をはたき落とし反りやバリを取ってご使用ください。
> 紙粉やバリの付いたはがきを大量に使用すると、画像汚れや故障の原因になる場合があります。紙粉やバリなどを取り除いてからご使用ください。

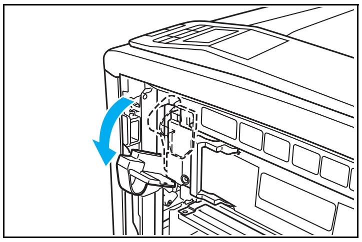
封筒

定着ユニットの圧力切り替えレバーを封筒に切り替えます。



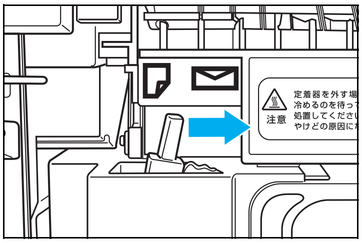
1. サイドカバーを開けます。

> **注意**
>
> 
>
> MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。



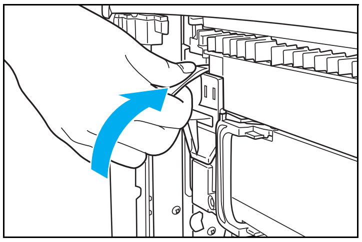
2. 定着解除レバーを下げます。

> **注意** 定着解除レバーは止まる位置まで確実に下げてください。途中までしか下げずに圧力切り替えレバーを無理に動かすと、レバーが引っ掛かって動かなくなる場合があります。

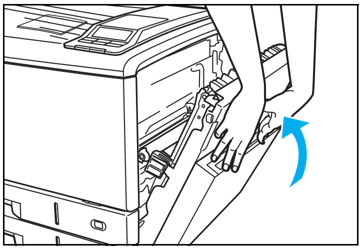


3. 圧力切り替えレバーを封筒（右）側に倒します。

> **ポイント** 封筒の印刷が終わったら、圧力切り替えレバーを普通紙（左）側に戻してください。



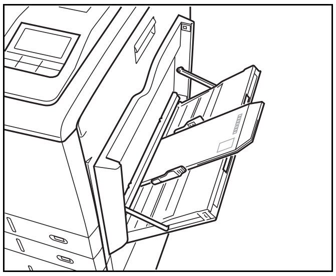
4. 定着解除レバーを上げます。



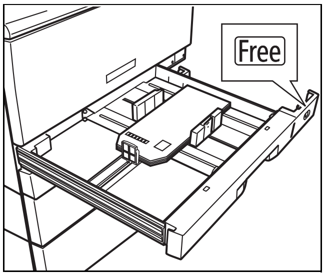
5. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

封筒をセットします。

<長形3号、4号>

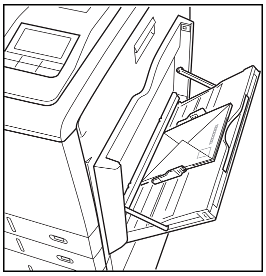


印刷する面を下向きにセット（5枚以下）

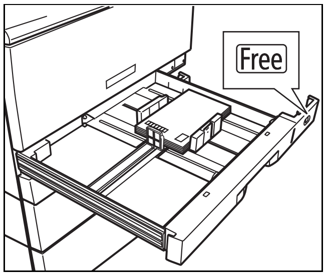


印刷する面を上向きにセット（10枚以下）
用紙サイズダイヤルをFreeにセット

<洋形1号>



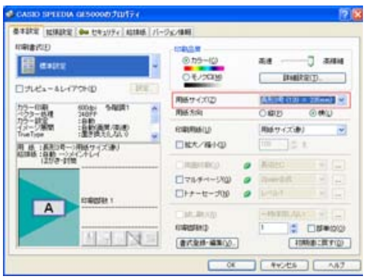
印刷する面を下向きにセット（5枚以下）



印刷する面を上向きにセット（10枚以下）
用紙サイズダイヤルをFreeにセット

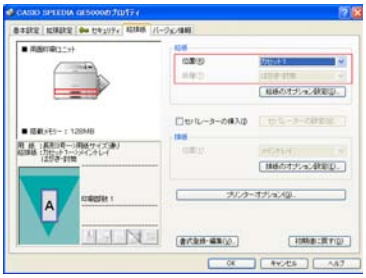
ポイント 封筒の裏面には印刷できません。紙づまりの原因になります。

ポイント 封筒の種類によっては、本体上段カセットにセットするとシワや紙づまりが発生しやすいものがあります。このような封筒はマルチペーパーフィーダーから１枚ずつ印刷してください。



6. 「用紙サイズ」を「○○○号」（封筒）に設定します。
（○○○部分は使用する封筒のサイズを選んでください。）

アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）



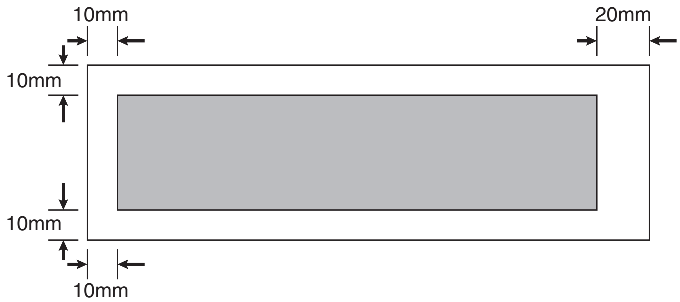
7. 「給排紙」タブ画面で「位置」を封筒をセットした給紙口に、「紙種」を「はがき・封筒・ラベル紙」モードに設定して印刷します。

> **ポイント** プリンターの表示パネルに「○○号サイズの用紙がありません」メッセージが表示されたときは◎（決定）ボタンを押してください。このメッセージを表示させたくないときは[オンライン]ボタンを押して、「機能設定」メニューの「用紙設定」→「Ｆｒｅｅ用紙設定」→「カセット1」を使用する「封筒のサイズ」に設定してください。
>
> ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**

> **注意** 以下の封筒は使用しないでください。紙づまりや故障の原因になります。
> - ●開封口にのりが付いている封筒
> - ●窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
> - ●箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
> - ●大きく反った封筒
> - ●二重（内張りがある）封筒

長尺紙

- 印刷できる長尺紙は最大297×1200mm、厚さ64 ～ 157g/m²です。
- 裁断が直角でなかったり、裁断面にバリがある用紙は使用できません。
- 使用する長尺紙の用紙サイズ（任意の用紙サイズ）がアプリケーションで設定できない場合は印刷できません。また、アプリケーションによっては用紙サイズが設定できても正しく印刷できないことがあります。
- 長尺紙の印刷は大量のデータを処理するため、プリンターの標準メモリー（128MB）では不足し、印刷が極端に遅くなったり印刷できないことがあります。
  プリンタードライバーの印刷書式で「画面プレビュー優先」**ユーザーズマニュアル　プリンタードライバー編 4.1 基本設定（9ページ）**に設定すると改善される場合があります。
  設定を変更しても改善されないときは、メモリーを増設すると改善されることがあります。
- 長尺紙は用紙ズレが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分（先端と左右を10mm以上、後端を20mm以上）とって印刷してください。



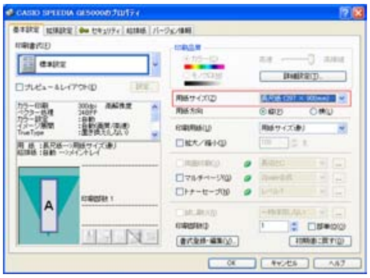
- 印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷すると、トナーの供給が追いつかず途中から印刷がかすれることがあります。このようなときはベタ部分を網かけにしたり、色をうすくするなどの処理をして低い印字率で印刷してください。

> **注意** トナーが少ない状態で印字率が高い画像を印刷するとかすれることがあります。そのまま印刷を続けるとドラムセットが劣化して、画質が回復しなくなる場合があります。印字率が高い画像を連続して印刷するときは、新しいトナーセットに交換して印刷することをおすすめします。

長尺紙の印刷手順

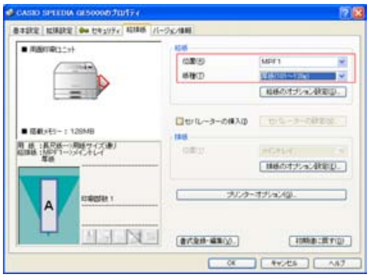
わずかな斜め送りでも、用紙の後半になるほど大きくずれて紙づまりすることがあります。まっすぐに印刷することに注意して以下の手順で印刷してください。

ポイント プリンタードライバーで、セットする用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPF1にしてプリンターにデータを送ります。



1. 「用紙サイズ」を「長尺紙」に設定します。
アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「基本設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）

ポイント 「長尺紙」を設定すると、「解像度」は自動的に「300dpi」が設定されます。「詳細設定」ボタンをクリックして「解像度」を「600dpi」に設定することもできますが、標準メモリー128MBでは「メモリーが足りません」エラーになる場合があります。

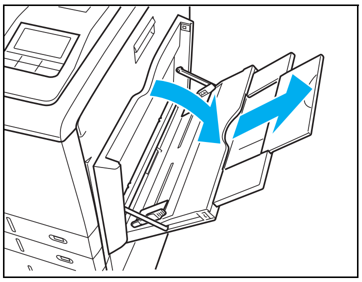


2. 「給排紙」タブ画面で「給紙」の「位置」を「MPF1」、「紙種」を用紙の種類や厚さに合わせて印刷します。

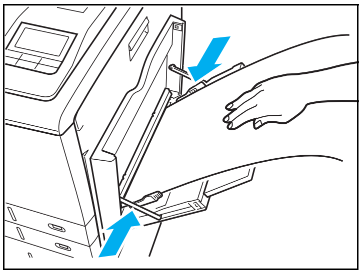
<長尺紙（297 × 900 mm）の表示例>

長尺紙サイズ用紙が
ありません
MPF　1

3. 図のメッセージが表示されたら、印刷面を下向きにして長尺紙を１枚セットします。

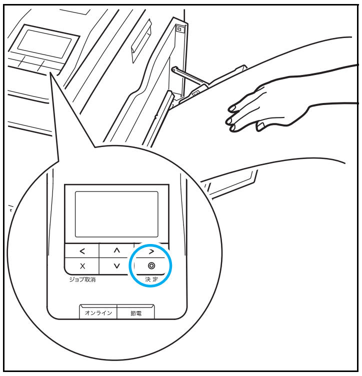


4. マルチペーパーフィーダーを開け、補助トレイを伸ばします。



5. 左右の用紙ガイドが長尺紙にピッタリと当たる位置に調整します。

> ポイント　複数の長尺紙をまとめてセットすることはできません。



6. 用紙が落ちないように手で支えながら ◎（決定）ボタンを押すと印刷を開始します。

> ポイント　プリンターに長尺紙がまっすぐ入るよう注意して差し込んでください。

⚠ 注 意

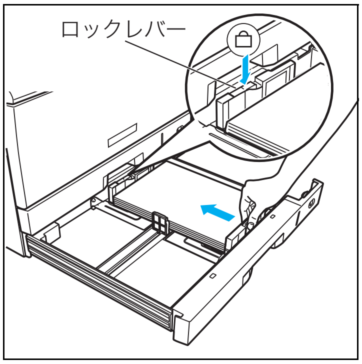
引き込まれる用紙の両端で手を切らないようご注意ください。

不定形サイズの用紙

不定形サイズの用紙とは長さが432mm以下の用紙です。432mmより長い長尺紙の印刷方法は☞ **長尺紙（44ページ）**をご覧ください。

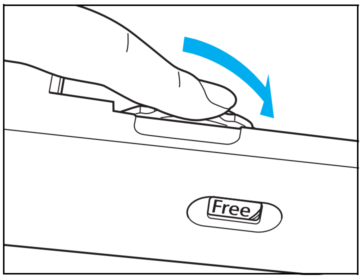
<ペーパーカセットに不定形サイズの用紙をセットする方法>

> ポイント　以下の手順は本体下段カセット（カセット2）に用紙をセットする手順ですが、本体上段カセット（カセット1）やオプションの拡張ペーパフィーダも同様の手順です。



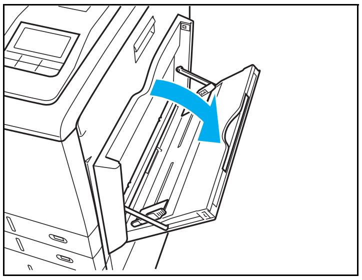
1. 用紙をそろえ、印刷する面を上向きにしてカセットに入れます。横ガイドと後ろガイドを用紙に軽く当たる位置に固定します。
   詳しくは☞ **ペーパーカセットのサイズ変更方法（本体カセット）（29ページ）**参照してください。

   > ポイント　横ガイドと後ろガイドがカセットの溝に固定できないサイズは使用できません。

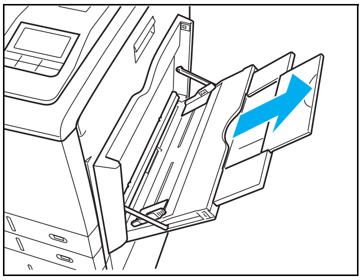


2. 用紙サイズダイヤルを「Free」に合わせて、ペーパーカセットをプリンターに奥までゆっくり差し込みます。

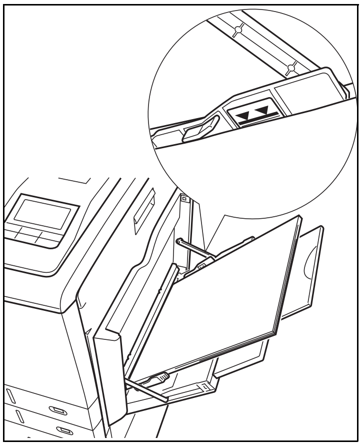
＜マルチペーパーフィーダーに不定形サイズの用紙をセットする方法＞



1. マルチペーパーフィーダーを開けます。



2. Ａ４横送り（210mm）より長い用紙をセットする時は補助トレイを伸ばします。



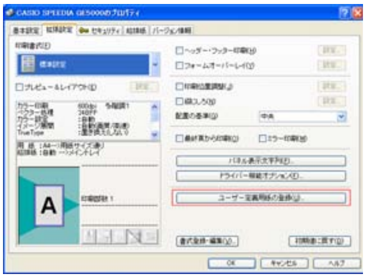
3. 印刷する面を下向きに用紙をセットし、横ガイドを用紙に軽く当たる位置に調整します。用紙の高さが横ガイドの▼▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。

> **ポイント** 横ガイドと用紙の間にすきまがあると、斜め送りや紙づまりの原因となります。

＜不定形サイズの用紙に印刷する方法＞

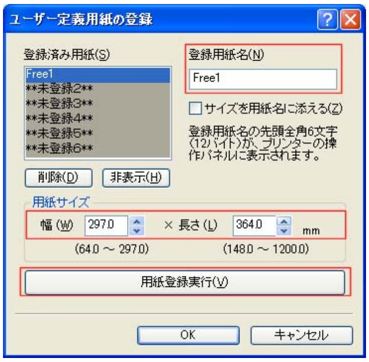
プリンタードライバーの「ユーザー定義用紙サイズ」を設定して不定形サイズをセットした給紙口から印刷します。

> ポイント　Windows XPを例に説明します。OSやアプリケーションによって設定方法は異なります。また、OSやアプリケーションによっては不定形サイズがサポートされていないものがあります。各OSやアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

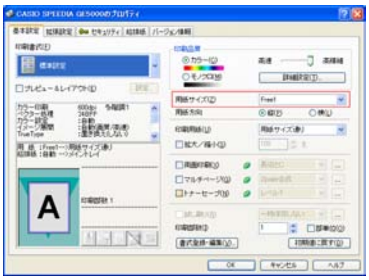


1. 「拡張設定」タブ画面で「ユーザー定義用紙サイズの登録」ボタンをクリックします。

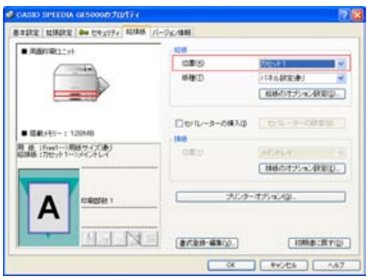
アプリケーションの「ファイル」メニュー「印刷」から「SPEEDIA GE5000」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックして「拡張設定」タブ画面を表示します。
（アプリケーションにより一部異なる場合があります。）



2. 登録用紙名（例：Free1）とプリンターにセットした用紙サイズを入力し、「用紙登録実行」をクリックして「OK」をクリックします。



3. 「基本設定」タブ画面で「用紙サイズ」の候補から手順2．で登録した登録用紙名（例：Free1）を選択します。



4. 「給排紙」タブをクリックして「給紙」の「位置」に用紙をセットした給紙口を選択して「OK」をクリックします。

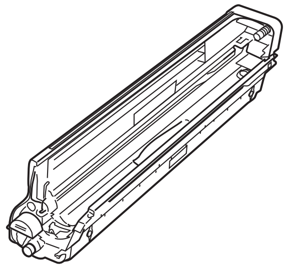


5.「OK」をクリックすると印刷を開始します。

2. 消耗品の交換方法

2.1 消耗品について

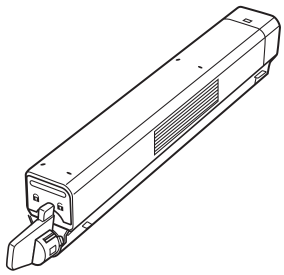
●ドラムセット



	ドラムセット
ブラック	GE5-DSK
イエロー	GE5-DSY
マゼンタ	GE5-DSM
シアン	GE5-DSC

交換目安：約32,000ページ
条件：A4サイズ横送りにて、5ページ片面連続印刷を間欠して繰り返した場合です。3ページ片面連続印刷を間欠して繰り返した場合は約24,000ページです。

●トナーセット

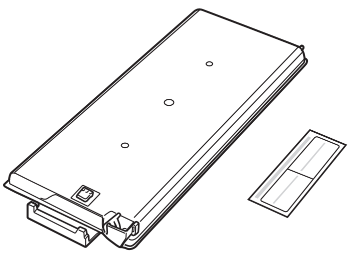


	回収協力トナーセット※1	トナーセット※2
ブラック	GE5-TSK-G	GE5-TSK-N
イエロー	GE5-TSY-G	GE5-TSY-N
マゼンタ	GE5-TSM-G	GE5-TSM-N
シアン	GE5-TSC-G	GE5-TSC-N

交換目安：ブラック　約6,500ページ
　　　　　カラー　　約7,500ページ
条件：A4サイズ横送りにて、JIS X6932規格に基づく値です。

※1「回収協力トナーセット」はカシオ計算機株式会社が所有権を保有し、使用許諾契約に基づきお客様に一定期間使用権を許諾する消耗品です。使用済みの「回収協力トナーセット」は消耗品に同梱の案内書をご覧いただき、必ずカシオにご返却ください。（無料）
※2「使用済みの「トナーセット」は、ご自身で廃棄するかカシオにお送りいただくか（無料）をご都合に合わせて選ぶことができる消耗品です。ご自身で廃棄する場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。カシオにお送りいただく場合は同梱の案内書をご覧ください。

●廃トナーボックス ・・・・・・・・・ N30-HTB



廃トナーボックス　　密封シール

転写ベルト上に付着している不要になったトナーや、紙粉などの汚れを回収するプラスチックケースです。
交換目安：約40,000ページ
条件：A4サイズ横送りにて、平均印字率20%、連続印刷した場合です。低印字率の場合は最大約80,000ページです。

※「消耗品の交換目安は各条件でプリントした場合です。各条件以外でプリントした場合は、交換目安より早く交換時期になることがあります。

⚠ 注 意

- ●トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが口や目に入らないようご注意ください。
- ●トナーが手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流してください。異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ●口に入ったり吸引してしまったときは、すぐに吐き出してよくうがいをしてください。異常がある場合は医師の診察を受けてください。
- ●幼児の手の届かないところに保管してください。万一トナーを飲み込んだ場合は、すぐにうがいをさせコップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて医師の診察を受けてください。
- ●交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。トナーが衣服や絨毯などに付着したときは、濡らさずに掃除機で吸い取ってください。

取り扱い上のご注意

- ● ドラムセットの感光体ドラム（茶色の筒）に触れないでください。キズや汚れが付くと、画像が汚れたり黒スジが印刷されるようになります。この場合、新しい消耗品に交換しないと直りませんのでご注意ください。
- ● 室内の灯りの下でも、ドラムセットを５分以上放置しないでください。
- ● ドラムセットをプリンターから取り外した場合、強い光に当てないよう厚い布などに包んでください。
- ● 寒い所から暖かい所に移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- ● ドラムセットのトナー補給口にホコリやゴミ（ステープルの針、クリップなど）が入らないよう取り扱いにご注意ください。
- ● 立てたり傾けて、中のトナーが片寄らないようにしてください。
- ● 分解や改造はしないでください。
- ● 開封後、１年以上経過すると印刷品質劣化が生じる場合があります。開封後は、なるべく１年以内にご使用ください

消耗品保管上のご注意

- ● 使用するまで開封しないでください。
- ● 直射日光を避け、標準梱包状態にて温度0～35℃、湿度20～90％の結露しない場所に保管してください。
- ● 立てたり傾けて保管しないでください。

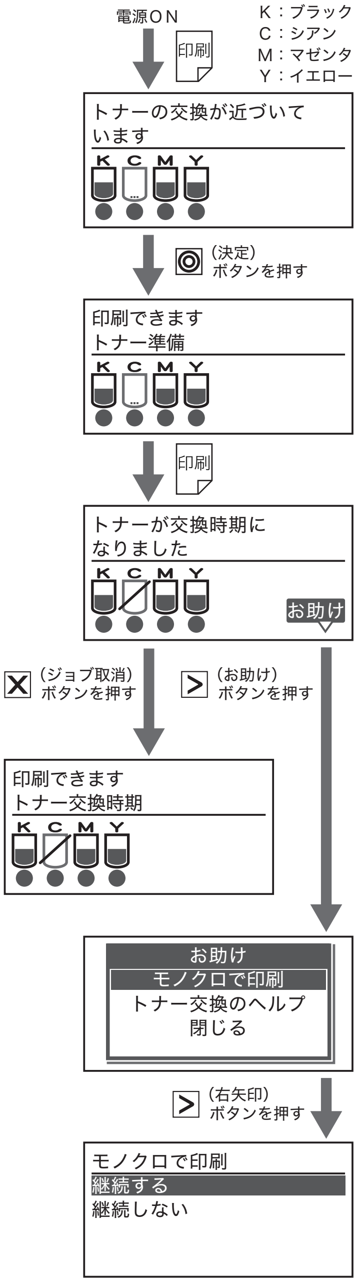
使用済み消耗品の処分方法

カシオ計算機では、お客様でご使用済みのカシオ純正消耗品を地球環境保全と資源の有効活用のために無料で回収しています。

ポイント　やむを得ず使用済み消耗品をご自身で処分する際は、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

注意　消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなくプリンター本体の故障の原因となります。プリンター本来の性能を十分発揮し快適な出力環境でご使用いただくためにカシオ純正の消耗品をご使用ください。

2.2 トナーセットの交換方法



メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、トナーセットの交換時期が近いことを示しています。新しいトナーセットを準備してください。

◎（決定）ボタンを押すとメッセージランプが消灯し、印刷を再開します。（トナー残量が少ないと印刷を再開できない場合があります。）

再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、トナーセットの交換時期です。新しいトナーセットに交換してください。

✕（ジョブ取消）ボタンを押すと、印刷データが消えて図のメッセージが表示されます。新しいトナーセットに交換するまでカラーでの印刷はできません。

K（ブラック）トナーが残っていると>（お助け）ボタンを押してモノクロで印刷できます。図のお助け画面で∧ ∨ボタンで「モノクロで印刷」を選択して>ボタンを押してください。

∧ ∨ボタンで「継続する」を選択して◎（決定）ボタンを押すとトナーセットを交換するまでモノクロで印刷します。「継続しない」を選択して◎（決定）ボタンを押すと今回のみモノクロで印刷します。

注意 「トナー準備」の表示中は、用紙サイズや印刷面積（印字率）によって、途中でトナーがなくなり印刷がかすれる場合があります。
そのまま印刷を続けると、ドラムセットが劣化する恐れがありますので新しいトナーセットに交換してください。

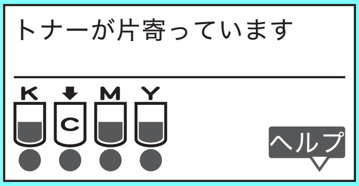
ポイント 「トナー準備」の表示中は、トナー補給のためにモーターが回転したまましばらく印刷を中断する場合があります。トナー補給が終わると印刷を再開しますので、しばらくお待ちください。

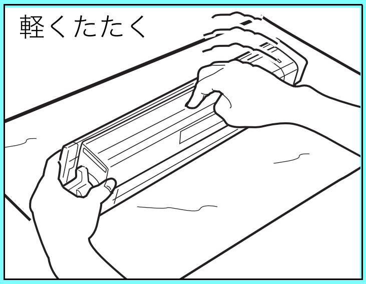
ポイント カラーのトナーセット（CMY）が交換時期になってプリンターが停止していても、モノクロ（K）の印刷は可能です。プリンタードライバーの「基本設定」タブ画面で「モノクロ」を指定して印刷することも可能です。

ポイント 「トナーが片寄っています」と表示されてプリンターが停止しているときは、トナーに片寄りが生じています。アイコンが表示されている色のドラムセットとトナーセット（図の例ではシアン）をいっしょに取り出し、紙を敷いた机の上で振るか、図のように上から軽くたたくとプリントできます。

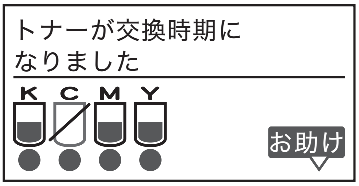
ポイント 「トナー交換時期」と表示されてプリンターが停止しているときも、同様に上から軽くたたくともう少しプリントできることがあります。
トナーがこぼれますので、紙を敷いて作業をしてください。

（表示例）

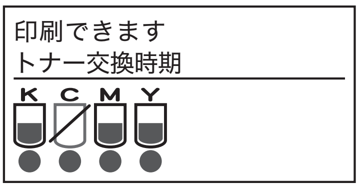




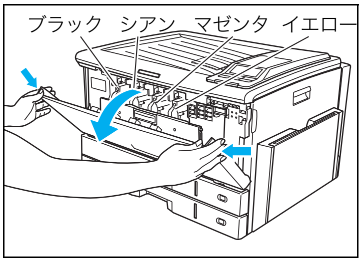
（表示例）



または

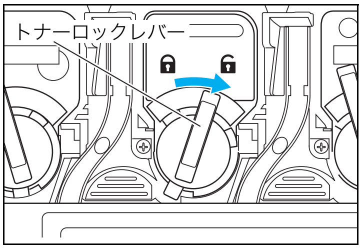


1. どの色のトナーセットが交換時期か確認します。図の例はシアンのトナーセットが交換時期です。

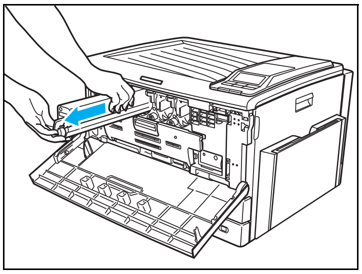


2. フロントカバーを開けます。

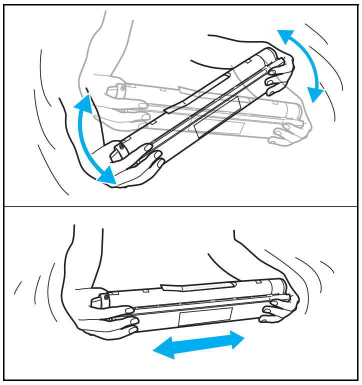
左から順にブラック、シアン、マゼンタ、イエローのトナーセットがセットされています。



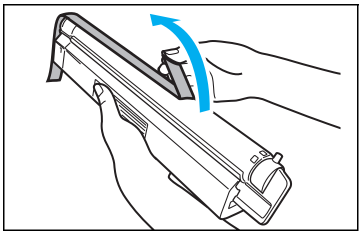
3. 使用済みのトナーセットのトナーロックレバーを右に回してロックを解除します。



4. 使用済みのトナーセットを取り出します。

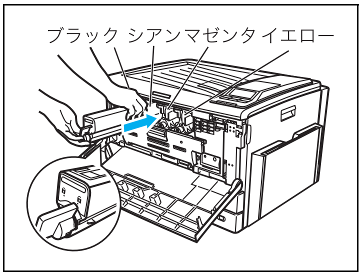


5. 新しいトナーセットを箱から取り出し、図のように上下左右に数回振り、中のトナーを均一にならします。



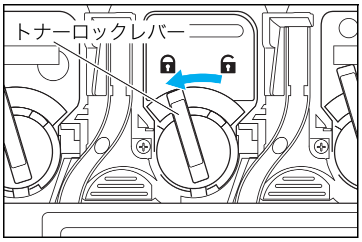
6. トナーシールテープを剥がします。

注意 トナー供給口からトナーがこぼれる場合がありますのでご注意ください。



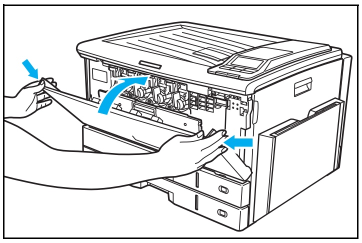
7. トナーシールテープを剥がした面を下側にして、トナーセットをプリンターに差し込みます。

左からブラック、シアン、マゼンタ、イエローの順に取り付けます。



8. トナーロックレバーを左に回してロックします。

> ポイント トナーロックレバーが固くて回らないときは、色が合っているか確認して、トナーセットを奥までしっかり差し込み直してください。



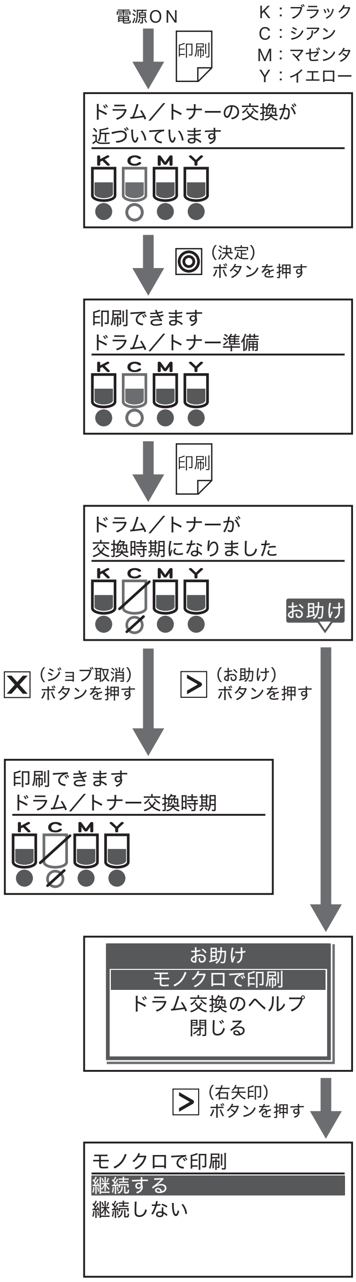
9. フロントカバーを閉めて、トナー交換メッセージの表示が消えれば完了です。

> ポイント トナーセット交換後は、エージングのためしばらくモーターが回転します。
> エージングが終了するまでしばらくお待ちください。

10. 使用済みのトナーセットは、中のトナーセットがこぼれないように新しいトナーセットが入っていたポリ袋に入れ、梱包箱に入れてご返却ください。

カシオ計算機はご使用済みの消耗品を無料で回収しております。詳しくは消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

2.3 ドラムセットの交換方法



メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、ドラムセットの交換時期が近いことを示しています（図の例ではシアン）。新しいドラムセットとトナーセットを準備してください。

◎（決定）ボタンを押すとメッセージランプが消灯し、印刷を再開します。（トナー残量が少ないと印刷を再開できない場合があります。）

再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、ドラムセットの交換時期です。新しいドラムセットとトナーセットに交換してください。

☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、印刷データが消えて図のメッセージが表示されます。新しいドラムセットとトナーセットに交換するまでカラーでの印刷はできません。

K（ブラック）トナーが残っていると［>］（お助け）ボタンを押してモノクロで印刷できます。図のお助け画面で［∧］［∨］ボタンで「モノクロで印刷」を選択して［>］ボタンを押してください。

［∧］［∨］ボタンで「継続する」を選択して◎（決定）ボタンを押すとトナーセットを交換するまでモノクロで印刷します。「継続しない」を選択して◎（決定）ボタンを押すと今回のみモノクロで印刷します。

注意 「ドラム／トナー準備」表示中は、ドラムセットが寿命になってもトナーを使い終わるまで「ドラム／トナーが交換時期になりました」表示になりません。
このため「ドラム／トナーが交換時期になりました」表示になる前に、ドラムの消耗による印刷汚れやカスレが発生する場合があります。

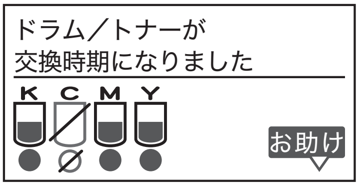
ポイント カラーのドラムセット（CMY）が交換時期になってプリンターが停止していても、モノクロ（K）の印刷は可能です。プリンタードライバーの「基本設定」タブ画面で「モノクロ」を指定して印刷してください。

ポイント 一度プリンターに取り付けたドラムセットは、新品同様でもエラーは解除されません。また、交換時期も延長されませんので、一度使用したドラムセットは途中で交換せずに最後までご使用ください。

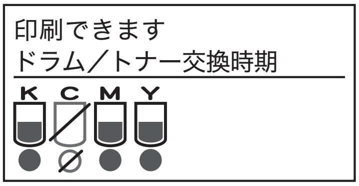
ポイント 交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。

1. どの色のドラムセットが交換時期か確認します。図の例はシアンのドラムセットが交換時期です。

（表示例）

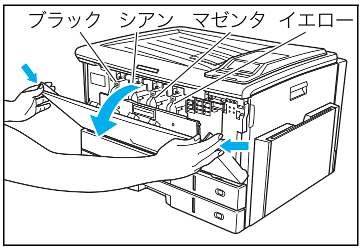


または

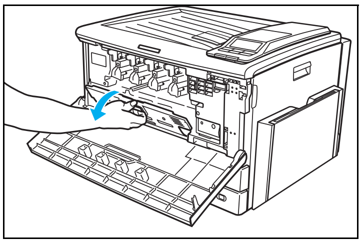


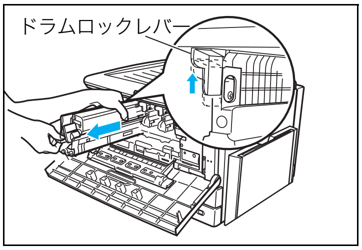
2. フロントカバーを開けます。

左から順にブラック、シアン、マゼンタ、イエローのドラムセットがセットされています。



3. 内部カバーを開けます。





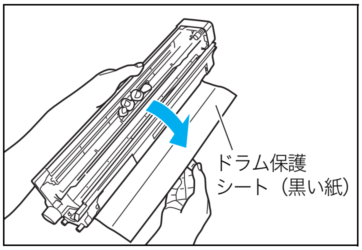
4. 使用済みのドラムセットのドラムロックレバーを上に押し上げながら、ドラムセットとトナーセットをいっしょに取り外します。

ポイント 図のように左手でドラムロックレバーを持ち上げながら、右手で半分ほどドラムセットを引き出したところで、左手をドラムセットに持ち替えて取り外します。

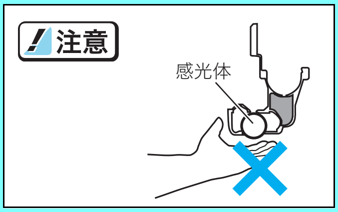
注 意

ドラムセット着脱時に落としてけがをしないようご注意ください。

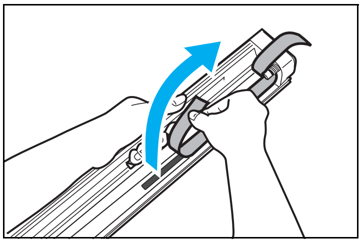
ドラムセットの取り付け



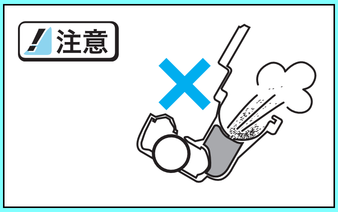
5. 新しいドラムセットを箱から取り出し、図のように取っ手を持ってドラム保護シート（黒い紙）を剥がします。



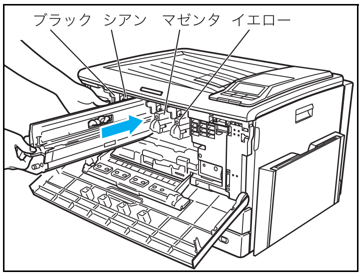
ドラムセットの感光体（茶色の筒）に触れたり、キズを付けないようご注意ください。



6. オレンジ色のトナーシールテープを剥がします。

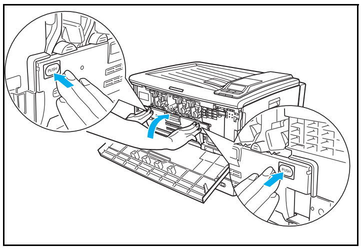


トナーシールテープを剥がした後は、トナーがこぼれますのでドラムセットを傾けないでください。



7. ドラムセットをプリンターに差し込みます。

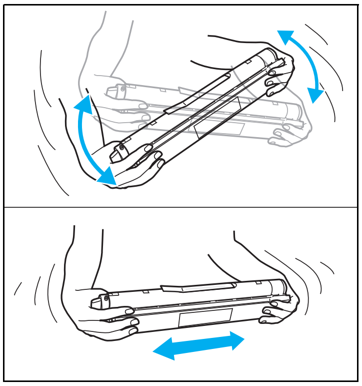
左からブラック、シアン、マゼンタ、イエローの順に取り付けます。



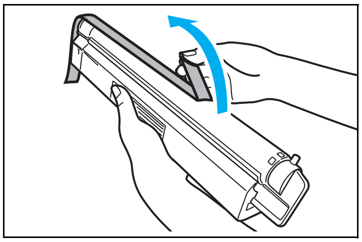
8. ４色すべてのドラムセットが奥までしっかり差し込まれていることを確認して、内部カバーを閉めます。

> ポイント　内部カバーの「PUSH」部分を両手で押して、カチッと音がするまで閉めてください。

トナーセットの取り付け

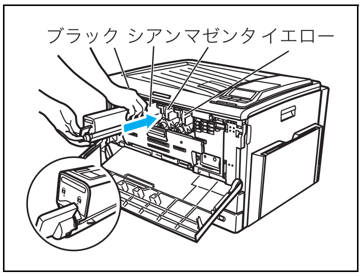


9. 新しいトナーセットを箱から取り出し、図のように上下左右に数回振り、中のトナーを均一にならします。



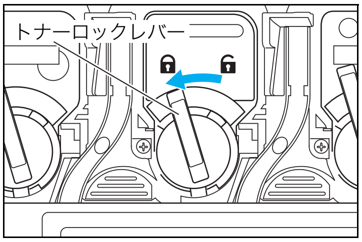
10. トナーシールテープを剥がします。

> 注意　トナー供給口からトナーがこぼれる場合がありますのでご注意ください。



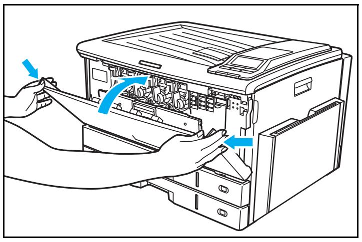
11. トナーシールテープを剥がした面を下側にして、トナーセットをプリンターに差し込みます。

左からブラック、シアン、マゼンタ、イエローの順に取り付けます。



12. トナーロックレバーを左に回してロックします。

> ポイント トナーロックレバーが固くて回らないときは、色が合っているか確認して、トナーセットを奥までしっかり差し込み直してください。



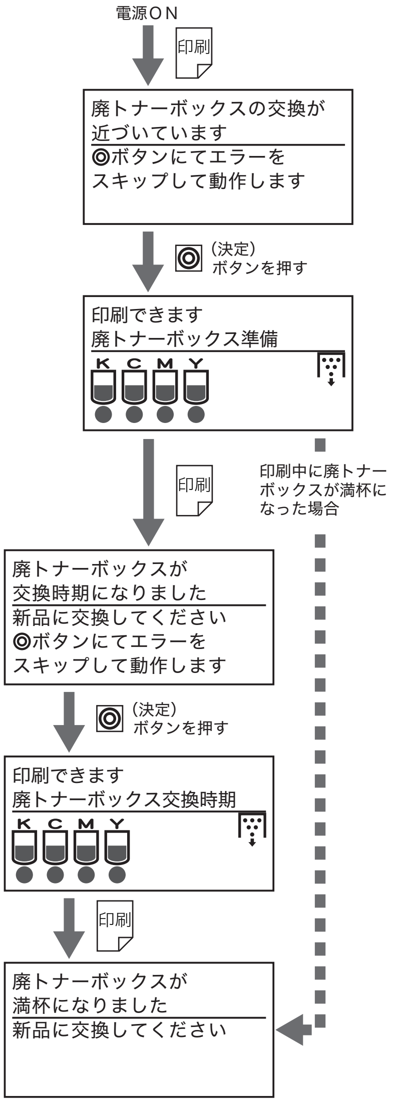
13. フロントカバーを閉めて、ドラム／トナー交換メッセージの表示が消えれば完了です。

> ポイント ドラムセット交換後は、エージングのためしばらくモーターが回転します。
> エージングが終了するまでしばらくお待ちください。

14. 使用済みのドラムセットとトナーセットは、分割せずに合体したまま新しいドラムセットが入っていたポリ袋に入れ、梱包箱に入れてご返却ください。

カシオ計算機はご使用済みの消耗品を無料で回収しております。詳しくは消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

2.4 廃トナーボックスの交換方法



メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、廃トナーボックスの交換時期が近いことを示しています。新しい廃トナーボックスを準備してください。

◎（決定）ボタンを押すとメッセージランプが消灯し、印刷を再開します。マークは廃トナーボックスの交換時期が近いことを示しています。

再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、廃トナーボックスの交換時期です。新しい廃トナーボックスに交換してください。

◎（決定）ボタンを押すと図のメッセージが表示されて印刷を再開しますが、交換時期を過ぎていますので早めに新しい廃トナーボックスに交換してください。（約100ページ印刷するごとに「廃トナーボックスが交換時期になりました」表示になり印刷を停止します。）

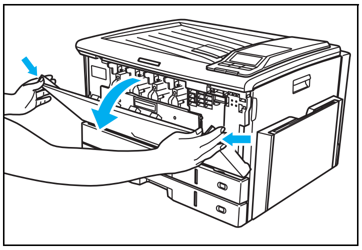
印刷中に図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、廃トナーボックスが満杯になっています。新しい廃トナーボックスに交換するまで印刷できません。

注意 廃トナーボックス交換後は、操作パネルのボタン操作で交換表示をリセットしてください。☞ **電源スイッチをONにして、操作パネルのボタン操作で廃トナーボックスの交換表示をリセットします。（64ページ）**
この操作を行わないとエラーメッセージは消えません。

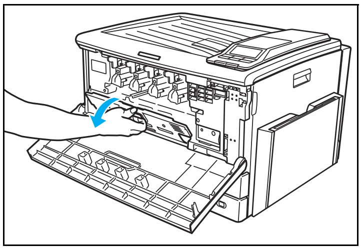
⚠ 注 意

使用済の廃トナーボックスは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になることがあります。

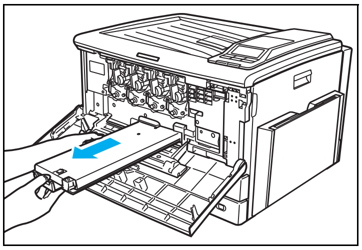
- トナーは人体に無害ですが、手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに掃除機で吸い取ってください。



1. フロントカバーを開けます。

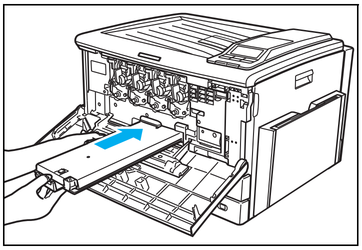


2. 内部カバーを開けます。

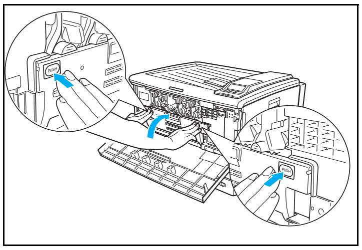


3. 使用済みの廃トナーボックスを引き抜きます。

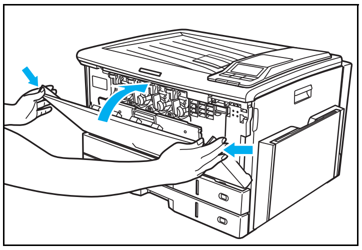
> **注意** 廃トナーをこぼさないようにご注意ください。



4. 新しい廃トナーボックスを奥までしっかり差し込みます。



5. 内部カバーの「PUSH」部分を両手で押して、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

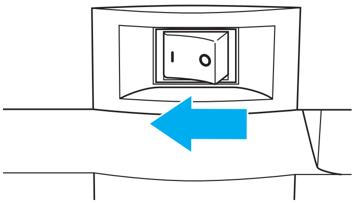


6. フロントカバーを閉めます。

7. 電源スイッチをONにして､操作パネルのボタン操作で廃トナーボックスの交換表示をリセットします。

操作手順　　　　パネル表示

① 電源スイッチをＯＮにします。



廃トナーボックスが
交換時期になりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

② ◎（決定）ボタンを押して廃トナーボックスの交換メッセージをキャンセルします。

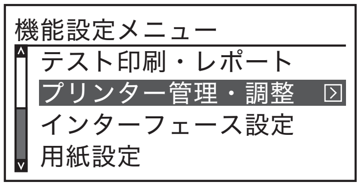
印刷できます
廃トナーボックス交換時期
K C M Y

廃トナーボックス
交換時期アイコン

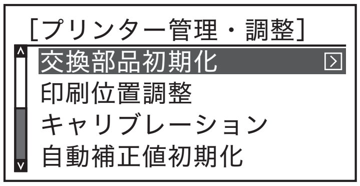
③ オンライン ボタンを押して「機能設定メニュー」を表示します。

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

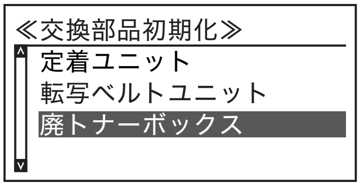
④ ∨ ∧ ボタンで「プリンター管理・調整」を選択して > ボタンを押します。



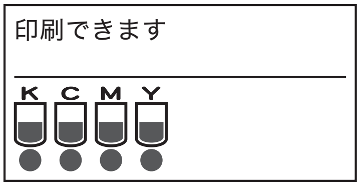
⑤ ∨ ∧ ボタンで「交換部品初期化」を選択して > ボタンを押します。



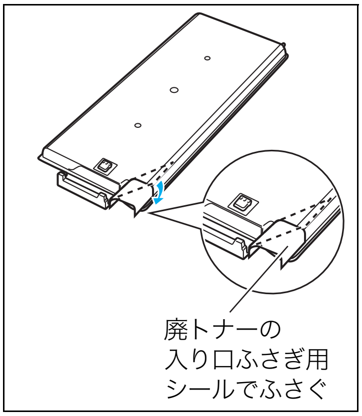
⑥ ∨ ∧ ボタンで「廃トナーボックス」を選択して ◎（決定）ボタンを押すと初期化が始まります。



⑦「交換部品初期化」に戻ったら オンライン ボタンを押して（廃トナーボックス交換時期アイコン）が消えていれば完了です。



8. 使用済みの廃トナーボックスは、中のトナーがこぼれないようにトナーの入り口を同梱されている密封シールでふさぎ、新しい廃トナーボックスが入っていたポリ袋に入れ、梱包箱に入れてご返却ください。

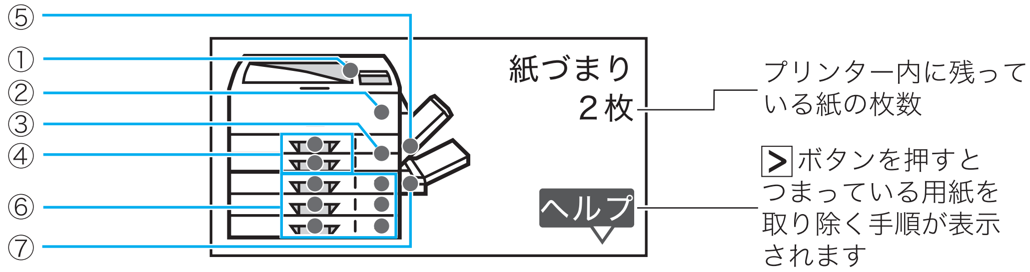


カシオ計算機ではご使用済みの廃トナーボックスを無料で回収しております。詳しくは同梱の案内書をご覧ください。

3. 紙づまりの処置方法

表示パネルに紙づまりが発生した場所（ ● マーク）と、プリンター内に残っている紙の枚数を次のように表示します。用紙がつまっている場所と枚数を確認し、「紙づまりの処置方法一覧表」の参照ページの手順に従って、プリンター内につまっている用紙をすべて取り除いてください。

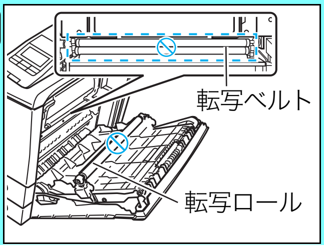
（表示例）



紙づまりの処置方法一覧表

紙づまりの位置	処置方法	参照ページ
①排紙口	3.1 排紙口、サイドカバー、両面ユニット内の紙づまり	67 ページ
②サイドカバー・両面ユニット		
③本体給紙口		
④本体カセット	3.2 本体カセット内の紙づまり	70 ページ
⑤本体マルチペーパーフィーダー	3.3 本体マルチペーパーフィーダーの紙づまり	72 ページ
⑥拡張ペーパフィーダ（オプション）	3.4 拡張ペーパフィーダ内の紙づまり	75 ページ
⑦マルチペーパーフィーダー（オプション）	オプション製品に同梱の説明書をご覧ください。	ー

注意



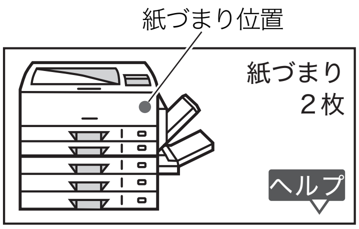
転写ロール（黒いスポンジロール）や転写ベルト（黒い樹脂ベルト）に触れないようご注意ください。転写ロールや転写ベルトにキズや汚れが付着すると印刷画像トラブルの原因になります。

ポイント 紙づまり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。数枚印刷すると汚れは消えます。特に定着ユニットにつまっている用紙を排紙口側から引き抜くと、汚れがひどくなりますのでご注意ください。

注意 プリンター内につまっているすべての用紙を取り除いてからサイドカバーを閉めてください。場所によってはプリンター内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンターの電源スイッチを OFF にして、カスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

3.1 排紙口、サイドカバー、両面ユニット内の紙づまり

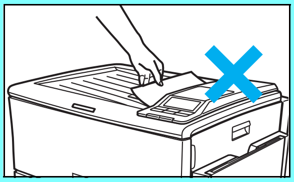
（表示例）



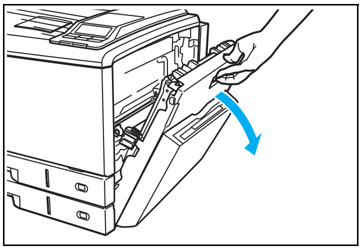
排紙口、サイドカバー、両面ユニット内に用紙が２枚つまっていることを表示しています。

サイドカバー内の画像転写部から定着部につまっている用紙を取り除きます。

注意

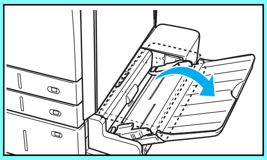


途中まで印刷して排紙口に止まっている用紙は無理に引き抜かないでください。定着ユニットにつまっていると思われるときは、以下の手順に従って取り除いてください。
紙づまり処置後に印刷した用紙の表面や裏面に汚れが付着します。数枚印刷すると汚れは消えます。

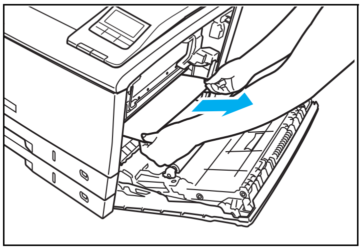


1. サイドカバーを開けます。

注意

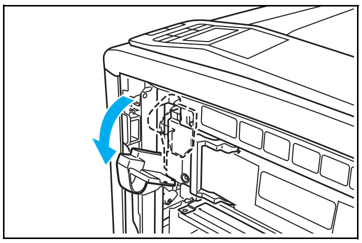


MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。

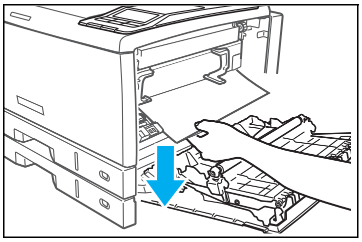


2. つまっている用紙をまっすぐ引き抜きます。

ポイント この場所につまっている用紙はトナーが定着されていません。手や周囲の物をトナーで汚さないようご注意ください。

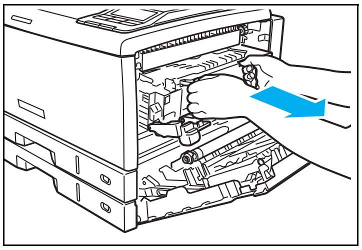


3. 定着ユニットに用紙がつまっているときは、定着解除レバーを下げ、用紙をはさんでいる力を解除します。



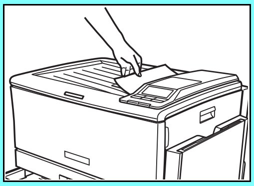
4. 定着ユニットにつまっている用紙を下向きに引き抜きます。

用紙を取り除けた場合は**9.**に進んでください。



5. 用紙が定着ユニットの奥につまって取れないときは、図の取っ手を持って定着ユニットをゆっくり引き出します。

ポイント

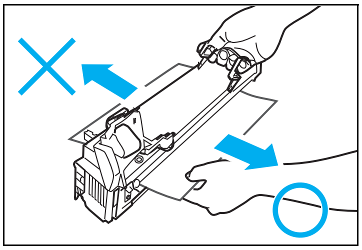


用紙がはさまって定着ユニットを引き出せないときは、排紙口から用紙をゆっくり引き抜いてください。紙づまり処置後に印刷した用紙に汚れが付着しますが、数枚印刷すると消えます。

注 意

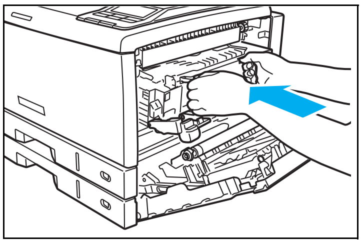
定着ユニットは高温になっています。定着ユニットの脱着は、サイドカバーを開けたまま定着ユニットが冷えるのを（約15分程度）待ってから行ってください。高温のまま作業するとやけどの原因になります。

定着ユニット着脱時に落としてけがをしないようご注意ください。
定着ユニットの重量は約3Kgあります。

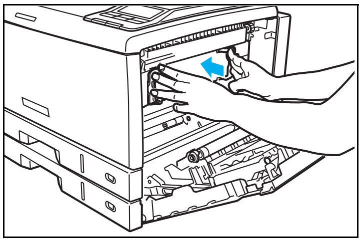


6. 定着ユニットにつまっている用紙を取り除きます。

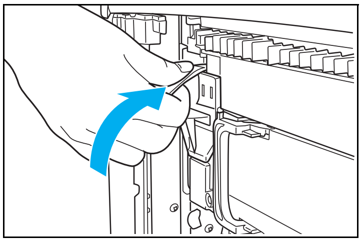
ポイント 反対側に引き抜かないでください。印刷画像汚れの原因になります。



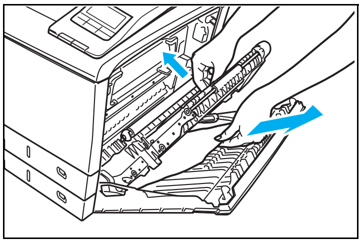
7. 定着ユニットの取っ手を持ってゆっくりとプリンターに差し込みます。



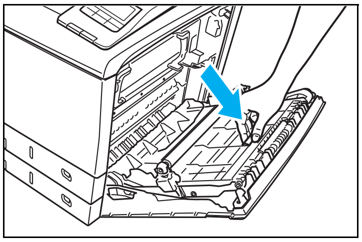
8. 取っ手から手を離し、「PUSH」部分を押して、定着ユニットを奥までしっかり押し込んでプリンターに固定します。



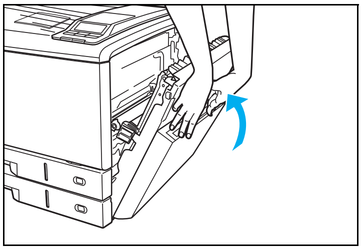
9. 定着解除レバーを元の位置（ロック側）に戻します。



10. 両面印刷ユニットの取っ手（緑色）を持ってカバーを開け、内部につまっている用紙を取り除きます。



11. 両面印刷ユニットのカバーを閉めます。



12. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

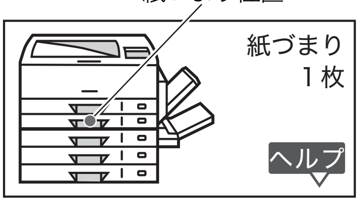
> **ポイント** 紙づまりのエラーは、つまっている用紙を取り除いた後、フロントカバーまたはサイドカバーを開閉すると解除します。

「紙づまり」エラーメッセージが「印刷できます」表示に戻れば完了です。ウォームアップ完了後、つまっていた用紙以降の印刷を再開します。

紙づまり処置後に印刷した用紙には汚れが付着する場合がありますが、数枚印刷すると消えます。

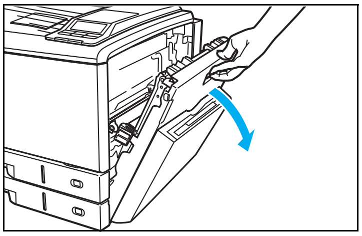
3.2 本体カセット内の紙づまり

（表示例）



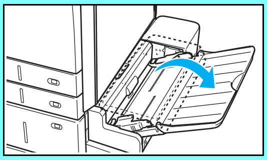
本体下段のカセットに用紙が 1 枚つまっていることを表示しています。

本体のペーパーカセット内につまっている用紙を取り除きます。
本体上段のカセットも用紙の取り除き方は同じです。

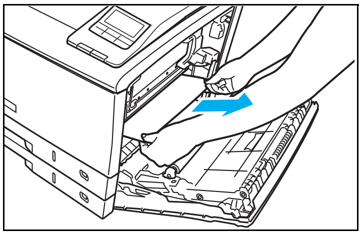


1. サイドカバーを開けます。

注意

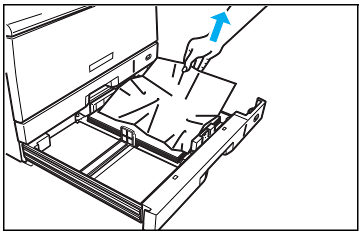


MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。

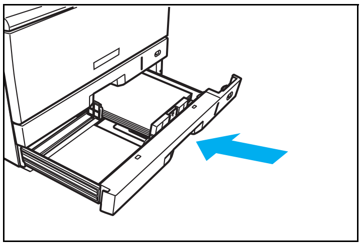


2. つまっている用紙をまっすぐ引き抜き、サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

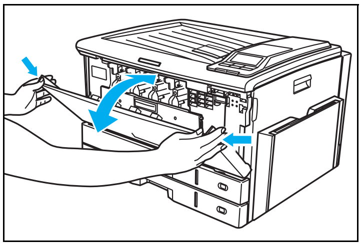
ポイント つまっている用紙が破れてプリンター内部に残らないように注意して引き抜いてください。



3. カセットをゆっくり引き出し、つまっている用紙（シワになっている用紙）を取り除きます。



4. 残りの用紙をセットし直し、カセットを奥までゆっくりと差し込みます。
☞ 1.2 ペーパーカセットからの給紙（28ページ）



5. フロントカバーを開閉します。

ポイント 紙づまりのエラーは、つまっている用紙を取り除いた後、フロントカバーまたはサイドカバーを開閉すると解除します。

「紙づまり」エラーメッセージが「印刷できます」表示に戻れば完了です。ウォームアップ完了後、つまっていた用紙以降の印刷を再開します。

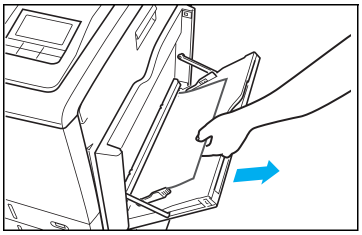
紙づまり処置後に印刷した用紙には汚れが付着する場合がありますが、数枚印刷すると消えます。

3.3 本体マルチペーパーフィーダーの紙づまり

（表示例）

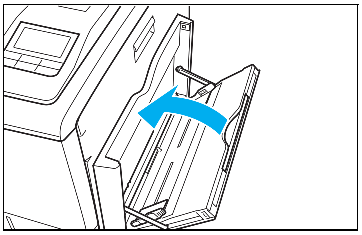


本体マルチペーパーフィーダーに用紙が 1 枚つまっていることを表示しています。

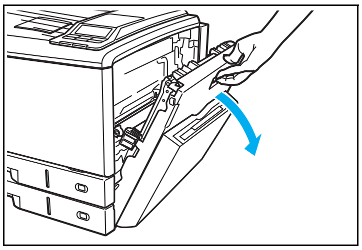


1. 本体マルチペーパーフィーダーにつまっている用紙と、残っている用紙をいったん取り除きます。

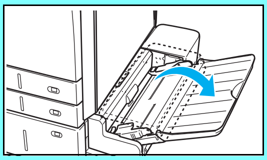
> ポイント 長尺紙など用紙が奥まで入っているときは、サイドカバーを開けて取り除いてください。
>
> **3.1 排紙口、サイドカバー、両面ユニット内の紙づまり（67ページ）**
>
> ポイント 途中まで入っている用紙が引き抜けない場合は **<マルチペーパーフィーダーに途中まで入っている用紙を取り除く方法>（74 ページ）** を参照してください。

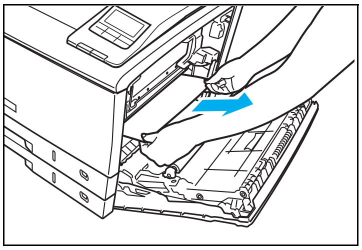


2. マルチペーパーフィーダーを閉めます。



3. サイドカバーを開けます。

> **注意**
>
> 
>
> MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。

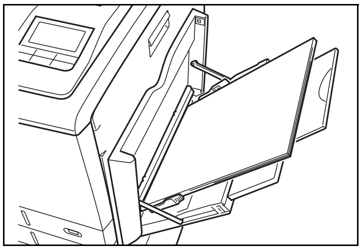


4. 内部につまっている用紙を取り除いて、サイドカバーを閉めます。

ポイント この場所につまっている用紙はトナーが定着されていません。手や周囲の物をトナーで汚さないようご注意ください。

ポイント 両面ユニットや定着ユニットにも用紙が残っていないか確認してください。

☞ **3.1 排紙口、サイドカバー、両面ユニット内の紙づまり（67ページ）**

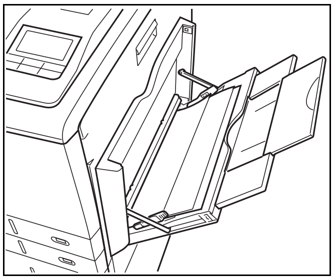


5. マルチペーパーフィーダーを開けて用紙を元通りにセットします。

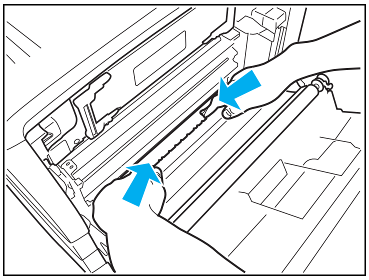
☞ **1.3 マルチペーパーフィーダー給紙の方法（34ページ）**

「紙づまり」エラーメッセージが「印刷できます」表示に戻れば完了です。ウォームアップ完了後、つまっていた用紙以降の印刷を再開します。
紙づまり処置後に印刷した用紙には汚れが付着する場合がありますが、数枚印刷すると消えます。

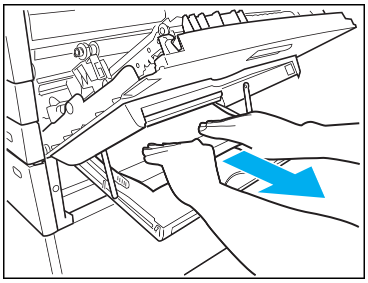
<マルチペーパーフィーダーに途中まで入っている用紙を取り除く方法>



図のようにA3サイズの厚紙が重なって給紙されたときなど、用紙が引き抜けないときは、無理に引き抜かずに以下の手順で少しずつ取り除いてください。



1. サイドカバーを開けて、図の位置に見えている用紙を上から押して少したるませます。



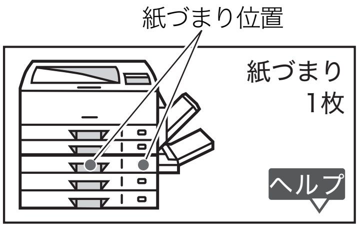
2. 手順1.でたるませた分の用紙をマルチペーパーフィーダー側から引き出します。

3. 手順1.と手順2.を繰り返して、少しずつ用紙を引き出して取り除きます。

プリンター内の用紙を全て取り除き、サイドカバーを閉めて「紙づまり」エラーメッセージが「印刷できます」表示に戻れば完了です。ウォームアップ完了後、詰まった用紙以降の印刷を再開します。紙づまり処置後に印刷した用紙には汚れが付着する場合がありますが、数枚印刷すると消えます。

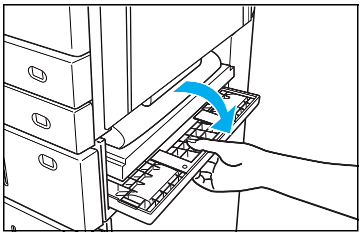
3.4 拡張ペーパフィーダ内の紙づまり

（表示例）

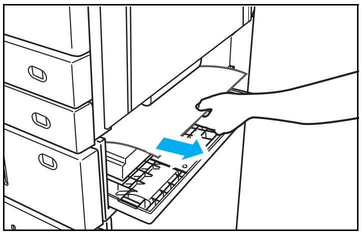


上から３段目の拡張ペーパフィーダ（オプション）に用紙が１枚つまっていることを表示しています。

オプションの拡張ペーパフィーダ内につまっている用紙を取り除きます。
上から４段目、５段目の拡張ペーパフィーダも用紙の取り除き方は同じです。

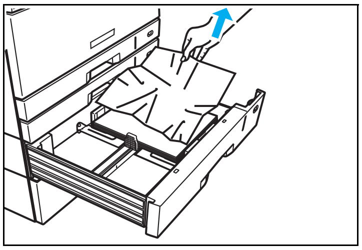


1. 拡張ペーパフィーダの給紙ガイドを開けます。

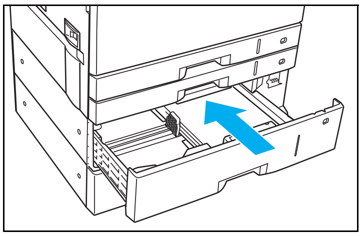


2. つまっている用紙をまっすぐ引き抜き、給紙ガイドを確実に閉めます。

> ポイント　つまっている用紙が破れてプリンター内部に残らないように注意して引き抜いてください。

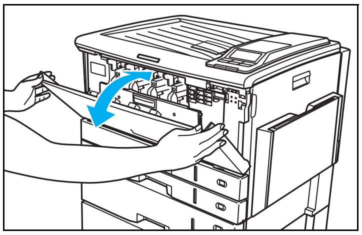


3. カセットをゆっくり引き出し、つまっている用紙（シワになっている用紙）を取り除きます。



4. 残りの用紙をセットし直し、カセットを奥までゆっくりと差し込みます。

☞ 1.2 ペーパーカセットからの給紙（28ページ）



5. フロントカバーを開閉します。

ポイント 紙づまりのエラーは、つまっている用紙を取り除いた後、フロントカバーまたはサイドカバーを開閉すると解除します。

「紙づまり」エラーメッセージが「印刷できます」表示に戻れば完了です。ウォームアップ完了後、つまっていた用紙以降の印刷を再開します。

4. 困ったときの処置方法

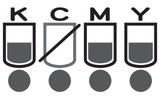
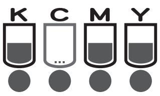
お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで、該当する項目の処置をしてください。どうしても解決しないときは、裏表紙の「お問い合わせ窓口」にご連絡ください。
お問い合わせの際に、プリンターの製品名やシリアル番号、ご使用のコンピューターやアプリケーションなどについてお聞きする場合がありますのであらかじめご確認ください。

4.1 表示パネルのメッセージと処置方法

◎（決定）ボタン欄　　「S」は◎（決定）ボタンを押すとエラーをスキップします。
「R」は◎（決定）ボタンを押すとエラーを解除します。
「――」は◎（決定）ボタンを押しても無効です。

☒（ジョブ取消）ボタン欄　　「S」は☒（ジョブ取消）ボタンを押すとジョブ取り消し後エラーをスキップします。
「R」は☒（ジョブ取消）ボタンを押すとジョブ取り消し後エラーを解除します。
「△」は☒（ジョブ取消）ボタンを押すとジョブ取り消し後もエラーが継続します。
「――」は☒（ジョブ取消）ボタンを押しても無効です。

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
＊＊＊＊＊＊の用紙が ありません MPF　1　2 カセット1　2　3　4　5	用紙がなくなりました。＊＊＊＊＊＊は用紙名または用紙サイズを表します。 注）下段の表示は該当の給紙口です。	下段に表示されている給紙口に、＊＊＊＊＊＊の用紙または＊＊＊＊＊＊サイズの用紙を補給してください。 補給すると印刷を再開します。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	――	R	28
印刷できます トナー交換時期 	トナーセットが交換時期になりました。 該当する色を▱アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいトナーセットに交換してください。	――	――	53
印刷できます トナー準備 	トナー残量が少ないため、画像がうすくなったり画質が低下しやすい状態で印刷していることを示しています。 図の例ではシアンのトナー残量が少なくなっています。 K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の、新しいトナーセットを準備してください。	――	△	53

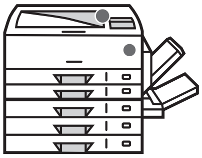
オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
印刷できます ドラム／トナー交換時期 K C M Y	ドラムセットとトナーセットが交換時期になりました。 該当する色を∅アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいドラムセットとトナーセットを一緒に交換してください。	—	—	57
印刷できます ドラム／トナー準備 K C M Y	ドラムセットとトナーセットの交換時期が近くなりました。 該当する色を○アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいドラムセットとトナーセットを準備してください。	—	—	57
印刷できます 廃トナーボックス交換時期 K C M Y	廃トナーボックスの交換時期を過ぎていることを示しています。	印刷は可能ですが、既に交換時期を過ぎています。早急に新しい廃トナーボックスに交換してください。	—	△	62
印刷できます 廃トナーボックス準備 K C M Y	廃トナーボックスの交換時期が近くなりました。	新しい廃トナーボックスを準備してください。	—	—	62
印刷できます 定着ユニット交換時期 K C M Y	定着ユニットの交換時期を過ぎていることを示しています。	印刷は可能ですが、既に交換時期が過ぎています。早急に新しい定着ユニットに交換してください。	—	△	114

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ(50音順)	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
印刷できます 定着ユニット準備 K C M Y	定着ユニットの交換時期が近くなりました。	新しい定着ユニットを準備してください。	――	――	114
印刷できます 転写ベルトユニット交換時期 K C M Y	ベルトユニットの交換時期を過ぎていることを示しています。	印刷は可能ですが、既に交換時期を過ぎています。早急に新しいベルトユニットと交換してください。	――	△	119
印刷できます 転写ベルトユニット準備 K C M Y	転写ベルトユニットの交換時期が近くなりました。	新しい転写ベルトユニットを準備してください。	――	――	119
印刷できます 定期点検時期 K C M Y	定期交換部品の交換時期を過ぎていることを示しています。	印刷は可能ですが、既に交換時期を過ぎています。お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。	――	△	113
カセットが開いています カセット1　2　3　4　5	ペーパーカセットが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。 注）下段の表示は該当のペーパーカセットです。	下段に表示されているペーパーカセットを、プリンターの奥まで確実に取り付けてください。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	――	R	28

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
カセットのサイドカバーが開いています カセット３　４　５	拡張ペーパフィーダの給紙ガイド（拡張ペーパフィーダのサイドカバー）が開いています。 注）下段の表示は該当のペーパーカセットです。	開いている給紙ガイドを閉じてください。	――	――	75
カバーが開いています フロント又はサイドカバーを確認してください	プリンター本体のフロントカバーまたはサイドカバーが開いています。	プリンター本体のフロントカバーまたはサイドカバーをきちんと閉めて印刷を開始してください。	――	――	――
 紙づまり ※※枚	紙づまりが発生しました。 ・※※はプリンター内に残っている紙の枚数です。??は枚数不明を表します。 ・●は紙づまりが発生した場所です。	つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまり発生場所から用紙を取り除いてサイドカバーを閉じると印刷を再開します。 注）実際の紙づまり枚数と表示枚数は一致しないことがあります。 紙づまりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙がつまっている可能性があります。	――	――	66
異なるサイズの用紙に印刷しました ＊＊＊＊＊の用紙を確認してください	ペーパーカセットの用紙サイズダイヤルと用紙の長さが合っていません。または、MPF給紙時にプリンタードライバーで指定された用紙サイズと、実際の給紙サイズが合っていません。 ・＊＊＊＊＊は給紙口を表します。（カセット1～4、MPF1、MPF2）	正しい用紙をセットして、ペーパーカセットの場合は用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせてください。 紙づまりが発生しているときは、つまっている用紙を取り除いてください。すべて取り除き、フロントカバーまたはサイドカバーを閉めると印刷を再開します。	――	――	27 66

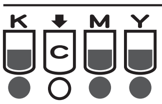
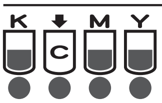
オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
制御ＲＯＭエラー 修理を依頼してください	プリンターの制御ROMに異常が発生しました。	「プリンター制御ソフトウェア」のバージョンアップに失敗したときや、途中でプリンターの電源スイッチを OFF にした場合などが考えられます。 ◎（決定）ボタンを押して再度「プリンター制御ソフトウェア」のバージョンアップを行ってください。 （◎（決定）ボタンを押してエラースキップした後もメッセージは消えません。） バージョンアップ後もメッセージが表示されるときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	S	—	—
定期点検時期です 点検を依頼してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	定期交換部品が交換時期になりました。	お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。 ◎（決定）ボタンを押すと印刷を再開します。	S	△	113
定期点検時期が近づいています 点検を依頼してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	定期交換部品の交換時期が近くなりました。	お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。 ◎（決定）ボタンを押すと印刷を再開します。 ※　操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「予告エラー解除」→「自動解除」で設定します。）	S	S	113

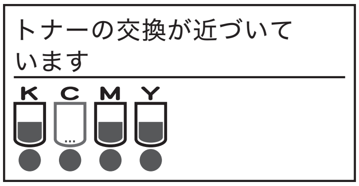
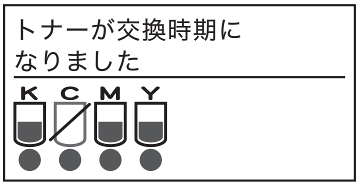
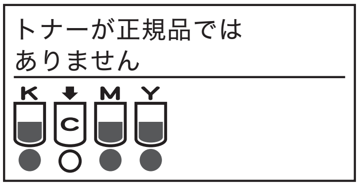
オペレーターコール

表示パネルのメッセージ(50 音順)	状 態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
定着ユニットがありません	定着ユニットが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。	定着ユニットを正しく取り付けてください。	—	△	114
定着ユニットが交換時期になりました 新品に交換してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	定着ユニットが交換時期になりました。 または、交換後に操作パネルでエラー表示のクリアが実行されていません。	新しい定着ユニットに交換してください。交換後、操作パネルで 「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「交換部品管理」→「定着ユニット」の設定をしてください。(※このメニューの実行により定着ユニットの管理を正しく行えるようになります。) ◎(決定)ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。	S	△	114
定着ユニットの交換が近づいています 新品を準備してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	定着ユニットの交換時期が近くなりました。	新しい定着ユニットを準備してください。 ◎(決定)ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。(「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「予告エラー解除」→「自動解除」で設定します。)	S	S	114
転写ベルトユニットを確認できません 転写ベルトユニットを確認してください	ベルトユニットが正しく取り付けられていないなど、ベルトユニットに異常がみられます。	ベルトユニットを確認し正しく取り付けてください。 確認後もメッセージが表示されるときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	—	△	119

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
転写ベルトユニットが 交換時期になりました 新品に交換してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	ベルトユニットが交換時期になりました。	新しいベルトユニットと転写ロール、および廃トナーボックスへ交換してください。交換後、操作パネルで「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「交換部品管理」→「転写ベルトユニット」および「廃トナーボックス」の設定をしてください。 （※このメニューの実行によりベルトユニットと廃トナーボックスの初期設定や調整を行います。） ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。	S	△	119
転写ベルトユニットの交換が 近づいています 新品を準備してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	ベルトユニットの交換時期が近くなりました。 または、交換後に操作パネルでエラー表示のクリアが実行されていません。	新しいベルトユニットを準備してください。 ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「自動解除」で設定します。）	S	S	119
トナー／ドラムが装着されて いません 	トナーセットまたはドラムセットが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。 該当する色をアイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラックC：シアン M：マゼンタY：イエロー	トナーセットまたはドラムセットを正しく取り付けてください。	——	△	53
トナーが片寄っています 	トナーがかたよっています。 該当する色をアイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラックC：シアン M：マゼンタY：イエロー	該当する色のトナーセットを取り出し、上から軽くたたいてください。 ※ トナーがこぼれますので、紙を敷いて作業をしてください。	——	△	53

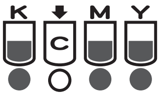
オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
	トナーセットの交換時期が近くなりました。 該当する色を▯アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいトナーセットを準備してください。 ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。 メッセージは「印刷できます」に変わります。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「予告エラー解除」→「自動解除」で設定します。）	S	S	53
	トナーセットが交換時期になりました。印刷はできません。 該当する色を▱アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいトナーセットに交換してください。 ブラックのトナーが残っていればモノクロで印刷できます。▷（お助け）ボタンを押して「モノクロで印刷」を選択し、以降の印刷も「継続する」「継続しない」を選択して、◎（決定）ボタンを押してください。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、印刷データが消えて「印刷できます」表示に変わります。	——	R	53
	取り付けられているトナーセットは本プリンター用ではありません。 該当する色を▯アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	本プリンター専用のトナーセットを使用してください。	——	△	51

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ドラム／トナーの交換が近づいています K C M Y	ドラムセットとトナーセットの交換時期が近くなりました。 該当する色を○アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいドラムセットとトナーセットを準備してください。 ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。 メッセージは「印刷できます」に変わります。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「予告エラー解除」→「自動解除」で設定します。）	S	S	57
ドラム／トナーが交換時期になりました K C M Y	ドラムセットとトナーセットが交換時期になりました。印刷はできません。 該当する色を∅アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	該当する色の新しいドラムセットとトナーセットを一緒に交換してください。 ブラックのトナーが残っていればモノクロで印刷できます。>（お助け）ボタンを押して「モノクロで印刷」を選択し、以降の印刷も「継続する」「継続しない」を選択して◎（決定）ボタンを押してください。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、印刷データが消えて「印刷できます」表示に変わります。	——	R	57
ドラムが正規品ではありません K ↓ M Y	取り付けられているドラムセットは本プリンター用ではありません。 該当する色を↓アイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラック C：シアン M：マゼンタ Y：イエロー	本プリンター専用のドラムセットを使用してください。	——	△	51

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ドラムを認識できません 	ドラムセットに異常が発生しました。 該当する色をアイコンで表示します。（図の例ではシアン） K：ブラックＣ：シアン M：マゼンタＹ：イエロー	ドラムセットを正しく取り付けてください。 取り付け後もメッセージが表示されるときは、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。	——	△	—
認識できないＵＳＢ機器が接続されました 電源を切って外してください	USB ホスト拡張ボード（別売N30-USBH）に未対応のUSB 機器が接続されています。	プリンターの電源スイッチをOFFにして、USB機器を取り外してください。	——	——	—
廃トナーボックスが交換時期になりました 新品に交換してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	廃トナーボックスが交換時期になりました。 または、交換後に操作パネルでエラー表示のクリアが実行されていません。	新しい廃トナーボックスに交換してください。交換後、操作パネルで「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「交換部品管理」→「廃トナーボックス」の設定をしてください。 （※このメニューの実行により廃トナーボックスを初期化します。） ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。	S	S	62
廃トナーボックスが装着されていません 廃トナーボックスを確認してください	廃トナーボックスが取り付けられていません、もしくは正しく取り付けられていません。または廃トナーボックスが満杯状態です。	廃トナーボックスを正しく取り付けてください。 満杯の場合は新しい廃トナーボックスと交換後、操作パネルで「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「交換部品管理」→「廃トナーボックス」の設定をしてください。 （※このメニューの実行により廃トナーボックスを初期化します。）	——	△	62

オペレーターコール

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
廃トナーボックスが 満杯になりました 新品に交換してください	廃トナーボックスが交換時期になりました。印刷はできません。	新しい廃トナーボックスに交換してください。交換後、操作パネルで 「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「交換部品管理」→「廃トナーボックス」の設定をしてください。 （※このメニューの実行により廃トナーボックスを初期化します。）	——	△	62
廃トナーボックスの交換が 近づいています ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	廃トナーボックスの交換時期が近くなりました。	新しい廃トナーボックスを準備してください。 ◎（決定）ボタンを押すとエラースキップし、印刷を再開します。 ※ 操作パネルの設定で予告エラーをスキップすることができます。（「機能設定メニュー」→「プリンター管理・調整」→「予告エラー解除」→「自動解除」で設定します。）	S	S	62
用紙サイズが正しく 認識できません カセット１　２　３　４　５	使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパーカセットの用紙サイズダイヤルが合っていません。 注）下段の表示は該当のペーパーカセットです。	下段に表示されているペーパーカセットに正しい用紙をセットし、用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせてください。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	——	R	29
用紙が満杯です カセット２　３　４　５ 用紙を減らしてください	用紙セット枚数が多すぎます。 注）下段の表示は該当のペーパーカセットです。	下段に表示されているペーパーカセットの用紙を減らしてください。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	——	R	28

警告エラー

操作パネルで「警告エラー解除」を「自動解除」に設定すると、警告エラーを約2秒間表示後、自動的にエラースキップして印刷を再開する設定ができます。

☞ ユーザーズマニュアル 設定メニュー編

◎（決定）ボタン欄：◎（決定）ボタンを押したときの動作を示します。
☒（ジョブ取消）ボタン欄：☒（ジョブ取消）ボタンを押したときの動作を示します。
「S」：エラーをスキップします。
「R」：印刷中のジョブデータを消してエラーをスキップします。
「△」：印刷中のジョブデータを消しますが、エラーはスキップしません。
「――」：ボタン操作は無効です。

表示パネルのメッセージ（50音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
＊＊＊＊＊＊＊サイズの 用紙がありません MPF　1　2 カセット1　2　3　4　5	印刷する用紙またはサイズの用紙がセットされていません。 ＊＊＊＊＊＊＊は用紙名または用紙サイズを表します。 注）下段の表示は該当の給紙口です。	下段に表示されている給紙口に、＊＊＊＊＊＊＊で表示されている用紙をセットし、用紙サイズダイヤルを＊＊＊＊＊＊＊に合わせて◎（決定）ボタンを押してください。 用紙を交換せずに◎（決定）ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。 （＊）☒（ジョブ取消）ボタンを押すと、ジョブ取消後メッセージは消えます。	S	S	28
ハードディスクからデータの 読み込みができません ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	ハードディスクからデータを読み出すことができません。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。	S	S	—
ハードディスクが装着 されていません ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	ハードディスクが必要なデータを受信しましたが、ハードディスクが装着されていません。	◎（決定）ボタンを押してエラーを解除してください。 ハードディスクを取り付けてください。	S	—	—

表示パネルのメッセージ（50音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ハードディスク内のデータが壊れています ◎ボタンにてエラーをスキップして動作します	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 HDD データチェックを実行してください。 （操作パネルの機能設定メニューで「機器設定」→「ハードディスク」→「データチェック」で設定します。） HDD データチェックを2回行ってもエラーが改善されない場合はハードディスクをフォーマットしてください。 （操作パネルの機能設定メニューで「機器設定」→「ハードディスク」→「フォーマット」で設定します。）	S	S	—
ハードディスクの空き容量が足りません ◎ボタンにてエラーをスキップして動作します	ハードディスクに空き容量がありません。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 不要なデータを削除してください。	S	S	—
ハードディスクのフォーマットが不正です フロント又はサイドカバーを確認してください	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 ハードディスクをフォーマットしてください。 （操作パネルの機能設定メニューで「機器設定」→「ハードディスク」→「フォーマット」で設定します。）	S	S	—
ハードディスクへデータの書き込みができません ◎ボタンにてエラーをスキップして動作します	ハードディスクにデータを書き込むことができません。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 再度データを送り直してください。	S	S	—

表示パネルのメッセージ（50 音順）	状　態	処置方法	決定ボタン	ジョブ取消ボタン	参照ページ
ハードディスクを正しく 認識できません ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	ハードディスクを正しく認識できませんでした。別のプリンターに使用されたハードディスクが装着された場合などに発生します。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 ハードディスクをフォーマットすると使用可能になります。 （操作パネルの機能設定メニューで「機器設定」→「ハードディスク」→「フォーマット」で設定します。）	S	S	—
メモリーが足りません メモリーを追加してください ◎ボタンにてエラーを スキップして動作します	メモリー容量不足で印刷できません。	◎（決定）ボタンを押してエラーをスキップしてください。 増設メモリモジュール（別売N-SDR128M）を取り付けて、全体のメモリー容量を増やしてください。	S	S	131
	メモリーでの部単位印刷を行っているとき、印刷ページ数がオーバーしました。	◎（決定）ボタンまたは ✕（ジョブ取消）ボタンを押してジョブを取消し、エラーをスキップしてください。 ハードディスクユニット（別売N-HDD）を取り付けるか、またはプリンタードライバーの設定を以下のように変更して部単位印刷を行ってください。 （プリンタードライバーの「プロパティ」を開き、「環境設定」タブ内の「動作設定」の「プリンター側ハードディスク／メモリーを使用する」のチェックを外します。）	S	S	133

エラーメッセージ

<table>
<tr><th>表示パネルのメッセージ</th><th>状　態</th><th>処置方法</th></tr>
<tr><td>ｻｰﾋﾞｽ ﾆ ﾚﾝﾗｸ!!
1XX</td><td rowspan="2">プリンターの修理が必要です。
1××または2××の3桁の数字を表示します。</td><td rowspan="2">電源スイッチをOFFにして、数分後ONにします。再度メッセージが表示されるときは、３桁の数字をメモした後に電源スイッチをOFFにし､お買い上げの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。</td></tr>
<tr><td>Controller Error
2XX</td></tr>
<tr><td>Internal Error
3XX</td><td>プリンター内部にエラーが発生しました。
3××の3桁の数字を表示します。</td><td>電源スイッチをOFFにして、再びONにすると復旧します。再度メッセージが表示されるときは、３桁の数字をメモした後に電源スイッチを OFF にし、お買い上げの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。</td></tr>
</table>

注意 電源スイッチＯＦＦ⇔ＯＮの間隔は５秒以上おいてください。短時間に電源スイッチをＯＦＦ⇔ＯＮすると誤動作や故障の原因になることがあります。

4.2 電源のトラブル

現　象	確　認	処　置
プリンターの電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	プリンターのインレットとコンセントに電源コードを確実に差し込んでください。
	コンセントに電源は来ていますか？	他の電気製品をコンセントに差し込んで動作するか確認してください。
	コンセントの電圧（100V、15A）は正しいですか？	コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。他の電子機器（コンピューターなど）のサービスコンセントには接続しないでください。
ブレーカーが動作してしまう	ブレーカーの定格は十分ですか？ 本プリンターの最大消費電力は1200Wです。	定格が十分でもブレーカーが動作するときは、他の機器（コンピューター、ファクシミリなど）を他のコンセントに差し替えるか、本プリンター用の別配線をご用意ください。
プリンターの電源がすぐに（5分程度）OFFになってしまう	切り忘れ防止機能（自動電源OFF）が「使用する」に設定されていませんか？	コンピューターにインストールされているスピーディアマネージャーからの応答がなくなると、自動的にプリンターの電源が OFF になります。先にコンピューター（スピーディアマネージャー）を立ち上げてください。(USB接続ではスピーディアマネージャーからの応答が検出できませんので自動電源OFFを「使用しない」に設定してください。) ☞ **ユーザーズマニュアル　Web設定編**
決まった時刻になるとプリンターの電源がOFFになってしまう	切り忘れ防止機能（強制電源OFF）が「使用する」に設定されていませんか？	強制電源OFFが「使用する」になっていると、指定された時刻にプリンターの電源がOFFになります。引き続き使用する場合は電源スイッチをONにしてください。 ☞ **ユーザーズマニュアル　Web設定編**

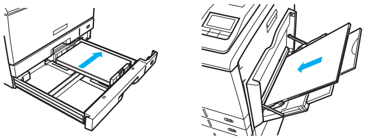
4.3 印刷できない

原　因（確認）	処　置	参照ページ
印刷の内容を減らしたり、解像度を下げてください。	印刷の内容や解像度によってはコンピューターやプリンターのメモリー不足などによって極端に時間がかかったり、印刷できない場合があります。	—
インターフェースケーブルが抜けていませんか？	インターフェースケーブルの両端を確実に差し込んでください。	**設置手順書 本体編**
インターフェースケーブルはコンピューターやプリンターの仕様に合っていますか？	USBケーブルは、USB2.0対応のツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。(USB2.0 1.5m以内を推奨) Ethernet ケーブルは、市販のツイストペアケーブル（カテゴリー5UTPを推奨）のストレートケーブルをご使用ください。	**設置手順書 本体編**
オンラインランプが消灯していませんか？	[オンライン] ボタンを押して、オンライン状態にしてください。	—
プリンターがエラーメッセージを表示していませんか？	☞ **4.1 表示パネルのメッセージと処置方法（78ページ）** を参照して処置してください。	**78**
機器情報印刷（ステータスシート）は印刷できますか？	印刷できるときはコンピューター側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタードライバーの設定、コンピューターの設定などを確認してください。	**設置手順書 本体編**
プリンターとコンピューターの間にプリンター切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンター切り替え機、プリンターバッファ、延長ケーブル、USBハブ、各種変換アダプターの種類によっては、正しく動作しないことがあります。このようなときはコンピューターとプリンターを直接接続してください。	—

原　因（確認）	処　置	参照ページ
他のコンピューターから印刷できますか？	ネットワークで共有している他のコンピューターから印刷できるときは、コンピューター側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタードライバーの設定、コンピューターの設定などを確認してください。他のコンピューターからも印刷できない場合は、ネットワークに問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談の上、ユーザーズマニュアル ネットワーク編を参照して設定を確認してください。	ユーザーズマニュアルネットワーク編
本プリンターを「通常使うプリンター」に設定してください。	アプリケーションによっては、通常使うプリンターから印刷する場合があります。	—
印刷権限設定がされていませんか？	登録されたユーザーしか印刷できない設定がされている場合があります。印刷できるユーザーに追加の必要がありますので、プリンターの管理者にお問い合わせください。	ユーザーズマニュアルWeb設定編

4.4 紙づまりのトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
斜めに印刷されて紙づまりする	マルチペーパーフィーダーまたはペーパーカセットの用紙ガイドが正しくセットされていますか？	マルチペーパーフィーダーまたはペーパーカセットの用紙ガイドを、用紙に軽く当たる位置にセットしてください。	28
	プリンター右側面の給紙ガイドが確実に閉まっていますか？	プリンター右側面のすべての給紙ガイドを確実に閉めてください。	66
用紙がシワになって紙づまりする	用紙の規格は合っていますか？セットされている用紙に波打ちや折り目などがありませんか？	不適切な用紙を取り除いてください。弊社推奨紙のご使用をおすすめします。	140
	全面ベタ印刷をしていませんか？	用紙送り方向に対して先端部分の余白を大きくしてください。	—
用紙が重なって印刷されて紙づまりする	用紙の継ぎ足しをしていませんか？	継ぎ足した用紙を取り除いてください。	—
	種類の違う用紙をセットしていませんか？	種類の違う用紙を取り除いてください。	—
	裁断面のバリ、ラベル紙の粘着材、用紙の静電気などで、用紙同士が付着していませんか？	用紙をさばいてからセットしてください。用紙同士の付着がひどいときはマルチペーパーフィーダーから１枚づつ印刷してください。 可能な場合は、給紙口の用紙の裏表を逆にセットしてください。	142
用紙が給紙されずに紙づまりする	給紙がスリップしています。	給紙口の用紙の裏表を逆にセットしてください。	—
	用紙を入れすぎていませんか？	用紙が横ガイドの「▼」マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り出してください。	—
用紙の角が折れて紙づまりする	用紙の種類によっては、裏表を逆にセットすると紙づまりしやすい場合があります。	給紙口の用紙の裏表を逆にセットしてください。	—
違うサイズの用紙が給紙されて紙づまりする	用紙サイズダイヤルとセットした用紙サイズが違っていませんか？	用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズに合わせてください。	28

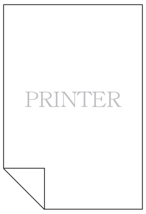
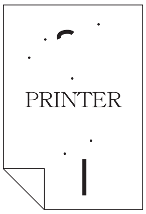
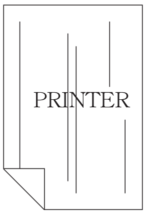
<table>
<tr><th>症　状</th><th>原　因（確認）</th><th>処　置</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>モーター回転中にガリガリという異音がして紙づまりする</td><td>定着ユニットがロックされていますか？</td><td>定着ユニットを奥までしっかり押し込んでカチッとロックしてください。</td><td>114</td></tr>
<tr><td rowspan="2">厚紙（129g/ ㎡以上）が給紙されずに紙づまりする</td><td>158～216g/㎡の厚紙を本体下段（カセット2）または拡張ペーパフィーダ（カセット3、カセット4）にセットしていませんか。</td><td>158～216g/㎡の厚紙は本体上段（カセット 1）またはマルチペーパーフィーダーにセットしてください。</td><td>28</td></tr>
<tr><td>129g/ ㎡以上の厚紙は通紙方向に対して縦目（T 目）の向きに用紙をセットすると紙づまりする場合があります。</td><td>129g/ ㎡以上の厚紙は通紙方向に対して横目（Y目）の用紙をご使用ください。
<通紙方向>

本プリンターの場合、サイズ別に下記目方向の用紙を使用すると、通紙方向に対して横目（Y目）になります。
<table><tr><th>用紙サイズ</th><th>目方向</th></tr><tr><td>A3、B4、A4R</td><td>横目（Y 目）用紙</td></tr><tr><td>A4□、B5、A5</td><td>縦目（T 目）用紙</td></tr></table></td><td>—</td></tr>
</table>

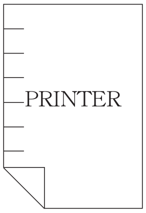
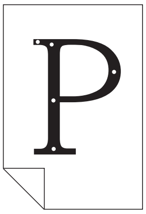
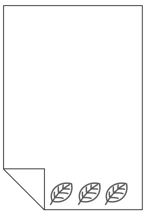
ポイント プリンターで快適な印刷をするには用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙を使用する前に必ず☞ 付録2. 用紙について（140ページ）をご覧ください。

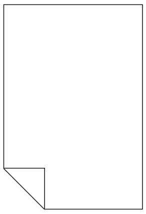
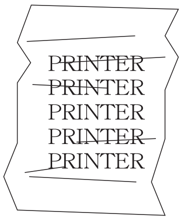
ポイント 用紙のサイズや厚さが規格内でも、紙質などにより紙づまりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときは、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

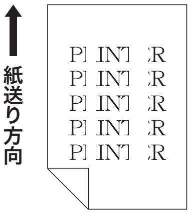
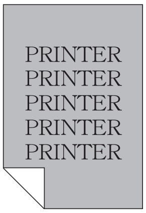
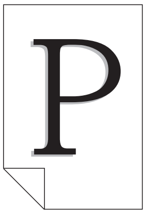
4.5 印刷画像のトラブル

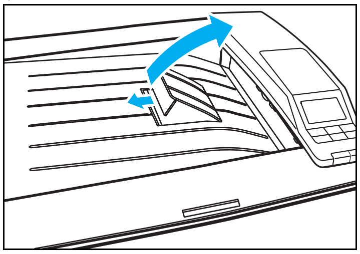
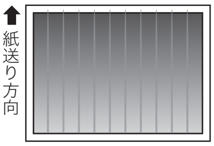
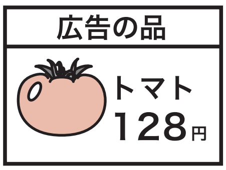
印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近い症状を選び処置を行ってください。
処置を行っても印刷品質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターまでご連絡ください。

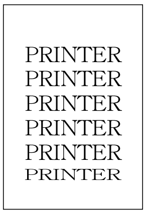
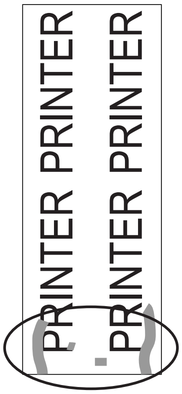
症　状	原　因	処　置
印刷がうすい （かすれる、不鮮明） 	操作パネルの機能設定で「トナーセーブ」が設定されていませんか。	操作パネルの機能設定メニューで「印刷設定」→「エコノミー」→「トナーセーブ」の設定を「OFF」にしてください。 ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**
	「一発エコモード」で「トナーセーブ」に設定されていませんか。	[節電]ボタンを長押し（約４秒）して「一発エコモード」を解除します。「一発エコモード」の「トナーセーブ設定」を変更できます。 ☞ **ユーザーズマニュアル　Web設定編**
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ **1. 用紙の補給（27ページ）**
	トナーセット内にトナーが残っていません。	新しいトナーセットと交換してください。 ☞ **2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）**
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	プリンターが結露しています。 気温が低い日の朝や、室外から室内に移動したときに発生しやすくなります。	電源スイッチをONにしたまま10～20分間放置します。結露がひどいときは回復に１時間程度かかることがあります。
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	印刷がうすくなる色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	一度に複数枚の用紙が重なって印刷されていませんか。	用紙をよくさばいてからセットしてください。
斑点や汚れが印刷される 	紙づまり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。特に定着ユニットにつまった用紙を排紙口側から引き抜くと発生しやすくなります。	数枚印刷すると汚れは消えます。
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ **付録2. 用紙について（140ページ）**
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、斑点が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	転写ベルトにキズがついています。	新しいベルトユニットに交換してください。 ☞ **5.2　転写ベルトユニットの交換方法（119ページ）**
線が印刷される 	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、線が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	転写ベルトユニットまたは転写ロールが、劣化または損傷しています。	新しい転写ベルトユニットおよび転写ロールと交換してください。 ☞ **5.2　転写ベルトユニットの交換方法（119ページ）**

症　状		原　因	処　置
等間隔に汚れる		ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、汚れが出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）
ぬりつぶされた部分に白点が現れる		使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（140ページ）
		ドラムセットが劣化または損傷しています。	白点が印刷される色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）
指でこするとかすれる・剥がれる		紙種の設定が合っていません。	使用する用紙に合わせて紙種の設定をしてください。 ☞ 付録3. 紙種別給紙口一覧表（146ページ）
		定着ユニットの圧力切り替えレバーが封筒側（右側）になっていませんか。	定着ユニットの圧力切り替えレバーを普通紙（左側）にしてください。 ☞ 封筒（41ページ）
		用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 1. 用紙の補給（27ページ）
		使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（140ページ）
用紙全体がぬりつぶされる		ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、ぬりつぶされる色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）
		ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）
		プリンターの故障が考えられます。	販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
マークが印刷される		「一発エコモード」が設定されています。	節電ボタンを長押し（約４秒）して「一発エコモード」を解除します。「一発エコモード」時にマークを印刷しないよう設定できます。 ☞ ユーザーズマニュアル　Web設定編

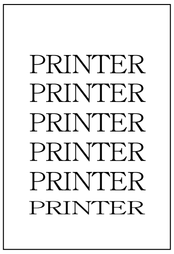
症　状	原　因	処　置
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	印刷できなくなった色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ **2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）**
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	印刷できなくなった色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	プリンターの故障が考えられます。	販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。
部分的に白く抜ける・カスレる・うすい 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ **1. 用紙の補給（27ページ）**
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ **付録2. 用紙について（140ページ）**
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白く抜ける色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ **2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）**
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付けてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）** ☞ **2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）**
	長尺紙に印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷していませんか。	ベタ部分を網かけにするなどして低い印字率で印刷してください。
	転写ベルトにキズがついています。	新しいベルトユニットに交換してください。 ☞ **5.2　転写ベルトユニットの交換方法（119ページ）**
用紙にシワがつく 文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ **付録2. 用紙について（140ページ）**
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ **1. 用紙の補給（27ページ）**

症　状	原　因	処　置
縦長に白抜けする 	トナーセット内のトナーが片寄っています。	トナーセットを取り出して左右に４～５回振り、中のトナーを均一にしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白抜けする色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ **2.2 トナーセットの交換方法（53ページ）**
	ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットを正しく取り付け直してください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
背景がトナーで汚れる 	ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットを正しく取り付けてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
色がズレる 	ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはナーセットを正しく取り付けてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
長尺紙に印刷できない	アプリケーションが最大297×1200mmの原稿サイズをサポートしていないと印刷できません。	任意の用紙サイズを297×1200mmに設定できるアプリケーションで原稿を作成してください。
長尺紙の印刷が遅い	プリンタードライバーの設定を変更すると改善されることがあります。	プリンタードライバーの「印刷書式」の設定で「画面プレビュー優先」に設定してください。
	プリンターのメモリーが不足しています。	標準128MBに対して128MBのメモリーを増設し、合計256MBのメモリーにすると改善する場合があります。
	長尺紙に対して横書きの原稿を作成すると印刷に時間がかかります。	長尺紙に対して縦書きの原稿にすると速くなります。

症　状	原　因	処　置
排紙口から用紙が落ちる	印刷した用紙がカールして出てくるため、用紙の重なりが不揃いになり、印刷済みの用紙を押し出して落下する場合があります。	用紙の裏表を逆にセットすると改善する場合があります。
		メイントレイ排紙部の排紙補助トレイを起こすと改善する場合があります。
		通紙方向に対して「横目（Y 目）」の用紙を使用すると改善する場合があります。
ベタ印刷部分にこすれあとが付く	紙送り方向に対して先端部分に黒に近い色（Y,M,C を重ねた暗い色）を印刷すると発生しやすくなります。ひどい場合は定着ユニットに用紙がつまることがあります。	先端部分の余白を広げてください。
		トナーセーブモードで全体の色をうすくすると軽減することがあります。
		先端が濃く、後端がうすい場合は☞ **リバース印字（ユーザーズマニュアル　プリンタードライバー編4.4 給排紙（16ページ））**で先端と後端を逆向きに印刷してください。
		先端部分の暗い色を明るい色（うすい色）に変更してください。
		先端部分が暗い色の画像を連続して印刷しないようにしてください。
色がズレる	内部カバーが正しく閉められていません。	内部カバーを正しく閉めてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットを正しく取り付けてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	自動レジスト（色ズレ）補正が補正可能範囲外に設定されています。	操作パネルの機能設定メニューで「ユーティリティ」→「キャリブレーション」→「レジスト補正実行」を選択して◎（決定）ボタンを押します。 ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**
色の濃さが極端に違う	内部カバーが正しく閉められていません。	内部カバーを正しく閉めてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	ドラムセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットを正しく取り付けてください。 ☞ **2.3 ドラムセットの交換方法（57ページ）**
	自動濃度補正が補正可能範囲外に設定されています。	まず、下記①のみを行ってください。改善しないときは、下記②を行ってください。 ① 操作パネルの機能設定メニューで「ユーティリティ」→「キャリブレーション」→「濃度」を選択して◎（決定）ボタンを押します。 ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編** ② 操作パネルの機能設定メニューで「ユーティリティ」→「自動補正値の初期化」→「濃度」を選択して◎（決定）ボタンを押します。 ☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**

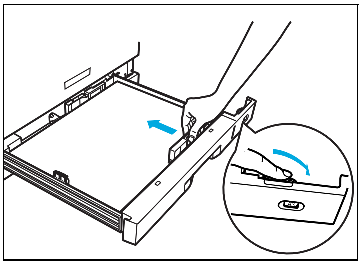
症　状	原　因	処　置
用紙後端部分の印刷が縮む（ブレ）  	定着ユニット交換時や、厚紙を印刷したときに発生する場合があります。	定着ユニットの速度補正を行ってください。 ☞ **後端画像縮み（ブレ）の調整方法（102ページ）**
長尺紙の後端に画像こすれ跡が付く  画像こすれ	プリンター内で長尺紙の後端がたわみ、印刷画像が通紙経路に触れてこすれ跡が付く場合があります。	定着ユニットの速度補正を行ってください。 ☞ **長尺紙後端画像こすれの調整方法（106ページ）**

後端画像縮み（ブレ）の調整方法



図のように用紙後端（約35mm）部分の印刷画像が縮んで印刷されるときは、以下の手順で定着ユニットの速度を調整してください。

ポイント 後端画像縮みは、定着ユニット交換時や厚紙使用時に発生しやすくなります。



1. プリンターの上段カセット（カセット1）にA3サイズの用紙をセットします。

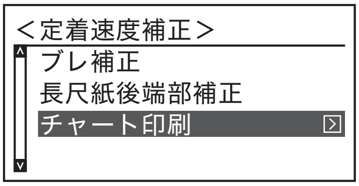
☞ 1.2 ペーパーカセットからの給紙（28ページ）

2. 調整用のテストチャートを印刷します。

操作パネルの機能設定メニューで「プリンター管理・調整」→「定着速度補正」→「チャート印刷」→「A3（2枚、カセット1）」を選択し、◎（決定）ボタンを押してテストチャートを印刷します。

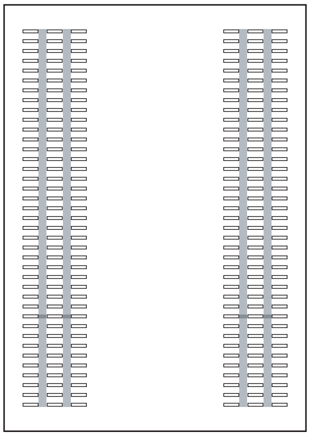
ボタン操作	パネル表示
① 未印字データがない状態で［オンライン］ボタンを押し、「機能設定メニュー」を表示します。	機能設定メニュー テスト印刷・レポート ▷（選択中） プリンター管理・調整 インターフェース設定 用紙設定
② [V] [Λ] ボタン「プリンター管理・調整」を選択して [>] ボタンを押します。	機能設定メニュー テスト印刷・レポート プリンター管理・調整 ▷（選択中） インターフェース設定 用紙設定
③ [V] [Λ] ボタンで「定着速度補正」を選択して [>] ボタンを押します。	［プリンター管理・調整］ 印刷位置調整 キャリブレーション 自動補正値初期化 定着速度補正 ▷（選択中）

④ [∨] [∧] ボタンで「チャート印刷」を選択して [>] ボタンを押します。

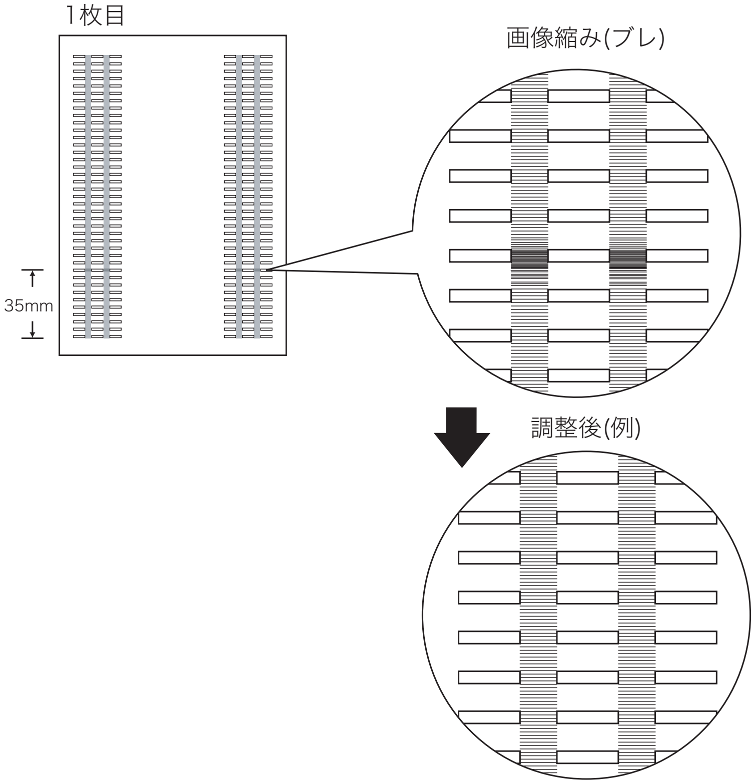


⑤ [∨] [∧] ボタンで「A3（2枚、カセット1）」を選択して [◎]（決定）ボタンを押すと図のようなテストチャートが2枚印刷されます。



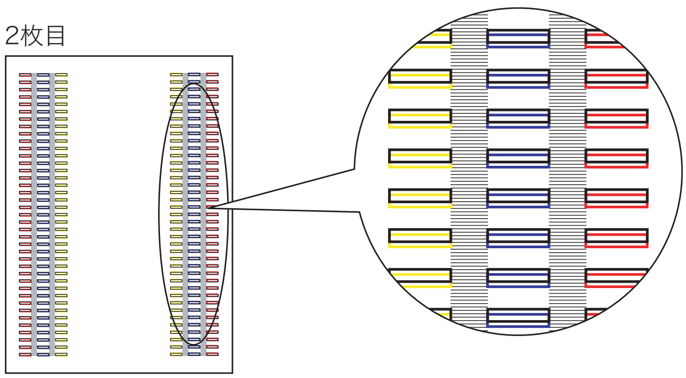


3. 後端画像縮み（ブレ）調整「する／しない」を判断します。テストチャート１枚目の後端から35mm付近に図のような画像の縮み（ブレ）が目立つ場合は、手順４の方法で調整します。



ポイント 画像の縮みが「調整後（例）」のように目立たなくなるまで、手順3と手順4を繰り返してください。

ポイント 図のようにテストチャート２枚目の四角い枠の外に色がズレて印刷されるときは、補正値の増やしすぎです。手順4ー②で補正値を現在の設定から「ー１」減らしてください。
※すべての黒枠に色ズレがピッタリ重なるように調整できない場合があります。



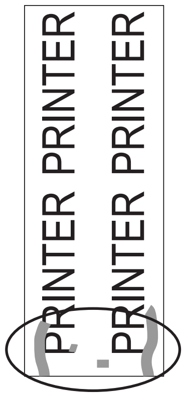
4. 後端画像縮み（ブレ）を調整します。

ボタン操作	パネル表示
① ［＜］ボタンを１回押して「定着速度補正」に戻り、［∨］［∧］ボタンで「ブレ補正」を選択して［＞］ボタンを押します。	＜定着速度補正＞ ブレ補正 長尺紙後端部補正 チャート印刷
② ［∧］ボタンを１回押して現在の補正値を「＋１」増やして◎（決定）ボタンを押します。	≪ぶれ補正≫ *＋２
③ ［＜］ボタンを１回押して「定着速度補正」に戻り、［∨］［∧］ボタンで「チャート印刷」を選択して［＞］ボタンを押します。	＜定着速度補正＞ ブレ補正 長尺紙後端部補正 チャート印刷
④ ［∨］［∧］ボタンで「A3（２枚、カセット1）」を選択して◎（決定）ボタンを押すと、新しい補正値に変更後のテストチャートが２枚印刷されます。	≪チャート印刷≫ *Ａ３（２枚　カセット１） 長尺紙　６００mm 長尺紙　９００mm 長尺紙１２００mm

⑤ 手順３に戻り、１枚目の後端縮みが「調整後（例）」のように改善されたかを確認します。

> ポイント：補正値は「＋１」刻みで増やしてください。一度に増やすと色ズレが発生します。

長尺紙後端画像こすれの調整方法



画像こすれ

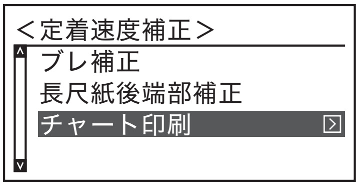
図のように長尺紙後端部分の印刷画像がこすれたように印刷されるときは、以下の手順で定着ユニットの速度を調整してください。

> **ポイント** 長尺紙後端画像こすれは、定着ユニット交換時や厚紙使用時に発生しやすくなります。

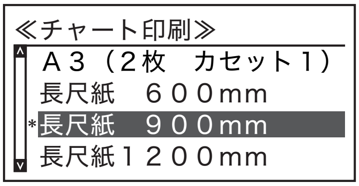
1. **調整用のテストチャートを印刷します。**
操作パネルの機能設定メニューで「プリンター管理・調整」→「定着速度補正」→「チャート印刷」→「長尺紙＊＊＊mm」（＊＊＊は長尺紙の長さ）を選択し、[◎]（決定）ボタンを押してテストチャートを印刷します。

ボタン操作	操作後のパネル表示
① 未印字データがない状態で[オンライン]ボタンを押し、「機能設定メニュー」を表示します。	機能設定メニュー ▶テスト印刷・レポート プリンター管理・調整 インターフェース設定 用紙設定
② [∨][∧]ボタン「プリンター管理・調整」を選択して[>]ボタンを押します。	機能設定メニュー テスト印刷・レポート ▶プリンター管理・調整 インターフェース設定 用紙設定
③ [∨][∧]ボタンで「定着速度補正」を選択して[>]ボタンを押します。	[プリンター管理・調整] 印刷位置調整 キャリブレーション 自動補正値初期化 ▶定着速度補正

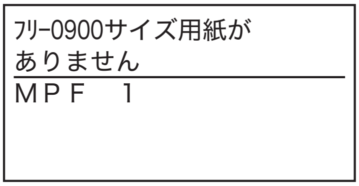
④ [∨] [∧] ボタンで「チャート印刷」を選択して [>] ボタンを押します。

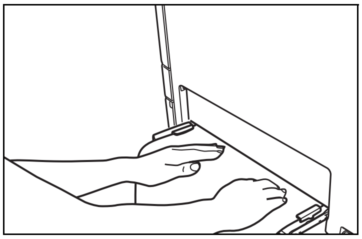


⑤ [∨] [∧] ボタンで使用する長尺紙の長さに合わせて 600mm、900mm、1200mmから選択します。(図の例は900mmの長尺紙を選択した場合です。)



⑥ [◎] (決定) ボタンを押すと図のようなマルチペーパーフィーダーに長尺紙をセットする表示に変わります。

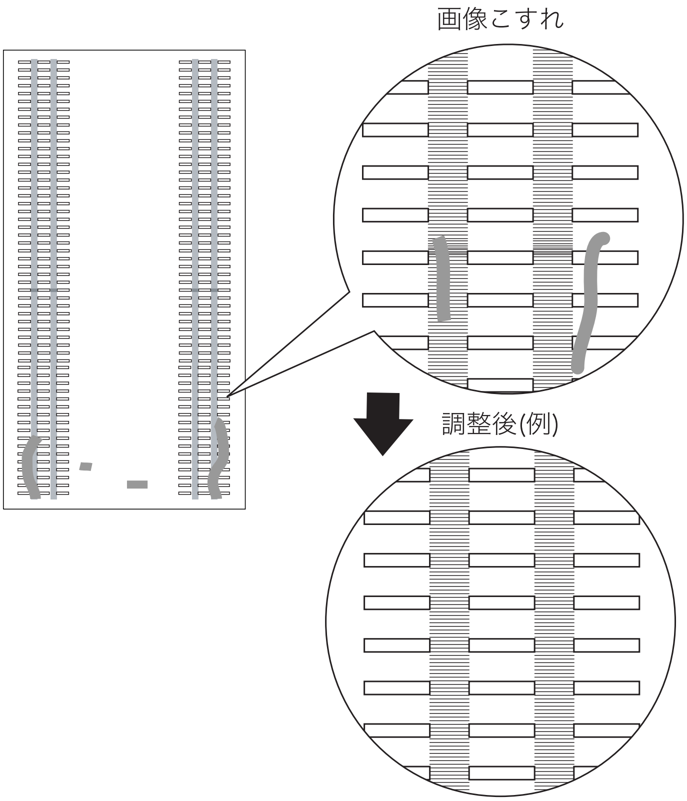




2. マルチペーパーフィーダーに手順１－⑤で選んだ長さの長尺紙をセットして、テストチャートを印刷します。

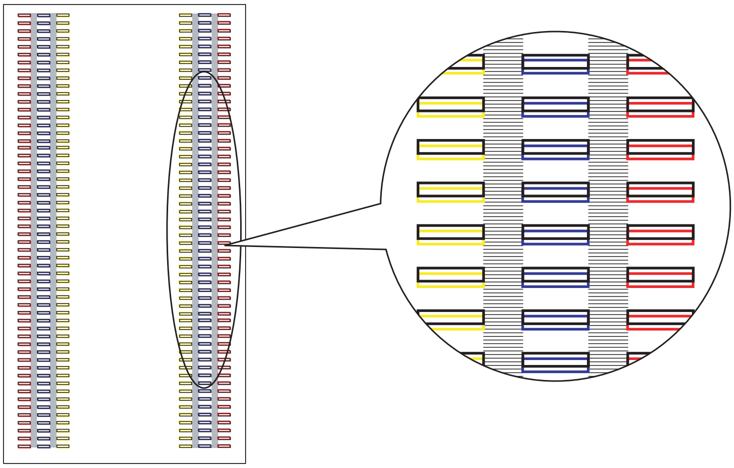
☞ **長尺紙の印刷手順（45ページ）**

3. 長尺紙後端画像こすれの調整「する／しない」を判断します。テストチャートの後端に画像こすれが目立つ場合は、手順４の方法で調整します。



画像のこすれが「調整後（例）」のように目立たなくなるまで、手順３と手順４を繰り返してください。

ポイント 図のように四角い枠の外に色がズレて印刷されるときは、補正値の増やしすぎです。手順4ー②で補正値を現在の設定から「ー１」減らしてください。



4. 長尺紙後端画像こすれを調整します。

ボタン操作　　　　パネル表示

① [<] ボタンを１回押して「定着速度補正」に戻り、[V] [Λ] ボタンで「長尺紙後端部補正」を選択して [>] ボタンを押します。

＜定着速度補正＞
ブレ補正
長尺紙後端部補正
チャート印刷

② [Λ] ボタンを１回押して現在の補正値を「＋１」増やし [◎]（決定）ボタンを押します。

≪長尺紙後端部補正≫
*＋２

③ [<] ボタンを１回押して「定着速度補正」に戻り、[V] [Λ] ボタンで「チャート印刷」を選択して [>] ボタンを押します。

＜定着速度補正＞
ブレ補正
長尺紙後端部補正
チャート印刷

④ ∨ ∧ ボタンで使用する長尺紙の長さに合わせて 600mm、900mm、1200mmから選択します。(図の例は900mmの長尺紙を選択した場合です。)

```
≪チャート印刷≫
 Ａ３（２枚　カセット１）
 長尺紙　６００mm
*長尺紙　９００mm
 長尺紙１２００mm
```

⑤ 図のようなメッセージが表示されたら、マルチペーパーフィーダーに長尺紙をセットするとテストチャートが印刷されます。

```
ﾌﾘｰ0900サイズ用紙が
ありません
ＭＰＦ　１
```

⑥手順3に戻り、１枚目の後端縮みが「調整後（例）」のように改善されたかを確認します。

ポイント 補正値は「+1」刻みで増やしてください。一度に増やすと色ズレが発生します。

4.6 印刷内容のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
カラーで印刷できない	プリンターの立ち上げモードの設定が「モノクロ専用」になっていませんか?	プリンターの立ち上げモードを「カラー」または「モノクロ」に設定してください。	ユーザーズマニュアル設定メニュー編
	プリンタードライバーの設定が「モノクロ」になっていませんか？	プリンタードライバーの設定を「カラー」にしてください。アプリケーション側もカラーに設定しなければならない場合があります。	ユーザーズマニュアルプリンタードライバー編（9ページ）
	権限設定によりカラー印刷できない設定になっていませんか？	カラー印刷を許可する権限設定に変更の必要があります。プリンターの管理者にお問い合わせください。	ユーザーズマニュアルWeb設定編
文字化けする 白紙が何枚もでてくる	プリンタードライバーの機種設定は合っていますか？	本プリンターのプリンタードライバーを再インストールしてください。	—
	プリンターとコンピューターの間にプリンター切り替え機や変換アダプター類を使用していませんか？	プリンター切り替え機、プリンターバッファ、延長ケーブル、USB ハブ、各種変換アダプターの種類によっては、正しく動作しないことがあります。このようなときはコンピューターとプリンターを直接接続してください。	—
	インターフェースケーブルはコンピューターやプリンターの仕様に合っていますか？	USBケーブルは、USB2.0対応のツイストペア、シールドタイプのケーブルをご使用ください。（USB2.0 1.5m 以内を推奨） Ethernetケーブルは、市販のツイストペアケーブル（カテゴリー 5UTP を推奨）のストレートケーブルをご使用ください。	—
	インターフェースケーブルが抜けていませんか？	インターフェースケーブルの両端を確実に差し込んでください。	—

4.7 その他のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
印刷に時間がかかる	プリンターがスリープ状態になっていませんか？スリープ状態から印刷をスタートすると印刷開始までに約30秒かかることがあります。	Web設定の節電スケジュール機能で節電を有効にする時間帯を設定できます。	ユーザーズマニュアルWeb設定編
	ファイルサイズの大きい画像データを印刷していませんか？	プリンターのメモリー増設により改善されることがあります。ただし、コンピューター側の処理（スプール）に時間がかかっている場合はプリンター側にメモリー増設しても効果は期待できません。	—
印刷の途中でプリンターが停止する	両面印刷やB4より幅が狭い厚紙を連続して印刷すると、機内温度上昇を防止するためモーターが回転したまましばらく印刷を中断することがあります。	機内温度が下がると印刷を再開しますので、しばらくお待ちください。	—
	「トナー準備」表示中は、トナー補給のためにモーターが回転したまましばらく印刷を中断する場合があります。	トナー補給が終わると印刷を再開しますので、しばらくお待ちください。	—
周辺のコンピューターや電気製品に異常が発生する	電源容量は十分ですか？ プリンターは一時的に大電力を消費しますので、同じコンセントからコンピューターなどの電源を取ると、画面がチラついたりリセットがかかることがあります。	プリンターを12A以上の独立したコンセントに差し替えて使用してください。	—
印刷していないのにプリンターから「ゴトン」という音がする	節電状態になるときと解除されたときに、「ゴトン」という転写ベルトを切り替える音がします。	故障ではありませんのでそのまま使用してください。	—

5. 定期交換部品について

定期交換部品（摩耗などにより機能低下する部品）の種類と交換目安は以下の通りです。
これらの部品が摩耗すると、紙づまりが多くなる、斜めに印刷される、印刷面または裏面に黒スジが印刷されるなどの症状が多発するようになります。

	定期交換部品	交換目安※	表示パネル	交換方法
ユーザー交換部品	定着ユニット (GE5-FUS)	12万ページ	印刷できます 定着ユニット交換時期 K C M Y	交換時期になった定期交換部品をお買い求めの上、お客様により交換をお願い致します。 ☞ **5.1 定着ユニットの交換方法（114ページ）** ☞ **5.2 転写ベルトユニットの交換方法（119ページ）**
	転写ベルトユニット (GE5-BLT) 転写ロール (転写ベルトユニットに同梱)	10万ページ	印刷できます 転写ベルトユニット交換時期 K C M Y	

※ 交換目安の使用条件は以下の通りです。

① 平均通電時間は1日８時間
② A4サイズ横送り・連続印刷
③ 弊社推奨普通紙を使用
④ 常温23℃環境下

ただし、お客様の使用形態により、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

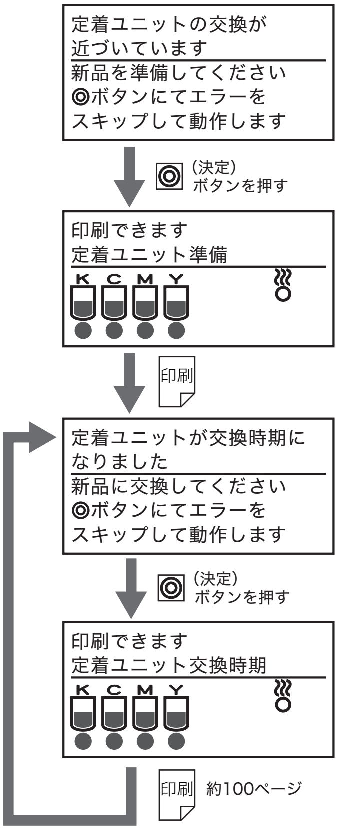
	定期交換部品	交換目安※	表示パネル	交換方法
サービス交換部品	給紙コロ（上下） 排紙ローラ 待機ローラ（上下） MPFパッド MPFローラ	30万ページ	印刷できます 定期点検時期 K C M Y	サービスが交換に伺います。お買い求めの販売店または、カスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。 0570-033066

※ 交換目安の使用条件は以下の通りです。

① 平均通電時間は1日８時間
② A4サイズ横送りは１カウント
A4サイズ縦送りは２カウント
③ 弊社推奨普通紙を使用
④ 常温23℃環境下

ただし、お客様の使用形態により、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

5.1 定着ユニットの交換方法



メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、定着ユニットの交換時期が近づいたことを示しています。新しい定着ユニットを準備してください。

定着ユニットの交換が近い状態で印刷していることを示しています。

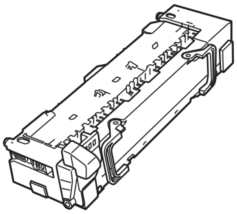
再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、定着ユニットの交換時期です。新しい定着ユニットに交換してください。

◎（決定）ボタンを押すと、メッセージランプが消灯し、図のメッセージが表示されて印刷を再開しますが、既に交換時期を過ぎていますので早めに交換してください。(約100ページ印刷するごとに「定着ユニットが交換時期になりました」表示になり印刷を停止します。)

ポイント
定着ユニット交換後は、操作パネルのボタン操作で交換表示をリセットしてください。
☞ **＜定着ユニットの交換表示リセット方法＞（117ページ）**
この操作を行わないとメッセージは消えません。

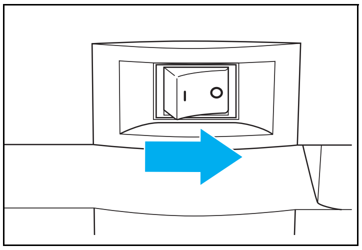
●定着ユニット

商品外観

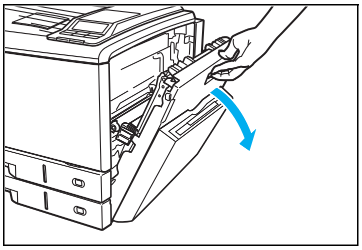


高温注意

定着ユニットは高温になっています。定着ユニットの脱着は、サイドカバーを開けたまま定着ユニットが冷めるのを（約15分程度）待ってから行ってください。

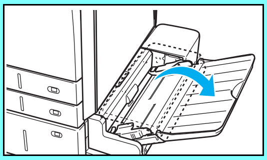


1. 電源スイッチをOFFにします。

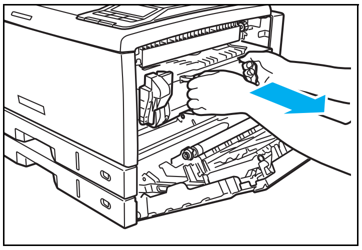


2. サイドカバーを開けます。

注意



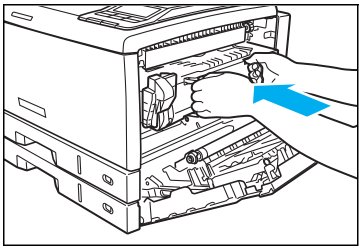
MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。



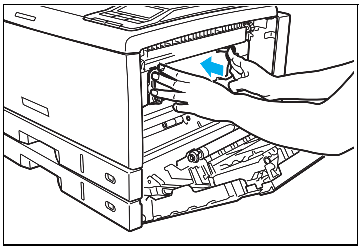
3. 使用済みの定着ユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き出します。

注意

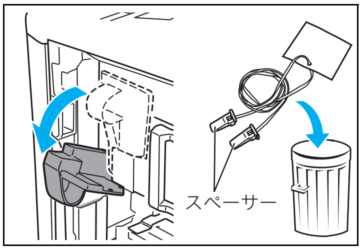
定着ユニット着脱時に落としてけがをしないようご注意ください。



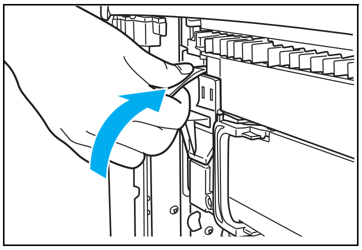
4. 新しい定着ユニットの取っ手を持ってゆっくりとプリンターに差し込みます。



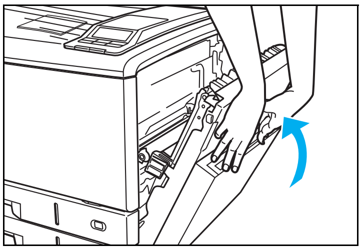
5. 取っ手から手を離し、定着ユニットを奥までしっかり押し込んでプリンターに固定します。



6. 定着解除レバーを少し下げると、ヒモの両端に付いているスペーサー２個（オレンジ色）が外れます。ヒモを止めてあるオレンジ色のテープを剥がして、ヒモと一緒に取り外します。



7. 定着解除レバーを上げます。



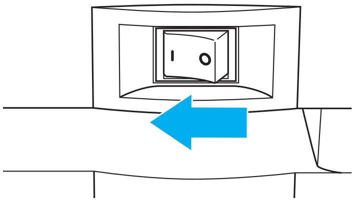
8. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

9. 電源スイッチをONにして、操作パネルのボタン操作で定着ユニットの交換表示をリセットします。

＜定着ユニットの交換表示リセット方法＞

操作手順　　　　　　　　　　　　　　　　　　パネル表示

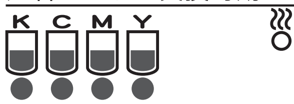
① 電源スイッチをＯＮにします。



定着ユニットが交換時期になりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーをスキップして動作します

② ◎（決定）ボタンを押して定着ユニットの 交換メッセージをキャンセルします。

印刷できます
定着ユニット交換時期



③ オンライン ボタンを押して「機能設定メニュー」を 表示します。

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

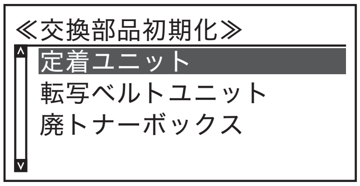
④ V Λ ボタンで「プリンター管理・調整」を選択して > ボタンを押します。

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

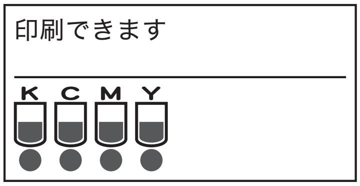
⑤ V Λ ボタンで「交換部品初期化」を選択して > ボタンを押します。

[プリンター管理・調整]
交換部品初期化
印刷位置調整
キャリブレーション
自動補正値初期化

⑥ ∨ ∧ ボタンで「定着ユニット」を選択して◎（決定）ボタンを押すと初期化が始まります。



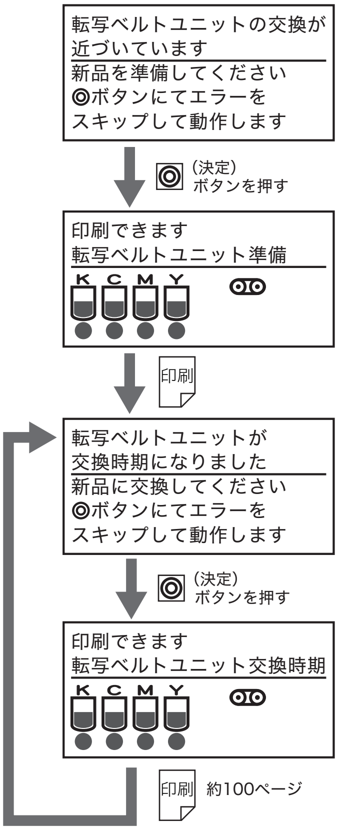
⑦「交換部品初期化」に戻ったらオンラインボタンを押し（定着ユニット交換時期アイコン）が消えていれば 完了です。



10. 使用済みの定着ユニットは、新しい定着ユニットが入っていた梱包箱に入れてご返却ください。

カシオ計算機では、ご使用済みの定着ユニットを無料で回収しております。詳しくは同梱の案内書をご覧ください。

5.2 転写ベルトユニットの交換方法



メッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、転写ベルトユニットの交換時期が近づいたことを示しています。新しい転写ベルトユニットを準備してください。

再びメッセージランプが点滅し、図のメッセージが表示されてプリンターが停止しているときは、転写ベルトユニットの交換時期です。新しい転写ベルトユニットに交換してください。（同梱の転写ロールと廃トナーボックスも同時に交換してください）

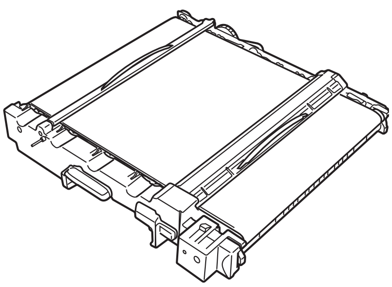
転写ベルトユニットの交換が近い状態で印刷していることを示しています。

◎（決定）ボタンを押すと、メッセージランプが消灯し、図のメッセージが表示されて印刷を再開しますが、既に交換時期を過ぎていますので早めに交換してください。(約100ページ印刷するごとに「転写ベルトユニットが交換時期になりました」表示になり印刷を停止します。)

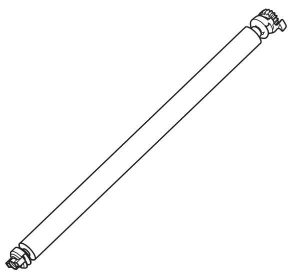
注意 転写ベルトユニット交換後は、操作パネルのボタン操作で交換表示をリセットしてください。☞ **<転写ベルトユニット、廃トナーボックスの交換表示リセット方法>（126ページ）** この操作を行わないとメッセージは消えません。

●転写ベルトユニットの交換

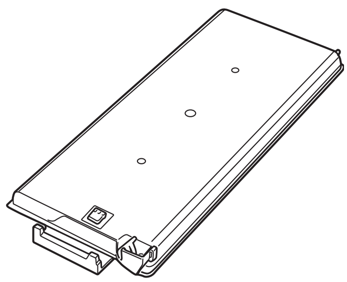
〈転写ベルトユニット〉



〈転写ロール〉



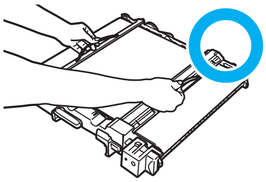
〈廃トナーボックス〉

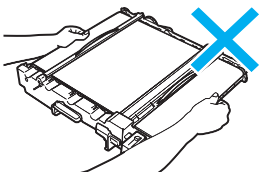


取り扱い上のご注意

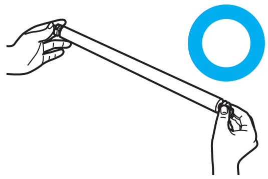
転写ベルト(黒いベルト部分)や転写ロール(黒いスポンジ部分)に、手を触れたり、キズを付けないよう取り扱いにご注意ください。
指紋やキズが付くと印刷画像トラブルの原因になる場合があります。緑色の部分を持ってお取り扱いください。

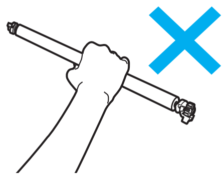
〈転写ベルトユニット〉





〈転写ロール〉

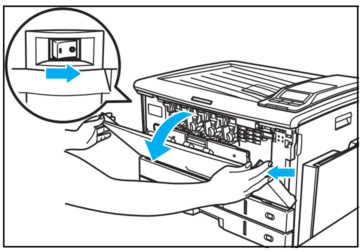




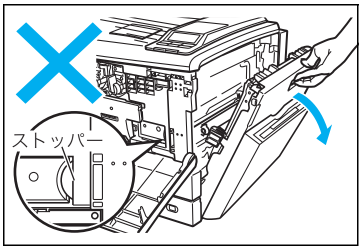
⚠ 注 意

使用済みの転写ベルトユニット、廃トナーボックスは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になることがあります。

- トナーは人体に無害ですが、手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 交換の際は、トナーで周囲が汚れないように紙などを敷いてください。トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに掃除機で吸い取ってください。



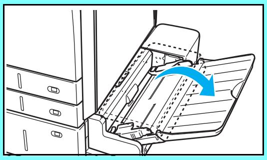
1. 電源スイッチをOFFにして、フロントカバーを開けます。



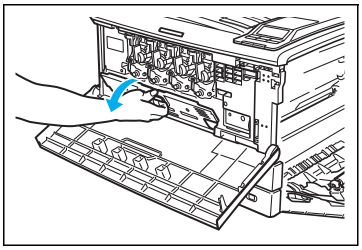
2. サイドカバーを開けます。

ポイント サイドカバーを開けたときに、ストッパー（白い半円形の板）が引き込まれたことを確認してください。図のように見えたままでは転写ベルトユニットが引き出せません。

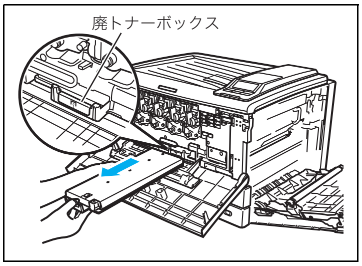
注意



MPF 付き拡張ペーパフィーダ（オプション）をご使用の場合は、MPF トレイを開けてからサイドカバーを開けてください。MPF トレイを閉めたままサイドカバーを開けると、MPF トレイにサイドカバーがあたり、破損の原因になります。

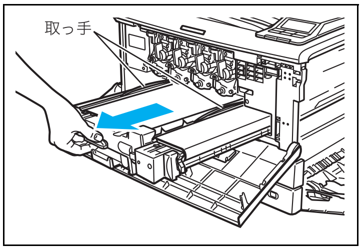


3. 内部カバーを開けます。



4. 使用済みの廃トナーボックスを引き抜きます。

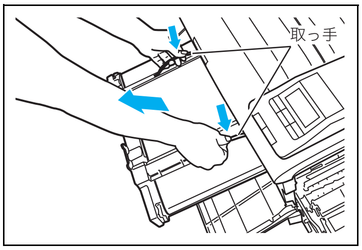
注意 廃トナーをこぼさないようにご注意ください。



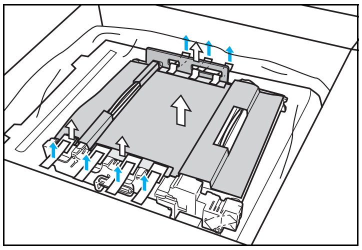
5. 使用済みの転写ベルトユニットを、取っ手（緑色）が見える位置まで引き出します。

⚠ 注 意

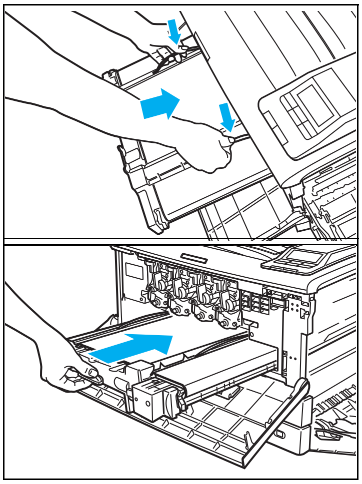
定着ユニット着脱時に落としてけがをしないようご注意ください。



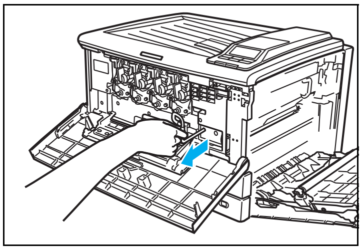
6. 左右の取っ手に持ち替えて取り外します。



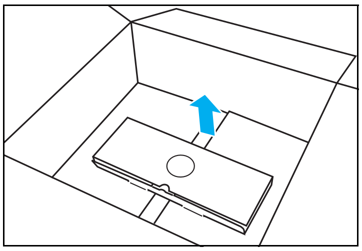
7. 箱に入った状態で新しい転写ベルトユニットのテープ（オレンジ色）を剥がし、輸送用のスペーサー（４枚）と、樹脂スペーサー（１個）と、保護シートを取り外します。



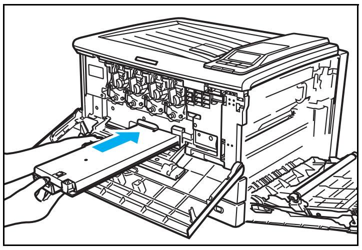
8. 新しい転写ベルトユニットの取っ手を持ち、プリンターに奥まで差し込みます。



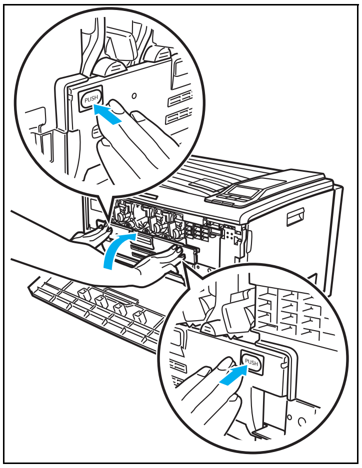
9. 輸送用の針金を抜き取ります。



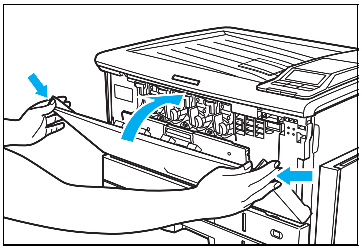
10. 新しい廃トナーボックスを箱から取り出します。



11. 新しい廃トナーボックスを奥までしっかり差し込みます。



12. 内部カバーの「PUSH」部分を両手で押して、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

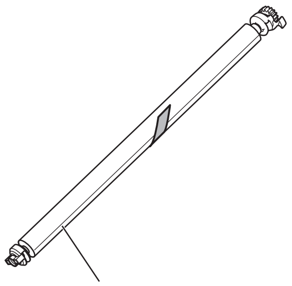


13. フロントカバーを閉めます。

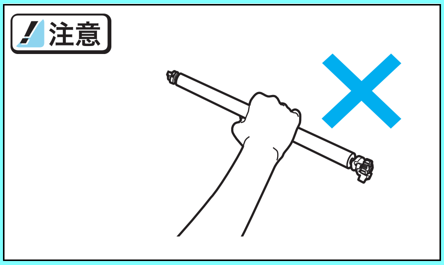
ひきつづき転写ロールを交換します。

●転写ロールの交換

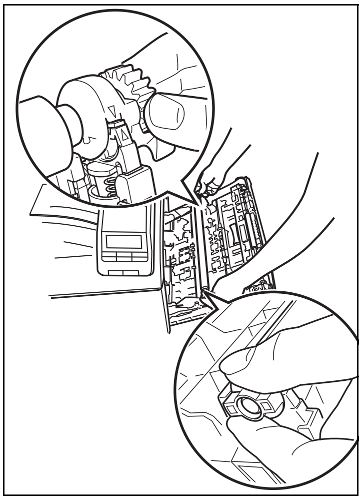
〈転写ロール〉



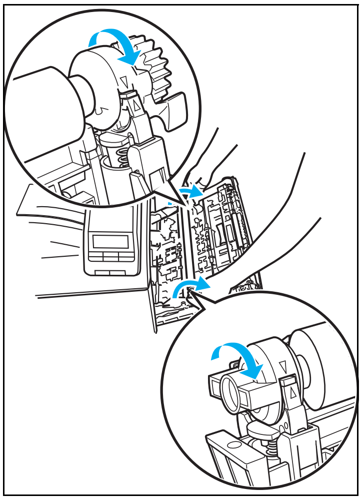
保護シートは、手順５まではがさないでください。



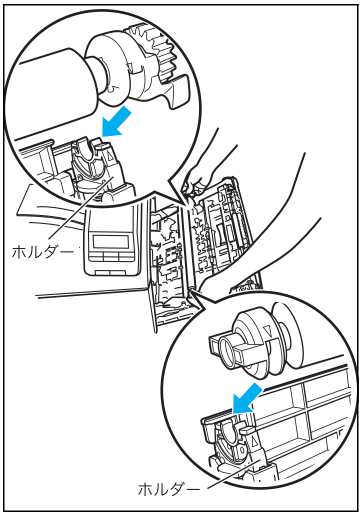
転写ロール（黒いスポンジ部分）に、手を触れたり、キズを付けないよう取り扱いにご注意ください。
指紋やキズが付くと印刷画像トラブルの原因になる場合があります。緑色の部分を持ってお取り扱いください。



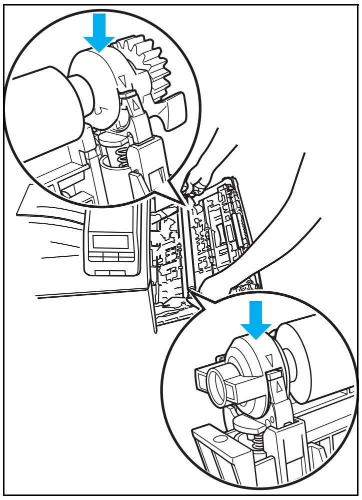
1. 使用済みの転写ロール両端のツマミ（緑色）を図のように持ちます。



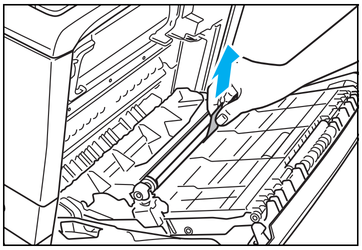
2. ツマミをテコの要領で手前に回しながら転写ロールを取り外します。



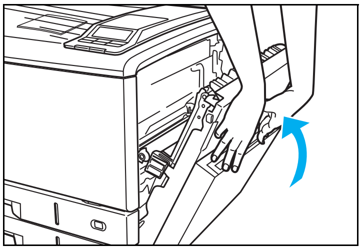
3. 新しい転写ロールの▽マークとプリンター側のホルダーの△マークを合わせるようにホルダーの上に乗せます。



4. 転写ロールの両端を上から押してカチッとロックします。



5. テープを引いて保護シートを剥がします。



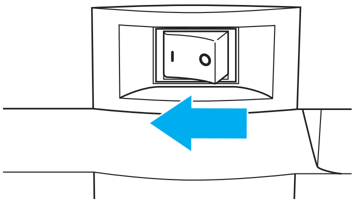
6. サイドカバーを両手でしっかり閉めます。

7. 電源スイッチをONにして、操作パネルのボタン操作で転写ベルトユニットと、廃トナーボックスの交換表示をリセットします。

＜転写ベルトユニット、廃トナーボックスの交換表示リセット方法＞

操作手順　　パネル表示

① 電源スイッチをＯＮにします。



転写ベルトユニットが
交換時期になりました
新品に交換してください
◎ボタンにてエラーを
スキップして動作します

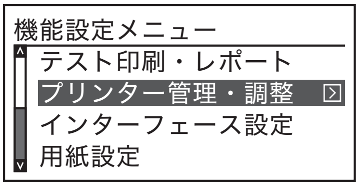
② ◎（決定）ボタンを押して転写ベルトユニットの交換メッセージをキャンセルします。



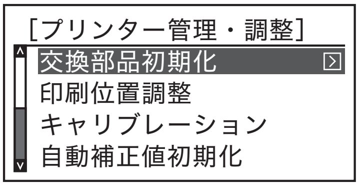
③ オンライン ボタンを押して「機能設定メニュー」を 表示します。

機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定

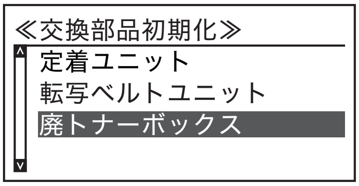
④ [∨] [∧] ボタンで「プリンター管理・調整」を選択して [>] ボタンを押します。



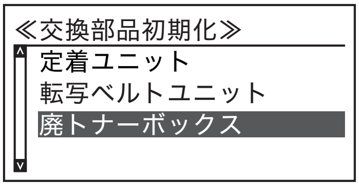
⑤ [∨] [∧] ボタンで「交換部品初期化」を選択して [>] ボタンを押します。



⑥ [∨] [∧] ボタンで「廃トナーボックス」を選択して◎（決定）ボタンを押すと初期化が始まります。

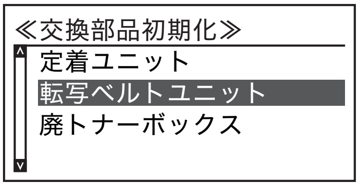


⑦ 廃トナーボックスの初期化が終了すると「交換部品初期化」に戻ります。

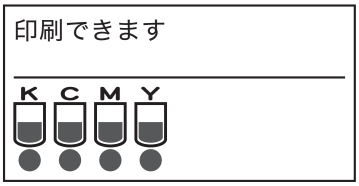


⑧ [∨] [∧] ボタンで「転写ベルトユニット」を選択して◎（決定）ボタンを押すと初期化が始まります。

※転写ベルトユニットの初期化には数分かかります。



⑨「交換部品初期化」に戻ったら [オンライン] ボタンを押して（定着ユニット交換時期アイコン）が消えていれば 完了です。



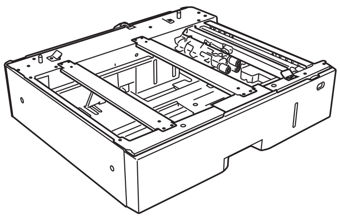
8. 使用済みの転写ベルトユニット、廃トナーボックス、転写ロールは、新しい転写ベルトユニットが入っていた梱包箱に入れてご返却ください。

カシオ計算機では、ご使用済みの転写ベルトユニットを無料で回収しております。詳しくは同梱の案内書をご覧ください。

6. オプションの取り付け方法

6.1 オプションの紹介

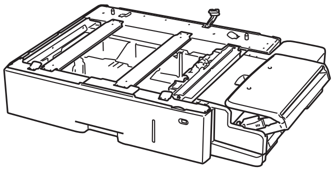
● 拡張ペーパフィーダ‥‥ N30-CPF



プリンターの下に最大３台まで取り付けることができます。プリンター本体のカセットを含め、最大５段までカセット給紙ができるようになります。64〜157g/m^{2}の普通紙用です。

☞ 取り付け方法は製品に同梱されている説明書をご覧ください。

● MPF 付き
拡張ペーパフィーダ‥‥ N30-MPCPF

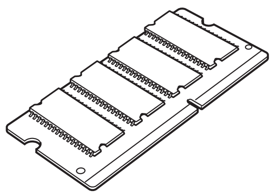


マルチペーパーフィーダーを追加することにより、さらに多くの種類の用紙をセットして印刷できるようになります。

注意　MPFトレイ開閉時に本体に接触しますが不具合ではありません。

☞ 取り付け方法は製品に同梱されている説明書をご覧ください。

● 増設メモリモジュール‥ N-SDR128M

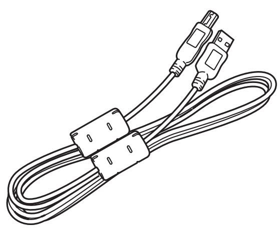


プリンターのシステムメモリーを拡張できます。

※ 市販のコンピューター用メモリモジュールは使用できません。必ずプリンター専用のメモリモジュールをご使用ください。

☞ 6.2 増設メモリモジュールの取り付け（131ページ）

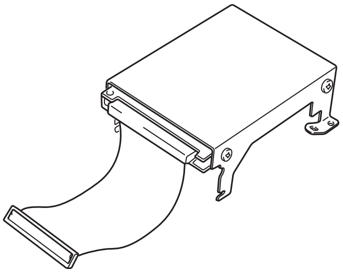
● USB ケーブル‥‥‥‥‥ CP-CAUSB



コンピューターとプリンターを接続するUSBケーブルです。USB2.0に対応しています。

※ 市販のUSBケーブルを使用するときは、USB2.0ツイストペア、シールドタイプ、1.5m 以内のケーブルをご使用ください。

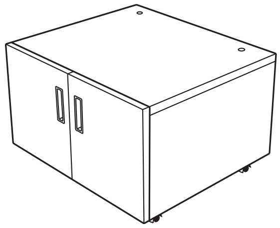
● ハードディスクユニット N-HDD



印刷データを一時的にハードディスクに登録して部単位の印刷をプリンター側で行えるようになります。大量の部単位印刷でも、コンピューター側の負担になりません。また、他人に見られたくない印刷物を一時的にハードディスクに登録し、操作パネルでパスワードを入力して印刷する認証印刷もできるようになります。

☞ 6.3 ハードディスクユニットの取り付け（133ページ）

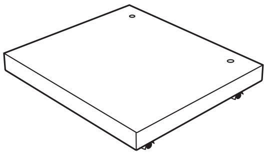
● 専用デスク ············· N30-DESK



本プリンターを設置する専用台です。
幅590mm×奥行き522mm×高さ400mm
※ 専用デスクに乗せられるのはプリンター本体１台と拡張ペーパフィーダ２台までです。

☞ 取り付け方法は製品に同梱されている説明書をご覧ください。

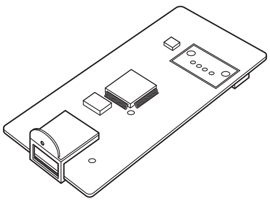
● 専用キャスター ········· N30-CSTR



本プリンターを設置する専用台です。
幅590mm×奥行き522mm×高さ130mm
※ 専用キャスターに乗せられるのはプリンター本体１台と拡張ペーパフィーダ３台までです。

☞ 取り付け方法は製品に同梱されている説明書をご覧ください。

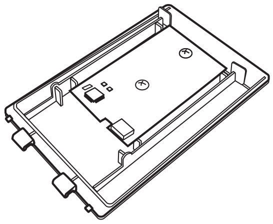
● USB ホスト拡張ボード ·· GE5-USBH



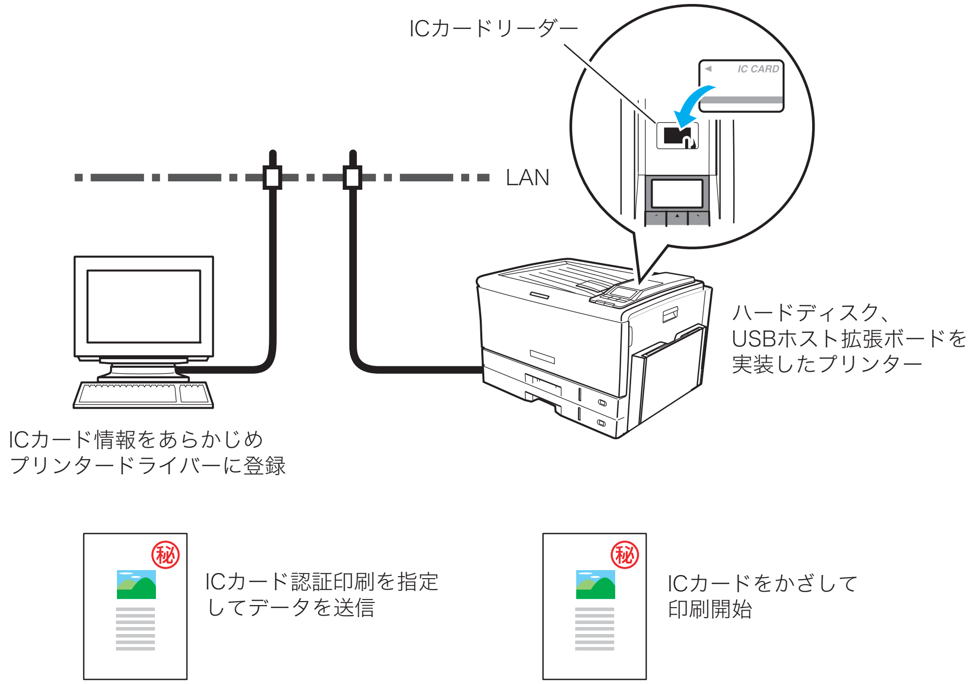
プリンターにUSBホストコネクターを追加するための拡張ボードです。ICカードリーダーなどのUSB機器をプリンターに接続する際に取り付けます。

☞ 6.4 USBホスト拡張ボードの取り付け（135ページ）

● IC カードリーダー ・・・・・ GE5-ICR

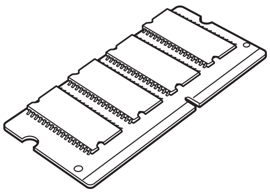


本プリンターには、印刷データをプリンターのハードディスクに蓄積し、IC カードで認証されたユーザーのみ印刷できる「IC カード認証印刷」機能が搭載されています。
印刷物を他人に見られたり、持ち去られたりすることを防止できます。



※ ICカード認証印刷機能を使用するには、別売のICカードリーダー、ハードディスクユニット、USBホスト拡張ボードが必要です。
詳しくはプリンターをお買い求めの販売店にお問い合わせください。

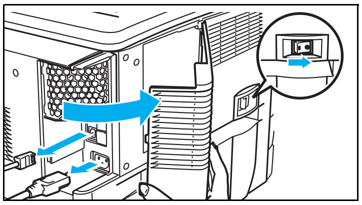
6.2 増設メモリモジュールの取り付け



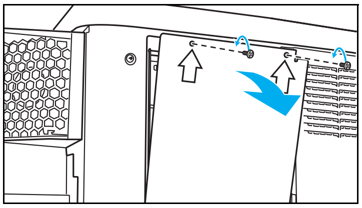
プリンターのシステムメモリーを拡張できます。

ポイント 増設メモリモジュールの取り付けにはプラスのドライバーが必要です。あらかじめ準備してください。

注意 増設メモリモジュールの取り付け時は、必ずプリンターの電源スイッチをOFFにしてください。
増設メモリモジュールのコネクターやICに手を触れないでください。

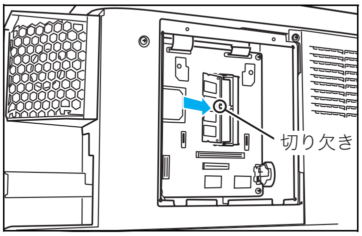


1. プリンターの電源スイッチを OFF にして、背面のインターフェースカバーを取り外し、電源コードやケーブル類を抜きます。



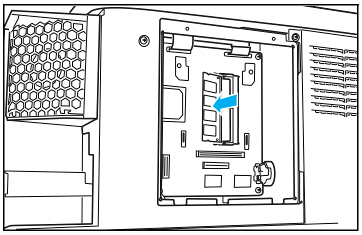
2. 図のネジ２本（⇧刻印の場所）を外してシールド板（金属板）を取り外します。

ポイント 普通サイズのプラスドライバー（P2番）を使用します。

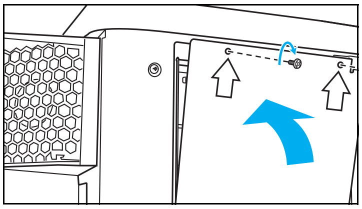


3. 増設メモリモジュールを、図の空きソケットに斜めに差し込みます。

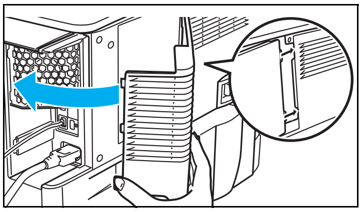
ポイント 増設メモリモジュールの切り欠きと、コネクターの突起の位置が合う向きに差し込みます。



4. 増設メモリモジュールをカチッとロックするまで押します。



5. 手順２で取り外したシールド板（金属板）を取り付け、ネジ２本（ 刻印の場所）で固定します。



6. ケーブル類や電源コードを差し込み、インターフェースを取り付けます。



7. プリンタードライバーの「環境設定」タブ画面で、メモリー追加後の「搭載メモリー」を選択します。

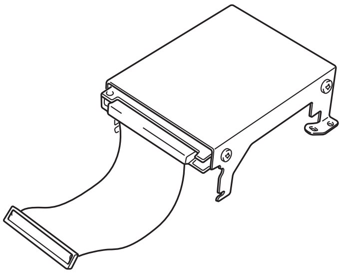
TCP/IPネットワーク接続でStandard TCP/IPポートを使用している場合は、「プリンター情報取得」ボタンをクリックすると自動的に搭載メモリーが追加されます。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「GE5000アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

ポイント 機器情報印刷（ステータスシート）を印刷して、メモリーが正しく取り付けられているか確認できます。

☞ 設置手順書　本体編

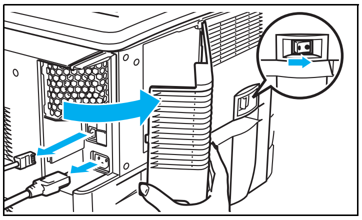
6.3 ハードディスクユニットの取り付け



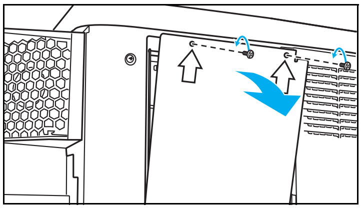
印刷データを一時的にハードディスクに登録して、部単位の印刷をプリンター側で行えるようになります。大量の部単位印刷でも、コンピューター側の負担になりません。
また、他人に見られたくない印刷物を一時的にハードディスクに登録し、操作パネルでパスワードを入力して印刷する認証印刷もできるようになります。

ポイント ハードディスクユニットの取り付けにはプラスのドライバーが必要です。あらかじめ準備してください。

注意 ハードディスクユニットの取り付け時は、必ずプリンターの電源スイッチをOFFにしてください。
ハードディスクユニットのコネクターやICに手を触れないでください。
ハードディスクユニットは衝撃に弱いため、取り付けの際に落としたりしないようご注意ください。

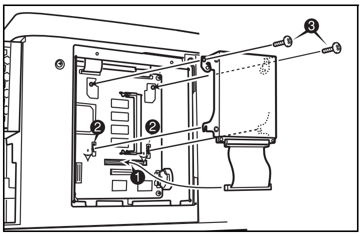


1. プリンターの電源スイッチを OFF にして、背面のインターフェースカバーを取り外し、電源コードやケーブル類を抜きます。

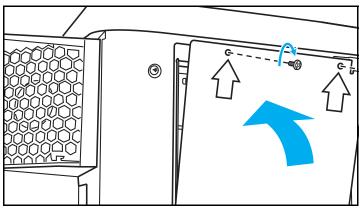


2. 図のネジ２本（⇧刻印の場所）を外してシールド板（金属板）を取り外します。

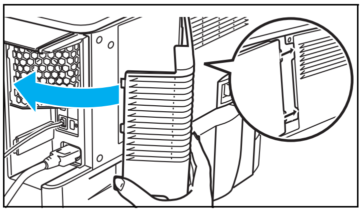
ポイント 普通サイズのプラスドライバー（P2番）を使用します。



3. ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクターに差し込み（①）、フック２カ所をプリンターの基板に引っ掛けるように差し込み（②）、ネジ2本で固定します（③）。



4. 手順２で取り外したシールド板（金属板）を取り付け、ネジ２本（⇧刻印の場所）で固定します。



5. ケーブル類や電源コードを差し込み、インターフェースを取り付けます。



6. プリンタードライバーの「環境設定」タブ画面で、「ハードディスク」を追加します。

右側の未装着画面の「ハードディスク」をクリックして「追加」ボタンをクリックすると、左側の「装着済み」画面に移動します。
TCP/IP ネットワーク接続で、Standard TCP/IP ポートを使用している場合は、「プリンター情報取得」ボタンをクリックすると自動的に追加されます。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「GE5000アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

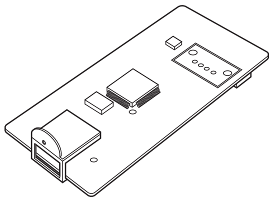
ポイント 新しいハードディスクを使用する前にフォーマットしてください。

☞ **ユーザーズマニュアル　設定メニュー編**

ポイント 機器情報印刷（ステータスシート）を印刷して、ハードディスクが正しく追加されているか確認できます。

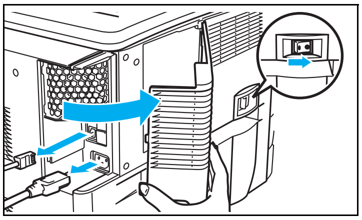
☞ **設置手順書　本体編**

6.4 USBホスト拡張ボードの取り付け

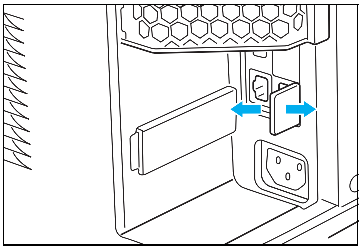


プリンターにUSBホストコネクターを追加するための拡張ボードです。
IC カードリーダーなどの USB 機器をプリンターに接続する際に取り付けます。
対応可能なUSB機器は弊社ホームページをご覧ください。

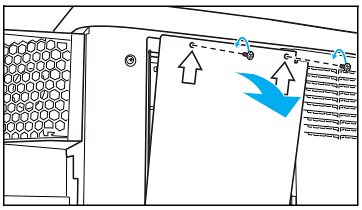
注意 USBホスト拡張ボードの取り付け時は、必ずプリンターの電源スイッチをOFFにしてください。
USBホスト拡張ボードのコネクターやICに手を触れないでください。



1. プリンターの電源スイッチを OFF にして、背面のインターフェースカバーを取り外し、電源コードやケーブル類を抜きます。

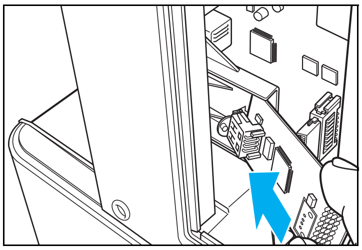


2. 図の目隠し板（グレーの樹脂）を数回折り曲げて取り外します。

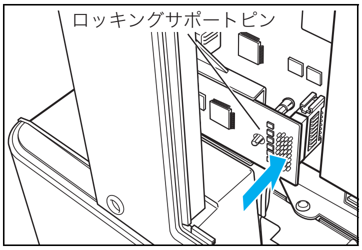


3. 図のネジ２本（⇧刻印の場所）を外してシールド板（金属板）を取り外します。

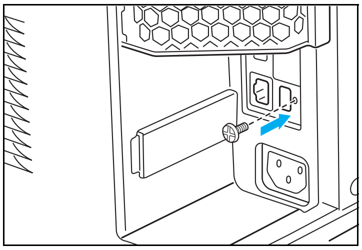
ポイント 普通サイズのプラスドライバー（P2番）を使用します。



4. USBホストボードを、取り付け台（黒い樹脂の台）の上面にスライドさせながら奥まで差し込みます。

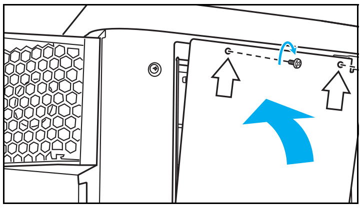


5. 図の矢印の部分を押して、USBホストボードをコネクターとロッキングサポートピン（白）に差し込みます。

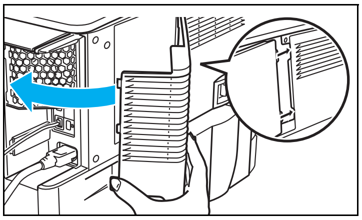


6. 同梱のネジでUSBホストボードを固定します。

> ポイント 細いサイズのプラスドライバー（P1番）を使用します。
>
> ポイント ネジ穴が合うように、USBホストボードの位置を調節しながらネジ止めしてください。



7. 手順３で取り外したシールド板（金属板）を取り付け、ネジ２本（ 刻印の場所）で固定します。



8. その他のケーブル類や電源コードを差し込み、インターフェースカバーを取り付けます。

> 注意 電源コードは奥までしっかり差し込んでください。電源コードがゆるむと発煙・発火の原因になる場合があります。



9. プリンタードライバーの「環境設定」タブ画面で、「USB ホストボード」を追加します。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」→「プリンタとFAX」から「GE5000アイコン」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「環境設定」タブ画面を表示します。表示方法はWindowsのOSにより異なります。

> ポイント 機器情報印刷（ステータスシート）を印刷して、ハードディスクが正しく追加されているか確認できます。
>
> ☞ 設置手順書　本体編

付録1. 主な仕様

項目			型番 GE5000
形式			デスクトップ型
プリント方式			LEDヘッド＋乾式電子写真方式
解像度			600dpi（ドット制御技術により600×1800dpi相当）
ウォームアップ時間※1			電源投入時からの時間：約35秒（室温23℃、定格電圧） 省電力モードからの時間：約30秒（室温23℃、定格電圧）※2
ファーストプリント時間※3	モノクロ		約8秒（本体上段カセット給紙、A4横、普通紙モード）
	カラー		約10秒（本体上段カセット給紙、A4横、普通紙モード）
連続プリント速度※4 （コピーモード時）	普通紙モード （モノクロ／カラー）		片面印刷時：32.0枚／分（A4横）、20.2枚／分（B4縦）、17.8枚／分（A3縦） 両面印刷時：27.8イメージ／分（A4横）、12.1イメージ／分（B4縦）、11.2イメージ／分（A3縦）
	厚紙モード （モノクロ／カラー）		片面印刷時：22.0枚／分（A4横）、14.0枚／分（B4縦）、12.3枚／分（A3縦） 両面印刷時：19.3イメージ／分（A4横）、8.4イメージ／分（B4縦）、7.8イメージ／分（A3縦）
インターフェース	標準		LANインターフェース（100Base-TX/10Base-T）×1 USB2.0インターフェース（Hi-Speed）×1
	オプション		USB2.0ホストインターフェース（Full-Speed）×1（外部USB機器接続用）
コマンド体系			（ESC/P・ESC/Page・201H）＋カシオ拡張コマンド
CPU			64bit RISC TX4938（330MHz）
メモリ	標準		128MB
	オプション		128MB
ハードディスク（オプション）			40GB
標準フォント			平成明朝体・平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B
用紙	種類 （坪量）	普通紙／厚紙	マルチペーパーフィーダー／上段カセット　：普通紙／厚紙　64～216g/m^2 下段カセット／拡張ペーパフィーダセット　：普通紙／厚紙　64～157g/m^2
		特殊紙	上段カセット／マルチペーパーフィーダー　：ラベル紙、郵便はがき、封筒
	サイズ		マルチペーパーフィーダー：幅64～297mm×長さ148～1200mm 上段カセット： A3縦、B4縦、A4横/縦、B5横、A5横、フリー（A3～はがき、封筒、幅90～297mm×長さ148～432mm） 下段カセット／拡張ペーパフィーダセット： A3縦、B4縦、A4横/縦、B5横、A5横、フリー（幅210～297mm×長さ148～432mm）
両面印刷	用紙種類		普通紙／厚紙：64～128g/m^2
	用紙サイズ		A3縦、B4縦、A4横/縦、B5横、A5横、フリー（幅210～297mm×長さ148～432mm）
給紙装置・容量	標準		マルチペーパーフィーダー：50枚（64g/m^2紙にて高さ5mm以下） 上段カセット： 普通紙150枚（64g/m^2紙にて、高さ15mm以下） 厚　紙100枚（128g/m^2紙にて、高さ15mm以下） 下段カセット／拡張ペーパフィーダセット： 普通紙250枚（64g/m^2紙にて、高さ25mm以下） 厚　紙150枚（128g/m^2紙にて、高さ25mm以下）
	オプション		拡張ペーパフィーダセット（３台まで追加できます）： 普通紙550枚（64g/m^2紙にて、高さ55mm以下） 厚　紙300枚（128g/m^2紙にて、高さ45mm以下）
排紙装置・容量			フェースダウン：普通紙250枚（64g/m^2紙にて）
外形寸法（W×D×H）			622mm×539mm×397mm 622mm×539mm×532mm（拡張ペーパフィーダセット１段装着時） 622mm×539mm×667mm（拡張ペーパフィーダセット２段装着時） 662mm×539mm×802mm（拡張ペーパフィーダセット３段装着時）

項目＼型番		GE5000
質量		約47kg（消耗品、オプションを除く）
使用環境	動作時	温度：10～33℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）※5
	非動作時	温度：－5～40℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）※6
電源		AC100V±10%、50/60Hz
最大消費電力		1200W
平均消費電力※7		プリント時　：約570W（モノクロプリント） 約640W（カラープリント） 待機時　：約105W スリープ時　：約0.7W※8 電源スイッチOFF時　：0W
関連規格		VCCIクラスB情報技術装置に適合
騒音※9	プリント時	53dB(A)以下
	待機時	37dB(A)以下
消耗品※10	ドラムセット	約32,000ページ（A4横、5ページ間欠印刷時）※11
	トナーセット	ブラック　：6,500ページ（A4横、JIS X6932に準拠） カラー（Y/M/C）：7,500ページ（A4横、JIS X6932に準拠）
	廃トナーボックス	約40,000ページ（A4横、平均印字率20%、連続印刷時）※12
定期交換部品※10	定着ユニット	約120,000ページ（A4横、連続印刷時）
	転写ベルトユニット	約100,000ページ （A4横、連続印刷時）
	転写ローラ（転写ベルトに同梱）	約100,000ページ （A4横、連続印刷時）
本体耐久期間		100万ページ※13または5年のいずれか早い方

※1 「自動レジストレーション」OFF、「自動濃度調整」OFFに設定した場合です。その他の設定ではさらに時間がかかる場合があります。

※2 スリープモード（レベル1）からのウォームアップ時間です。スリープモード（レベル2）からは約35秒かかります。

※3 給紙スタートから排紙完了までの時間です。

※4 プリント速度はカセット給紙時の理論値です。印刷モードの設定によりプリント速度が遅くなる場合があります。

※5 温度30℃以上は湿度70%以下でご使用ください。

※6 －5～0℃／35～40℃環境に、通算20日以上の放置は避けてください。

※7 消費電力はオプション未装着の場合です。

※8 スリープモード（レベル2）の場合です。スリープモード（レベル1）の場合は約4.5Wになります。

※9 測定はISO7779による。（バイスタンダ位置、正面、音圧レベル）

※10 消耗品および定期交換部品の交換目安は（ ）内の各条件で片面印刷した場合です。印刷内容（印字率）、用紙サイズ、用紙の種類、連続印刷枚数などのご使用条件により、交換目安より早く交換が必要になることがあります。また、１本のドラムセットに使用できるトナーセットは20本までです。

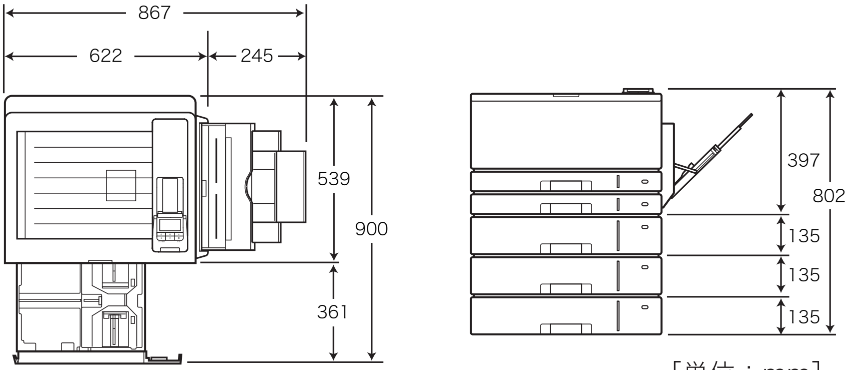
※11 ５ページ片面連続印刷を間欠して繰り返した場合です。３ページ片面連続印刷を間欠して繰り返した場合は約24,000ページになります。

※12 低印字率の場合でも最大約80,000ページまでになります。

※13 A4サイズ横送りで片面連続印刷した場合の耐久枚数です。耐久枚数はご使用条件により変わります。３ページ片面連続印刷を間欠して繰り返した場合は約72万ページになります。

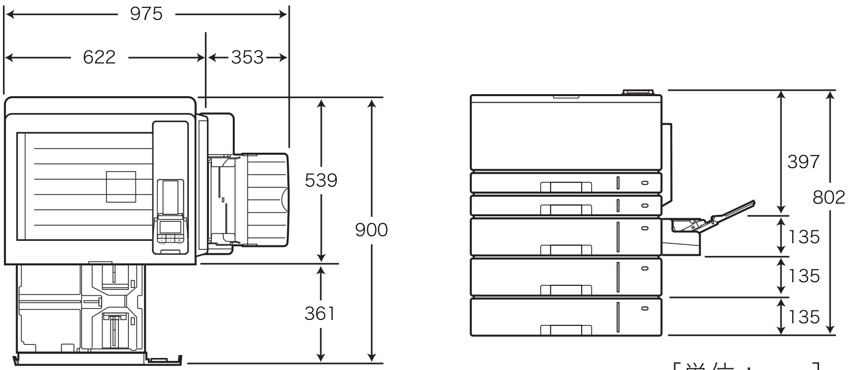
外形寸法図

＜拡張ペーパフィーダ３台装着時＞



[単位：mm]

＜拡張ペーパフィーダ２台とMPF付き拡張ペーパフィーダ１台装着時＞



[単位：mm]

付録

付録2. 用紙について

使用できる用紙について

普通紙／厚紙

一般にページプリンター用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷をするには下表の弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

ポイント 表内のサイズや厚さの用紙でも、紙質などにより紙づまりが多発したり画質が低下することがあります。用紙を大量に購入するときには、事前に十分テスト印刷を行い、トラブルが発生しないことをご確認ください。

サイズ	推奨用紙名		使用可能坪量（g/m^2）		
			本体上段カセット	本体下段カセット拡張ペーパフィーダ	マルチペーパーフィーダー
A3 B4 A4 B5	富士ゼロックス	P紙（64g/m^2） C^2（70g/m^2） J紙（82g/m^2） Ncolor 104、127、157、209 （A3、A4のみ）	64～216	64～157	64～216
	リコー	マイペーパー マイリサイクルペーパー 100 （再生紙）			
A5	富士ゼロックス リコー	C^2（70g/m^2） マイペーパー			

ポイント 129～216g/m^2の厚紙はプリンターの紙送り方向に対してY目のものをご使用ください。用紙には裁断の方向によりY目とT目があります。印刷の際は紙種を厚紙（38 ページ）に設定して印刷してください。

長尺紙

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）	
長尺印刷用上質紙	297×900mm	小林クリエイト 富士ゼロックス	しらおい長尺紙（128g/m^2、157g/m^2） 長尺紙（157g/m^2）
	297×1200mm	昭和情報機器 富士ゼロックス	シルクライト（128g/m^2） 長尺紙（127g/m^2）

ポイント 裁断が直角でない用紙や裁断面にバリがある用紙、および長さに対して幅が極端に狭い用紙（90×900mmなど）は斜め送りなど給紙不良の原因になりますので使用できません。

ポイント 長尺紙の使用方法、注意事項など詳細は長尺紙（44 ページ）参照してください。

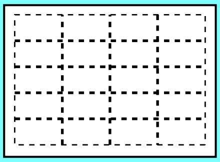
特殊紙

<ラベル紙・はがき・封筒>

ラベル紙・はがき・封筒は、下表の弊社推奨用紙をご使用ください。また、これらは本体上段カセットまたは、マルチペーパーフィーダーで給紙してください。詳しくは☞ **ラベル紙（37 ページ）**、**郵便はがき（39 ページ）**、**封筒（41 ページ）**を参照してください。

種類	サイズ（mm）	型番	給紙装置
ラベル紙	A4 (210×297)	コクヨ　LBP-A190（ノーカット品） コクヨ　LBP-A193（20面カット品）	マルチペーパーフィーダー：20枚 本体上段カセット　：30枚
はがき	通常 (100×148) 往復 (200×148)	郵便はがき（往復はがきは折れ目のないもの）	
封筒	長形3号 (120×235) 長形4号 (90×210) 洋形1号 (120×176)	ハート（株）ケント80g/m^2（白）長形3号 ハート（株）ケント80g/m^2（白）長形4号 ハート（株）甲陽 洋形1号	マルチペーパーフィーダー：5枚 本体上段カセット　：10枚

注意

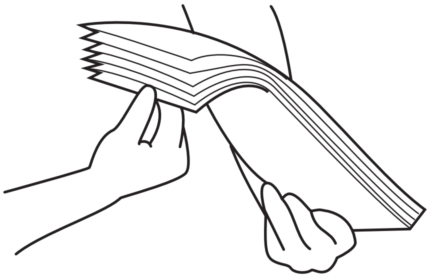


切れ目が入っているラベル紙を使用するときは、切れ目の上（図の点線部分）に印刷しないでください。印刷中にラベルが剥がれ、プリンター内部に貼り付いて紙づまりや故障の原因になる場合があります。

付録

特殊紙使用上のご注意

- ラベル紙・はがきはカールしていないものをご使用ください。
- 往復はがきは中央に折り目のないものをご使用ください。
- 特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣ることがあります。
- 特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。
- 封筒はシワが発生することがあります。



用紙保管上のご注意

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙づまりや画質不良の原因となります。用紙は、以下のことに注意して正しく保管してください。

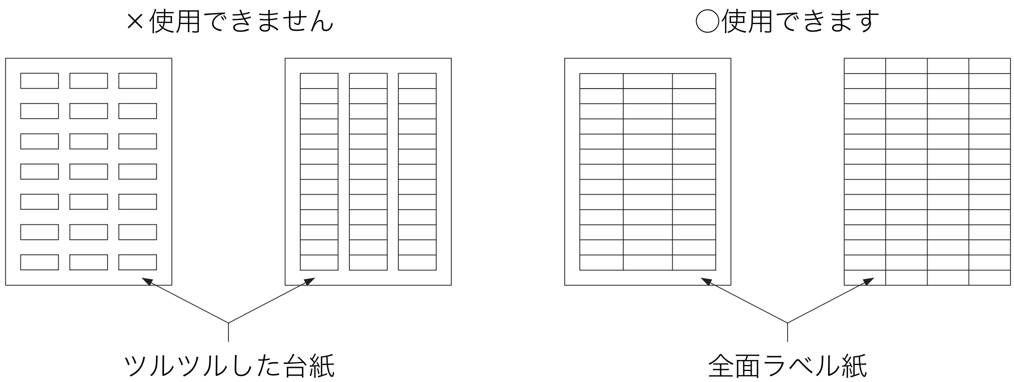
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどがつかないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。



使用できない用紙について

下記のような普通紙や特殊紙をお使いになると、紙づまり・画質低下や故障などの原因となりますので使用しないでください。

- カラーインクジェット用紙
- 厚すぎる用紙、うすすぎる用紙
- 本プリンターや他のプリンターで一度印刷された用紙
  （両面印刷装置による両面印刷は可）
- コピー機で印刷済みの用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- 湿っている用紙、濡れている用紙
- カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、ノリのついた用紙
- 表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- 熱で変質するインクを使って印刷されている用紙、変質しやすい用紙
- 感熱用紙
- カーボン紙
- 酸性紙（酸性紙を長期間使用すると、ドラム表面が劣化して印刷がうすくなります。）
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 凹凸や留め金や透明な窓のある封筒
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙



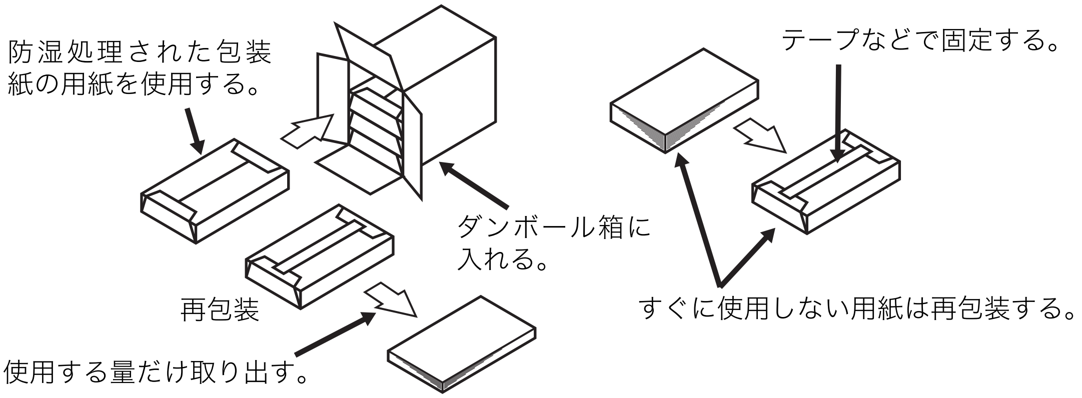
用紙の選定と保管について

本プリンターの性能を十分に発揮するには弊社推奨用紙をご使用ください。☞ **推奨用紙一覧表（145 ページ）**
用紙には個々に様々な特性があり、それらの特性は用紙メーカー・種類・製造ロット・保存環境などにより変化します。
用紙特性と印字品質やプリンター性能への影響について説明します。

用紙の保管

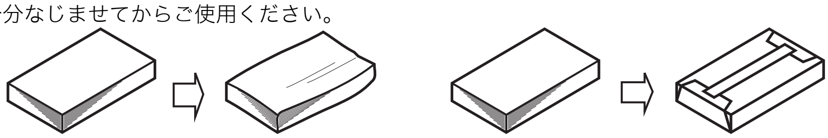
用紙特性を維持して紙づまりの低減や印字品質を維持するため、用紙保管については下記にご注意ください

- 用紙は、購入時にパッキングされた包装紙で包装して保管してください。
- 用紙は、折れ・しわ・カールなどがつかないように、立て掛けずに水平で平らな場所に保管してください。
- 用紙は、直射日光や空調の温（冷）風の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。



a）常温常湿度から高温高湿度に搬入した場合、波打ちが発生しますので、ダンボールケースのまま搬入し十分なじませてからご使用ください。

b）常温常湿度から低温低湿度に搬入した場合は、すぐに使用しないで、十分なじませてご使用ください。



1. 用紙が乾燥したり、吸湿すると印字品質が低下することがあります。
   - 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
   - 用紙が乾燥しないように直射日光の当たらない場所に保管してください。
2. 用紙にシワ、折れ、カールなどがつくと、紙づまりが多発したり、印字品質が低下しますので、用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。

ダンボール箱の積上段数目安					
サイズ	A3	A4	B4	B5	A5
段数	7段	5段	5段	5段	4段

なじませる時間の目安			
温度差	5℃	10℃	20℃
段ボールケース単位	6時間	12時間	24時間
用紙パック単位	6時間	12時間	12時間

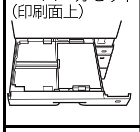
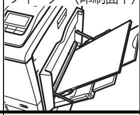
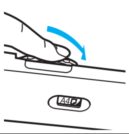
推奨用紙一覧表

販売元	用紙名称	坪量 (g/m²)	用紙サイズ								給紙口			
			A3	B4	A4	B5	A5	297mm 600mm	297mm 900mm	297mm 1200mm	本体上段カセット	本体下段カセット 拡張ペーパフィーダ	MPF1	両面印刷
富士ゼロックス	P紙	64	○	○	○	○					○	○	○	○
	C^2	70	○	○	○	○	○				○	○	○	○
	J紙	82	○	○	○	○					○	○	○	○
	Ncolor（カラー印刷用上質紙）	105	○		○						○	○	○	○
		128	○		○						○	○	○	
		157	○		○						○	○	○	
		209	○		○						○		○	
	長尺用紙	127								○			○	
		157							○				○	
リコー	マイペーパー	69	○	○	○	○	○				○	○	○	○
	マイリサイクルペーパー 100（再生紙）	69	○	○	○	○					○	○	○	○
小林クリエイト	長尺紙	128							○				○	
		157							○				○	
昭和情報機器	長尺紙	128								○			○	
コクヨ	ラベル紙（LBP-A193）	－	A4（20面カット品）								○		○	
	ラベル紙（LBP-A190）	－	A4（ノーカット品）								○		○	
郵便局	通常郵便はがき	－	100 × 148（mm）								○		○	
	往復郵便はがき（折れ目なし）	－	200 × 148（mm）								○		○	
ハート	甲陽 洋形１号封筒	－	120 × 176（mm）								○		○	
	ケント80（白）長形3号 封筒	－	120 × 235（mm）								○		○	
	ケント80（白）長形4号 封筒	－	90 x 205（mm）								○		○	

付録3. 紙種別給紙口一覧表

紙種	用紙の厚さ (g/m²)	給紙口				両面印刷
		MPF1	カセット1 (本体上段)	カセット2 (本体下段)	カセット3～5 (拡張ペーパフィーダ)	
普通紙・再生紙	64～69	○	○	○	○	○
カラー上質紙	70～79	○	○	○	○	○
両面用上質紙	80～94	○	○	○	○	○
厚紙	95～128	○	○	○	○	○
ごく厚紙	129～157	○	○	○	○	×
	158～216	○	○	×	×	×
はがき・封筒・ラベル紙		○	○	×	×	×
ラベル紙（厚手）		○	○	×	×	×

付録4. 用紙のセット方向と設定一覧表

用紙のセット方向		用紙サイズダイヤル	プリンタードライバーの用紙サイズ設定	プリンタードライバーの紙種設定	操作パネルの設定※1	
ペーパーカセット（印刷面上）	マルチペーパーフィーダー（印刷面下）				機能設定メニュー ［用紙設定］ 給紙選択 自動給紙口対象 自動用紙サイズ ＭＰＦ１通紙動作	
A3	A3	A3	A3 （297 × 420mm）	普通紙・再生紙 （64 ～ 69g/m²） カラー上質紙 （70 ～ 79g/m²） 両面用上質紙 （80 ～ 94g/m²） 厚紙 （95 ～ 128g/m²） ごく厚紙 （129 ～ 216g/m²）	カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:A3
B4	B4	B4	B4 （257 × 364mm）		カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:B4
A4	A4	A4R	A4R （あらかじめ「給排紙」ータブ画面で「給紙オプションの設定」－「特殊用紙サイズ追加」－「A4R」にチェックを入れてください）		カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:A4R
A4	A4	A4	A4 （210 × 297mm）		カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:A4
B5	B5	B5	B5 （182 × 257mm）		カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:B5
A5	A5	A5	A5 （148 × 210mm）		カセット	——
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:A5
レター	レター	Free	レター （215 × 279mm）		カセット	「用紙設定」－「Free用紙設定」－「カセット1～5」:レター
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:レター
不定形サイズ※2 Free x y	Free x y	Free	ユーザー定義サイズ 幅 x ×長さ y mm		カセット	①「用紙設定」－「ユーザー定義用紙１～8」 －「用紙名」:任意 －「横サイズ」: x mm －「縦サイズ」: y mm －「紙種」:普通紙、OHP、はがき / 封筒、厚紙 … ②「用紙設定」－「Free用紙設定」－「カセット1～5」 :①で設定した「用紙名」
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:不定形
通常郵便はがき		Free	はがき （100 × 148mm）	はがき・封筒・ラベル紙	カセット	「用紙設定」－「Free用紙設定」－「カセット1」:はがき
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:不定形 「用紙設定」－「Free用紙設定」－「MPF1」:はがき
往復郵便はがき （往信）	（返信）	Free	往復はがき （148 × 200mm）	はがき・封筒・ラベル紙	カセット	「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「カセット１」 :往復はがき
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:不定形 「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「MPF1」 :往復はがき
封筒（長形3・4号）		Free	長形３号 （120 × 235mm） 長形４号 （90 × 205mm）	はがき・封筒・ラベル紙	カセット	「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「カセット１」 :長形３号 :長形４号
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:不定形 「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「MPF1」 :長形３号 :長形４号
封筒（洋形１号）		Free	洋形１号 （120 × 176mm）	はがき・封筒・ラベル紙	カセット	「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「カセット１」 :洋形１号
					MPF1	「用紙設定」－「MPF1 用紙サイズ」　:不定形 「用紙設定」－「Ｆｒｅｅ用紙設定」－「MPF1」 :洋形１号

※1　はがきや封筒などに一時的に印刷する場合、「操作パネルの設定」は不要です。用紙サイズダイヤルをセットした用紙に合わせ、プリンタードライバーから「用紙サイズ」「給紙位置（カセット1～4、MPF）」「紙種」などを指定して印刷してください。
給紙口ごとに利用する紙種が決まっている場合、「操作パネルの設定」で紙種を設定し、プリンタードライバーの「紙種」は「パネル設定通り」を設定して印刷してください。

※2　不定形サイズの印刷手順は ☞ **不定形サイズの用紙（47 ページ）** をご覧ください。

※3　郵便はがき、封筒などの特殊紙は。本体上段カセット（カセット1）またはマルチペーパーフィーダー（MPF1）からのみ給紙できます。詳しくは ☞ **付録3. 紙種別給紙口一覧表（146 ページ）** をご覧ください。

付録5. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■ お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンターに同梱されている「保証書を発行する為に」に従ってインターネットまたはFAXでお申し込みください。
② お申し込みを受け付けしだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を発送いたします。

保証書はプリンターご購入以後６ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。
また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内で使用する場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■ 保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術（メカトロニクス）および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より６ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネルなどに生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7)「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項（お買い上げ日など）の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。
「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 弊社は消耗品および補修用性能部品（修理用部品）を、生産終了後5年間保有しています。

保守契約制度がありますので、カスタマーコンタクトセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口としてカスタマーコンタクトセンターをご利用ください。

付録6. プリンターを運ぶとき

近くに移動するとき

プリンターの電源スイッチを OFF にして以下の付属品類を取り外し、下記の注意事項を守って、水平にゆっくりと移動してください。

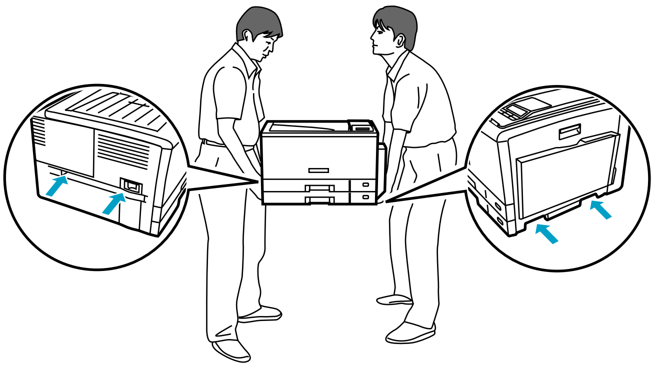
- **電源コード**
- **拡張ペーパフィーダ**
- **インターフェースケーブル**
- **ペーパーカセット内の用紙**

注 意

プリンターを持ち上げる際は、必ず2人以上で作業してください。
プリンターの重量は消耗品やオプションなしでも約47kgあります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のようにプリンターの取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり傾けて持ち上げると、落下によるけが、およびプリンターの破損の恐れがあります。

プリンターをキャスター付きの台に設置するときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。作業中に台が動くとプリンターの落下などによる、けがの恐れがあります。

プリンターをキャスター付きの台に乗せたまま移動するときは、通路に段差がない場所を移動してください。段差でプリンターが転倒し、けがの原因になることがあります。



遠くに輸送するとき

プリンターを輸送する場合は、すべての付属品、消耗品、給紙装置や排紙装置などのオプション類を取り外し、梱包材や輸送用緩衝材を購入時と同じ状態に取り付けて梱包する必要があります。
特にドラムセットとトナーセットは分離しないでください。ドラムセットからトナーがこぼれて周囲を汚す恐れがあります。
プリンターを輸送する場合は、お買い求めの販売店またはカスタマーコンタクトセンターにご相談ください。

注意 トナーセットやドラムセットは、必ず取り外してプリンターとは別に梱包して輸送してください。トナーセットやドラムセットを取り付けたまま輸送すると、プリンター内にトナーがこぼれて故障の原因になります。
適切な梱包をせずに輸送した際のプリンターの故障については、保証期間中でも無償修理の対象外になりますのでご注意ください。

付録7. 使用済みコンピューター・プリンター・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機はご使用済みとなりました事業系コンピューター、プリンターおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行っております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/csr/env/recycle/pc.html

ポイント　やむを得ずご自身で廃棄されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

索引

な

は

ま

や

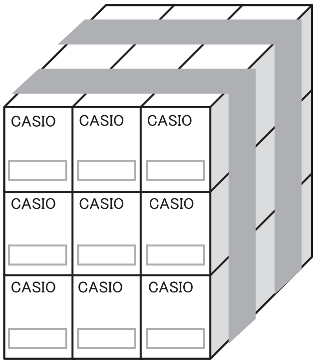
ら

ご使用済み『カシオ純正消耗品』無料回収のご案内

＜無料回収　お申し込みホームページ＞

http://casio.jp/ppr/eco

回収時の環境負荷低減の為に『まとめ回収』にご協力ください。



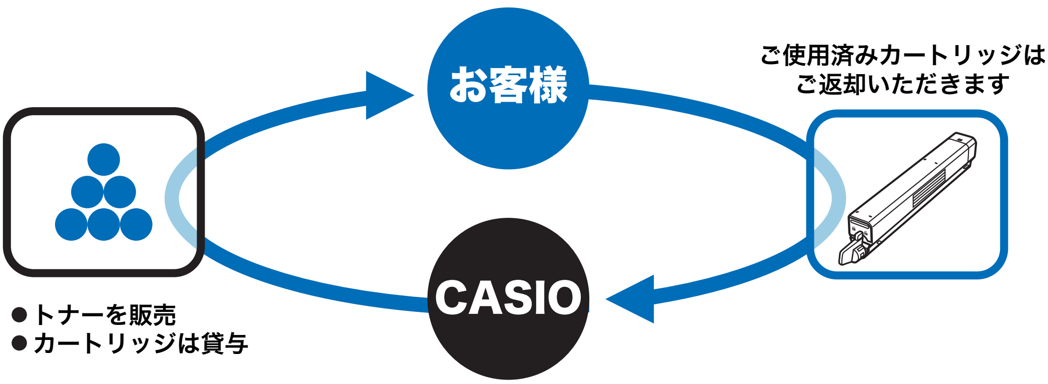
**3～9個を
テープでしばって
回収業者にお渡し
ください。**

「未使用品」や「カシオ純正品以外のもの」が混ざらないようにご注意ください。

『回収協力トナー』をご活用ください

環境配慮と低ランニングコストを実現する回収協力トナー

使用済みカートリッジをカシオが無料で回収しリユースすることを前提とした「回収協力トナー」を、お手頃な価格でご提供しております。



お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター
<受付時間>月曜日～土曜日　AM9:00～PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ

http://casio.jp/support/ppr/

SPEEDIA GE5000シリーズ
ユーザーズマニュアル　本体編
2011年7月23日　第5版発行

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
カシオ電子工業株式会社

T-984PC
再生紙使用　MA1107-E